平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

図　面　リ　ス　ト							
ＮＯ	図　面　名　称	ＮＯ	図　面　名　称	ＮＯ	図　面　名　称	ＮＯ	図　面　名　称
1	建築工事特記仕様書－１	15	建　具　表　－　２	30	軸　組　図　－　３	40	給排水衛生換気設備工事特記仕様書－１
2	建築工事特記仕様書－２	16	構　造　特　記　仕　様　書	31	鉄　骨　詳　細　図	41	給排水衛生換気設備工事特記仕様書－2
3	建築工事特記仕様書－３	17	鉄　骨　構　造　標　準　図	32	継　手　表	42	給排水衛生換気設備工事 配　置　図
4	仕　上　表	18	ベースパック柱脚工法標準図－１	33	外　構　図	43	給排水衛生換気設備工事 機器表・桝リスト・凡例
5	配　置　図	19	ベースパック柱脚工法標準図－２			44	給排水衛生換気設備工事 平　面　図
6	敷　地　断　面　図	20	ベースパック柱脚工法標準図－３			45	給排水衛生換気設備工事 換　気　設　備　図
７Ａ	平　面　図	21	土　質　柱　状　図			46	給排水衛生換気設備工事 桝　詳　細　図
７Ｂ	平　面　図	22	基　礎　伏　図	34	電気設備工事特記仕様書		
8	立　面　図	23	床　伏　図	35	屋外電気設備図		
9	断　面　図	24	基　礎　詳　細　図　－　１	36	高圧受電設備単線結線図	47	参考図　海苔加工機器平面図 範囲図（別途工事）
10	断　面　詳　細　図	25	基　礎　詳　細　図　－　２	37	盤類結線図・照明器具姿図	48	参考図　海苔加工機器表 （別途工事）
11	部分詳細図－１	26	部　材　リ　ス　ト　表	38	幹線及コンセント設備図		
12	部分詳細図－２	27	小　屋　梁　伏　図	39	電灯設備図		
13	天　井　伏　図	28	軸　組　図　－　１				
14	建　具　表　－　１	29	軸　組　図　－　２				

株式会社　伊藤設計

特　記　仕　様　書

工事概要　工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事
建築場所　常滑市新田町１丁目地内
規　　模　鉄骨造平屋建て
１棟　床面積 436.80 ㎡×３棟＝1,310.40 ㎡

工事項目　1. 建　築　工　事　1 式
2. 電気設備工事　1 式
3. 給排水衛生換気設備工事　1 式
別途工事会社と密に打合せを行い、円滑に工事を進めるものとする。

別途工事　・海苔に関わる機械とその据付・取付及び機械の２次側設備配管、配線工事
・ルーフファンの機器
（機器取付け及び下地架台・水切りは本工事）
・消火器(収納箱等共)

００　特記仕様書の取扱いについて

１．項目は、項目番号に、○印をつけたものを適用する。
２．細目は、●印をつけたものを適用する。
３．その他特記事項は、（　）内に記載する。
４．製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当たっては、係員の了解を受けるものとする。

０１　一般共通事項

(1) 適用範囲
● 本特記仕様書は、各共通仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。

(2) 疑義
● 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に、質疑応答書をもって確かめておくものとする。
● 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。

(3) 優先順位
● 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
１．現場説明事項（質疑応答書を含む）
２．特記仕様書
３．各設計図
４．共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）
５．工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修最新版）

(4) 材料試験
● 本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに関してはその成績表を提出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する諸費用は、すべて請負業者の負担とする。

(5) 提出図書
● 本工事の施工に伴う提出図書は下記に定める他、必要に応じて係員と協議の上、作成するものとする。

提出図書	部数	提出時期	備考
1. 工事総括表	2	竣工時	
② 工事完了届	3	竣工時	
③ 工事請負契約書（写）	3	契約後速やかに	
④ 工事内訳明細書	3	契約後速やかに	
5. 専任技術者データ票	2	契約後速やかに	
⑥ 現場代理人、監理技術者、主任技術者届出書	3	契約後速やかに	経歴書、一級建築施工管理技士、監理技術者資格等
⑦ 工程表	3	契約後速やかに	
⑧ 工事着手届	3	契約後速やかに	
⑨ 工事下請負届	3	契約後速やかに	
⑩ 使用資材（機材）一覧表	2	施工前余裕を持って	
⑪ 火災保険、その他損害保険加入届書（写）	2	契約後速やかに	
⑫ 建設廃棄処分計画書	2	施工前余裕を持って	
⑬ 建設副産物処分実績表	2	処分後速やかに	
⑭ 施工計画書	2	施工可能な実施前	各工事毎
⑮ 受領図及び完成図	2	その都度	
⑯ 試験結果報告書	2	試験後速やかに	
⑰ 使用材料報告書	2	施工前余裕を持って	
⑱ 出荷証明書、実績報告書	2	その都度	
⑲ 保証書及び取扱い説明書	2	竣工時	
⑳ 工事日報	2	1ヵ月毎	
㉑ 工事社内検査報告書	2	検査後速やかに	
㉒ 工事工程報告書	2	1ヵ月毎	工事進捗表、写真
㉓ 打合せ議事録	2	その都度	
㉔ 変更工事見積書	2	その都度	
㉕ 工事竣工図	3	竣工時	
㉖ 工事竣工写真	2	竣工時	ｶﾗｰｷｬﾋﾞﾈ版(外観室内共)
㉗ 保守及び緊急連絡先	2	竣工時	
㉘ 施工体制台帳及び施工体系図	2	施工可能な実施前	
㉙ 工事写真	2	その都度	

● 工事竣工図は、Ａ３版二つ折りとし、３部提出する。
● 竣工写真は、建築写真家によるものとし、アルバム貼付にて提出の事。
● 工事写真に納める看板・テープの表示方法は読み取れる様、係員の指示に従うこと。
● 工事写真で、工事前・完了が比較対照できるものとする。
● 工事写真は隠蔽部も忘れずに撮影する事。
● 月末日の全景写真と進捗状況報告書と工事日報を、翌月５日以内に提出の事。

(6) 定例打合会議
● 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を召集し、打合せを行うものとする。（週１回程度）
● 請負者は、定例打合せ会議議事録をとり、その都度係員の了解を得るものとする。

(7) 既設部分との取合
● 既設工作物等と今回工事の取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、今回工事仕上及び、旧工事、仕上同材にて完全に補修しなければならない。

０２　仮設工事

(1) 仮囲い
● 構造：● 鋼鈑製(ﾊﾞﾈﾌｪﾝｽ)　・ 木製　・ その他
● 高さ：・ １．５Ｍ　● １．８Ｍ　・ ３Ｍ以上
既設３号棟と今回４号棟の間、東西４５ｍを囲う。
・ 仕上：・ 仕上なし　・ ペイント仕上
・ その他（
● 出入り口ゲート：構内出入り口にジャバラゲート設置する。
開閉可能な出入り口とする。

(2) 打合せ詰所等
● 構造：● プレハブ造 又はコンテナ　・ 木造　・ その他（
● 規模：・ １０㎡内外　● ２０㎡内外　・ ３５㎡内外
・ その他（
● 備品：● 机、椅子、来客用安全帽、長靴
・ その他（
● 設備：● 電灯　・ 給排水給湯設備　・ 電話　・ 冷蔵庫
● 消火器　・ インターホン　● エアコン
・ その他（
● 打合せ詰所は工事打合せに便利なように請負事務所に隣接して建てる。詰所に係る費用は、請負者の負担とする。

(3) 看板
● 仮設便所を請負者の負担で設ける。
● 本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置などあらかじめ係員と協議する。

(4) 工事用水電力
● 利用できる（● 有償　・ 無償 ）● 利用できない（水道）（電気は仮設引き込み）

(5) 障害物の処理
● 工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

(6) 設計ＧＬ
● 標準Ｇ．Ｌ．の決定及び、Ｂ．Ｍ．の設置は、係員の立合のもとに行う。

(7) 保護設備等
● 本工事の施工に当たり、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の了解を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに応急手当て、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。
● 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、公道及び敷地内舗装等や駐車場の工事による損傷部は完全に復旧する。
● 東側堤防道路は工事用道路としての使用、大型車両の通行は可能であるが、通行時に交通誘導員を3名配置し、徐行運転とする。
● 海苔加工機器搬入（別途工事）の際、前処理作業室の搅拌タンクより南側を床合板養生すること。

０３　土　工　事

(1) 根切り
● 工事着手前に根切り方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工計画図を提出し、係員の了解を得るものとする。
● 根切り完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の了解を得るものとする。
・ 特殊工法

(2) 敷地整理
・ 樹木：・ 移植　・ 伐採　・ その他（敷均し）

(3) 埋戻し、盛土
● 埋戻し：● 根切土使用可（良質土のみ）・ その他（良質土）
● 盛土：● 根切土使用可（良質土のみ）・ その他（良質土）

(4) 残土処分
・ 場外搬出　（既存埋め立てによる改良土は産廃扱いとする）
・ 場内堆積　● 場内敷均し(将来予定3棟地全体)
・ その他（

０４　地業工事

１．地耐力試験
・ 不要　・ 必要　ケ所
・ 長期支持力　ｔ／㎡

(2) 既製杭地業
● 杭の種類：・ ＲＣ杭　● ＰＨＣ杭　・ その他（
● 長さ等　：詳細については構造設計図特記による。
● 試験杭　：詳細については構造設計図特記による。
・ アースオーガー工法：・ 不要　・ 必要　ＧＬ－　ｍ迄
● セメントミルク注入工法

３．場所打ちコンクリート地業
・ 杭の種類：・ アースドリル杭　・ ベノト杭　・ 深礎工法
・ その他（
・ 長さ等　：詳細については構造設計図特記による。
・ 使用鉄筋：詳細については構造設計図特記による。
・ コンクリート：詳細については構造設計図特記による。
・ 積荷試験：・ 不要　・ 必要　ケ所

(4) 割栗及び砂利地業
● 地業の種類：・ 割栗　・ 砂敷（山砂）・ 砂利　● 砕石（目つぶし共）
・ その他（　ランマー等にて十分転圧
● 厚さ：（図示）㎜　土間下 R00～40可

５．ラップル（ｺﾝｸﾘｰﾄ）地業
・ コンクリートの調合：セメント１・砂３・砂利６（容積比）
・ コンクリートと玉石の比率：１：１　・ その他（

(6) 捨てコンクリート地業
● 厚さ：５０㎜　● 設計基準強度　１８Ｎ／mm2
・ 調合：セメント１・砂３・砂利６（容積比）

(7) ポリエチレンフイルム敷き
・ 不要　● 必要　厚　０．１５　㎜

８．特殊工法
・

０５　コンクリート工事

(1) 鉄筋コンクリート
建物基礎・地中梁・立上り、機械基礎
● コンクリートの種別：● 普通コンクリート　・ 早強コンクリート
・ その他（
● 設計基準強度　：・ １６Ｎ／mm2　・ １８Ｎ／mm2
● ２１Ｎ／mm2（設計基準強度を示す）・２４Ｎ／mm2
・ その他
● 混和剤等　：● 減水剤　・ 防縮剤
・ その他（
● 粗骨材　：● 川砂利　● 砕石
・ その他（
● 細骨材　：● 川砂　● 山砂　・ その他（
● コンクリートの供給：● レディーミックスコンクリート
・ 現場コンクリート
・ その他（
● 水セメント比　：・ ６０°/wt以下　・ ７０°/wt
● その他（６５°/wt以下）
● スランプ　：● １８cm±２．５ｃｍ

２．軽量コンクリート（構造用）
● 期間補正　：● 行う（＋６Ｎ／mm2）
・ 粗骨材　：・ 人工軽量骨材　・ その他（
・ 細骨材　：・ 人工軽量骨材　・ その他（
・ 設計基準強度：・ １６Ｎ／mm2　・ １８Ｎ／mm2
・ ２１Ｎ／mm2　・ その他（
・ 気乾比重　：・ １．８以下　・ その他（
・ 適用範囲：　年　月　日　～　年　月　日

３．寒中コンクリート
(4) 土間コンクリート
● 普通コンクリート：Ｆ℃＝２１Ｎ／mm2　スランプ１５cm±２．５cmとする。
構造体に係わる部分は鉄筋コンクリートの強度を採用する。

５．軽量コンクリート（非構造用）
・ 基準強度：・ ９Ｎ／mm2　・ １３．５Ｎ／mm
・ その他（
・ 気乾比重：・ １．８　・ １．２　・ １．１
・ その他（
・ 粗骨材：・ 火山砂利又は石灰ガラ　・ 人工軽量骨材
・ その他（
・ 細骨材：・ 川砂　・山砂　・海砂
・ その他（

(6) 型枠
● 材　料：● 合板（厚１２㎜）　・ 繰甲板（厚　㎜）
・ 金属製型枠パネル　・ その他（
● 工　法：● ボルト式　・ 番線式　・その他（
● 剥離剤：・ 使用不可　● 使用可（色が残る場合全面モルタル塗りする）
● 存置期間：　建設省告示第１１０号による。
・ 打放しコンクリート仕上がりのかぶり厚増：・ ２０mm
・ その他（
● コンクリート面の仕上がり程度：● 目違い不陸等極めて少ない良好な面とする。（打放し面）
● 目違い不陸等の少ない良好な面とする。
● 打放しのままとし目違いばらいを行う。

(7) 試験
● セパ穴　全て防水剤入モルタル詰め、地下部は事前に金属にサビ止塗りもする。
● 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
● コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於いて行うことを原則とする。
脱型、４週、４週、その他１５０m3ごとに採取する。
(現水)(標準)(現水)（現水）
脱型、４週、その他：プラント
４週　：公認の試験所

(8) 運搬及び打込
● コンクリート打込に先立って、設計、施工条件を十分考慮し、適切なる施工計画書を作成し、係員の受領をうけるものとする。

(9) 養生
● 気温が数日にわたり０℃以下になると予想される場合はｼｰﾄ、合板等の適切な材料で覆い養生温度を保つ。

０６　鉄筋工事

(1) 一般事項
● 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
● 鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図記載の、基準詳細図等を優先とする。
● 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作成し、係員の受領を受ける。

(2) 材料
・ 普通鉄筋：・ ＳＲ２３５（規格品）
● 異径鉄筋：・ ＳＤ２３５（規格品）　● ＳＤ２９５（規格品）[D16以下]
● ＳＤ３４５（規格品）　・ ＳＤ３９０（規格品）[D19以上]
・ その他（

(3) 継手
● 種　類：● ガス圧接継手（　・ Ｄ１６以上　● Ｄ１９以上）
：● 重ね継手　・ アーク溶接継手
・ その他（

(4) 鉄筋スペーサー
● 種　類：・ 金属製　● モルタル製　● 塩ビ製
・ その他

０７　鉄骨工事

(1) 一般事項
● 使用範囲及び区分は、構造設計図による。
● 鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、規準詳細図を優先する。
● 工作図または、原寸図（型板および定規を含む）を作成し、係員の検査を受ける。

(2) 普通鋼
● 形鋼・鋼鈑　：● ＳＳ４００　・ ＳＭ４００Ａ　・ ＳＭ４００Ｂ
・ ＳＭ４９０Ａ　● ＳＮ４９０Ｃ（ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ等）
・ その他（
● 軽量形鋼　：● ＳＳＣ４００（規格品）
● 鋼　管　：・ ＳＴＫ４００　・ ＳＴＫ４９０　・ ＢＣＲ２９５　メイン柱
● その他（ＳＴＫＲ４００）
● 高力ボルト　：● Ｆ８Ｔ　● Ｆ１０Ｔ　● Ｓ１０Ｔ認定品
● 普通ボルト　：● ＳＳ４１とし等級は中ボルト程度とする。
・ リベット　：・ ＳＶ４１Ａ（規格品）
● 溶接材料　：● ＪＩＳ・Ｚ・３２１１規格に適合するもの。
● 防錆塗装　：● 素地調整の程度　・ 第一種ケレン（ブラスト法）
● 第二種ケレン（機械的作業）
● 第三種ケレン（手工具作業）
：● 錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。JIS K5625 1種（２回塗り）
：● 塗装回数は、工場１回、現場１回、但し組立後塗装不可能な部分は、工場２回塗りとする。
● 仕上塗装　：● 耐候性塗料　・ グラファイトペイント（見え掛かり：フッ素樹脂）
・ その他

(3) 耐侯性高張力鋼
・ 鋼　材　：・ ＳＰＡ　Ｈ／Ｃ　・ ＳＭ５０Ａ／Ｂ／Ｃ
：・ ＳＭ５０ＢＣ　・ その他（
・ 高力ボルト　：・ Ｆ８Ｔ　・ Ｆ１０Ｔ　・ Ｆ１２Ｔ
・ 使用材料　：・ 裸使用　・ 表面処理（　・ ウェザーコートⅠ
・ ウェザーコートⅡ
・ その他（
・ 溶接材料　：　ＪＩＳ・Ｚ・３２１１規格に適合するもの。

(4) 工法
● ボルト工法　・ 溶接工法（アーク溶接）
その他（

(5) 溶接部の試験
● 試験の種別：● 超音波探傷試験　・ Ｘ線検査
● 第３者検査 30%以上　自主検査 100%

(6) 溶接工の証明確認
● 行う　・ 行わない

(7) 試作品
・ 必要　● 不必要

(8) 工場指定
● 建設大臣認定Ｍランク以上

(9) 必要書類
● 鋼材の流通経路を示す書類
● ミルシート
● 溶接工事作業計画書（様式あり）
● 溶接工事施工報告書（様式あり）
● 鉄骨工事施工状況報告書
● 認定工場の認定書　写し（原本証明押印）
● 溶接、組立、試験、検査等の写真、工事現場工事各表示写真
● 各検査、試験結果報告書

訂正			工事名	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
	．．		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	設計 / 構造 / 製図		特記仕様書－１		1
	．．							
	．．							

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)　伊藤　明彦

０８　組　積　工　事

１．コンクリートブロック	・　種　　別：・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種（防水） ・　厚　　さ：・　１００㎜　・　１２０㎜　・　１５０㎜ ・　１９０㎜ ・　補強鉄筋：・　縦筋Ｄ１０　＠４００㎜ ・　横筋Ｄ１０　＠６００㎜ ・　開口補強筋Ｄ１３
２．煉瓦（レンガ）	・　種　　別：・　普通　・　耐火　・　焼過ぎ ・　その他（ ・　使用場所：・　化粧　・　塗下　・　防水押え　・煙道 ・　その他（
３．ＡＬＣ版	・　形状・寸法：・　外壁　100　㎜　・　間仕切壁　㎜ ・　床版　㎜　・　屋根板　㎜ ・　目地コーキング材：・　弾性（・　ポリサルファイド系 ・　シリコン系 ・　ウレタン系　） ・　塑性（・　アクリル系　・　ブチル系　） ・　油性 ・　その他 ・　取付金物：　ＳＳ４００を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とする。
４．プレキャストコンクリート	・　本工事は、事前に指定製作所に於いて設計図及び仕様書に基づきあらかじめ製作、組立工法の詳細について、施工図及び、施工計画書を提出し、係員の承認を受けた後工事に着手する。 ・　コンクリートの種別：・　軽量コンクリート（構造用） ・　普通コンクリート ・　混和剤の有無　：・　必要　・　不必要 ・　コンクリートの強度：・　kg/㎝2 ・　型　　枠　：・　木製　・　金属製 ・　その他（ ・　取付金物の防錆処理：・　ジンクロメートメッキ処理 ・　亜鉛メッキ処理 ・　その他（ ・　原寸試作品　：・　必要　・不必要

０９　防　水　工　事

１．一　般　事　項	・　本工事は、すべて責任施工とする。
２．アスファルト防水	・　種別：・　歩行用屋上防水　・　露出屋上防水　・　室内防水 ・　その他（
３．シート防水	・　種別：・　合成ゴム系シート防水　厚　㎜ ・　合成樹脂系シート防水　厚　2.0　㎜ ・　その他（
４．塗布、塗膜防水	・　種別　・　ウレタン塗布防水　厚　㎜ ・　ゴムアスファルト塗布防水　厚　㎜ ・　その他（
５．モルタル防水	・　種別　・　セメント系　・　樹脂系　・　その他（
６．止　水　板	・　地下階コンクリート打継ぎ箇所止水板：・　不要 ・　必要：・　クロロプレン ・　合成樹脂
７．目地押え伸縮目地	・　目地材料：・　エラスタイト＋アスファルトコンパウンド（巾　㎜） ・　発泡樹脂板＋アスファルトコンパウンド（巾　㎜） ・　その他（ ・　工　　法：・　アスファルトコンパウンドは、防水押さえ仕上り面より５㎜下りに充填しエラスタイト以外の目地棒は必ず撤去する。
８．責任保証	・　工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を３部係員に提出するものとし、事故を生じた場合は、無償にて補修復旧なすものとする。 ・　アスファルト防水：１０年間 ・　シート防水　：１０　年間 ・　塗布防水　：　年間 ・　モルタル防水　：５年間 ・　その他（

⑨　コーキング材	●　外部建具廻り：・　ポリサルファイド系 ・　ポリウレタン系 ・　油性系 ●　変成シリコン系 ・　その他（ ●　コンクリート打継目地：●　ポリサルファイド系 ・　ポリウレタン系 ・　油性系 ・　シリコン系 ・　その他（ ・　充填は　１０　㎜×　１０　㎜を最小とする。バックアップ材を使用するものとし、発泡樹脂成型材とする。

１０　石　　工　　事

１．一　般　事　項	・　石材は、傷、腐れ又は亀裂を生ずる恐れのある筋や欠点の少ないものとし、色、仕上げ面の材質は、サンプルにより、指定する。 ・　つなぎ金物の太柄、千切類は防錆処理を施した銅または真ちゅう製とする。 ・　仕上の種類は、次の記号を用いる。　Ａ＝本磨き　Ｂ＝水磨き　Ｃ＝粗磨き　Ｄ＝小叩き　Ｅ＝ひき肌　Ｆ＝ビシャン叩き　Ｆ＝割　肌
２．材　　料	・　大理石：・　国産　・　外国産　・　板厚　㎜　・　仕上 ・　花こう岩：・　国産　・　外国産　・　板厚　㎜　・　仕上 ・　その他：・　国産　・　外国産 板厚　㎜　・　仕上 ・　テラゾーブロック：・　種石 厚　２５　㎜　・　仕上

１１　タイル工事

１．一　般　事　項	・　指定製造会社の製品により、見本品を提出し、係員の承認を受ける。 ・　タイル割付図を作成し、指定の箇所は役物を用いるものとし、係員の承認を受ける。
２．工　　法	・　伸縮目地：垂直方向には、柱間毎に（柱型がない場合）あるいは柱型の両側（柱型がある場合）に設ける。水平方向には、各階毎に設ける。 ・　タイル張工法：・　圧着工法　・　団子張工法　・　接着張工法（壁） ・　打ち込み工法　・　乾式工法
３．普通タイル	・　せっ器タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　半磁器タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　磁器タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　モザイクタイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　クリンカータイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　陶器質タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　その他　（図示）　㎜×　㎜×厚　㎜
４．特殊タイル	・　テッセラタイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　窯変タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　模様入タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　外国産タイル　㎜×　㎜×厚　㎜ ・　その他（　）　㎜×　㎜×厚　㎜

１２　木　　工　　事

①　一　般　事　項	●　土台・床下地は、薬液による防虫処理材を使用する。 ●　ラワン材使用の場合は、加熱による防虫処理材とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理を使用してもよい。 ●　水廻り及び框、敷居類は、桧または、同等以上の堅木を使用するものとする。
②　樹種及び等級	●　見え隠れ材　：・　樹種　●　２級以上 ・　和室造作材　：・　樹種　・　等級 ●　一般造作材（框）：・　樹種　・　等級 ●　枠　　材　：・　樹種　●　等級　細目無地 ●　額縁積層の表面　：・　樹種　●　等級　細目無地 ●　係員の検査　承認後　使用する。
③　防腐・防虫の処理	●　見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より１ｍ以内の部分に行うものとする。
④　構造用合板	●　構造用合板１級　Ｆ☆☆☆☆

１３　屋根・外壁工事

１．亜鉛鉄板葺	・　材　料：・　亜鉛鋳鉄板　・　片面カラー鉄板　・　ビニール被覆鉄板 ・　その他（ ・　板　厚：・ ・　工　法：・　平葺（・　一文字葺　・　ひし葺　・　瓦棒葺　） ：・　波板葺（・　大波　・　小波　） ・　形　状：・　長尺　・　規格 ・　野地板：・　ドリゾール板　厚　㎜ ・　木毛セメント板　厚　㎜　厚　㎜ ・　杉荒板　厚　㎜ ・　その他（ ・　下　葺：・　アスファルトルーフィング（２２kg以上） ・　アスファルトフエルト（２０kg以上） ・　その他（
２．スレート葺	・　材　料：・　石綿大波　・　石綿小波　・　石綿平板　・　リブ ・　その他（ ・　取付金物：・　ステンレス製
③　折版構造	●　材　料：・　亜鉛鋳鉄板　・　片面カラー鉄板　・　ビニール被覆鉄板 ●　アルミめっき鋼板 ●　板　厚：●　０．８　㎜ ・　被　覆：・　耐火（ ・　断熱（発泡ポリエチレン４㎜） ●　工　法：●　角馳タイプ（ボルトレス工法） ●　その他：●　水切、面戸等取り合い板は屋根同材同厚とする。 ●　取付金物は、ステンレス等錆びにくいものとする。 ●　タイトフレームは、メーカー専用品とする。 ●　切断面に専用錆止め塗装を施すこと。 ●　搬入・施工時に、傷・穴等の検査を行い、欠陥は取替等の対処をすること。
④　その他の屋根葺	●　材　料　●　工　法　：　図示
⑤　樋	●　竪樋：・　白ガス管（φ　㎜）　●　塩ビパイプ（φ１００、６５㎜）　支持金物　ｽﾃﾝﾚｽ製　@1,000以内 ・　谷樋：・　カラー鉄板 ・　その他（　図示　） ●　軒樋：・　カラー鉄板 ●　その他（　塩ビ製　角型　）　支持金物　ｽﾃﾝﾚｽ製　@1,000以内 ・　防露：・　建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温筒厚２５㎜の上アスファルトフエルト巻ビニールテープ押えとする。

１４　金　属　工　事

①　一　般　事　項	●　工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。
②　防　錆　処　理	・　外部金物：・　ジンクロメートメッキ処理　・　亜鉛メッキ処理 ・　その他（ ・　内部金物：・　ＪＩＳ（鉛丹ジンクロメート錆止塗料）に規定する塗料１回塗とする。 ●　取付用下地金物：・指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。
③　軽量鉄骨天井及び壁下地材	●　軽量鉄骨天井下地および、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理はジンクロメートメッキ処理、または亜鉛メッキ処理を施したものとする。 壁：ピッチ　３０３以下 天井：ピッチ　２２５以下 ●　ＬＧＳ　溶融亜鉛めっき鋼鈑とする ●　ＬＧＳ　溶接部分は錆止塗料を施すこと。

４．金属製階段ノンスリップ	・　材質・巾：・　ステンレス製　㎜　・　アルミ製　㎜ ・　鉄製　㎜　・　真ちゅう製　㎜ ・　その他（ ・　型　式：・　タイヤ入　・　タイヤ無
５．ルーフドレイン	・　材　質：・　鋳鉄製コールタール焼付仕上とする。 ・　取付工法：・　先付け工法　・　後付け工法
６．マンホール	・　種　類：・　並型　・　防水型　・　耐震型　・　防臭型 ・　錠（・　有　・　無　） ・　材　質：・　鋳鉄製　・　アルミ枠製　・　その他 ・　型　式：・　丸型　・　角型　・　二重型化粧マンホール ・　その他（
⑦　天井改め口	●　材　質：●　アルミ枠製　・　ステンレス枠製　・　その他（ ●　寸　法：●　４５０㎜角　・　６００㎜角　・　その他
⑧　格　子　蓋	●　材　質：●　鋳鉄製（溶融亜鉛めっき処理）　・　ステンレス製
９．製作金物	・　材質・形状等は、設計図によるものとする。

１５　左官工事

①　モルタル塗	●　モルタルは亀裂防止材、接着材、防水材その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。 ●　塗厚　内壁：・　２０㎜　●　図示　㎜ 外壁：・　２５㎜　●　図示　㎜ 床：・　３０㎜　●　図示　㎜
②　防水モルタル塗	●　防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。 調合容積比　セメント　：１ 砂　　：２ 防水剤（製造会社の指定量）
３．プラスタ塗	・　種類：・　ドロマイトプラスター　・　石膏プラスター ・　ＡＬＣ版用プラスター ・　ラスボード：・　厚　９㎜　・　厚　７㎜　・　その他（
４．吹付タイル	・　種類：・　無機質系　・　有機質系　・　その他（ ・　仕上：　(図示)
５．リシン吹付	・　種類：・　アクリル系　・　セメント系　・　その他（ ・　仕上：本施工前に見本吹きを行い、吹付け回数を決定する。
６．白セメント	・　白セメントにドロマイトプラスター（上塗用）を１０%混和水練りしたものをこして使用するものとし、２回吹付とする。
７．岩綿吹付	・　種類：・　吸音用　・　その他 ・　吹付厚：・　１０㎜　・　１５㎜　・　２０㎜　・　２５㎜ ・　３０㎜　・　その他（ ・　色　：・　着色　・　原色 ・　仕上：・　吹付　・　こて押え
８．石綿吹付	・　種類：・　断熱用　・　耐火被覆用　・　吸音用 ・　その他（ ・　吹付厚：・　㎜ ・　色　：・　着色　・　原色 ・　仕上：・　吹付　・　こて押え　・　エンボス仕上 ・　その他（
９．ひる石吹付	・　種類：・　吸音用　・　その他（ ・　吹付厚：・　３㎜　・　５㎜ ・　色　：・　着色　・　原色 ・　仕上：・　吹付　・　かき落とし　・　こて押さえ
10．人造石塗り	・　仕上：・　水磨き　・　粗磨き　・　小叩き　・　かき落し ・　その他（
11．テラゾー現場塗	・　仕上：・　水磨き　・　粗磨き　・　小叩き　・　かき落し ・　その他（
12．塗　床　材	・　種類：・　硬質着色床　・　合成樹脂ビニール系 ・　セメント系　・　その他

訂正	．． ．． ．． ．．		工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製：26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名：特記仕様書－２	縮尺	図面No. 2

１６　建具工事

① アルミ建具	● 種　類：● レディーメード製品　● イージーオーダー製品 ・ オーダーメード製品　・ その他（ ● 型　式：● レギュラー　・ セミエアータイト　・エアータイト ・ その他（ ● 仕　上：・ アルマイト仕上　・ 自然発色皮膜　●電解着色皮膜 ● 取付け金物　建具取付け金物はステンレス製とする。
２．鋼製建具	・ 種　類：・ 普通鋼板（焼付塗装）　・ ボンデ亜鉛鋼板　・ ボンデ鋼板 ・ 耐熱製板　・ その他（溶融亜鉛めっき鋼板） ・ 鋼板厚さ：・ 表面　１．０㎜ ・ 窓・出入口・三方枠・方立・無目等は厚さ２．３㎜ 沓摺はステンレス製厚さ２㎜ ・ 防錆処理：・ ジンクロメート錆止塗料一回塗　・ その他（ ・ 防音処理：・ 防音扉の性能は３０ｄＢ以上とする。 ・ 外部廻り、機械室、その他騒音を生じる箇所の鋼製ドアー枠はスポンジネオプレーン気密材を用いて気密にする。
３．ステンレス製建具	・ 種　類：・ レディーメード製品　・ オーダーメード製品 ・ 仕　上：・ ヘアーライン仕上　・ バフ仕上 ・ エッチング仕上　・ ミラー仕上 ・ その他（ ・ 曲げ加工：・ 普通曲げ　・ 角出し曲げ　・ その他（
④ シャッター	● 種　類：・ 重量電動シャッター　● 中量電動シャッター ● 軽量手動シャッター ・ 防煙・防火シャッター　（　・　甲種　・　乙種　） ・ 型　式：・ 差込型　・ パイプ型　・ リベット綴り型 ・ ネット型　・ 波型　・ その他（ ● 機　構：● 巻上げ式　・ 横引式　・ 水平式 ・ その他（ ● レール・マグサ：● ステンレス製　・ 鋼板製 ● スラットの種類：・ ステンレス製　・ アルミ製　● 鋼板製 ● スラットの厚さ：・ 厚 1.6㎜　・ 厚 1.2㎜　● 厚 0.8㎜以上 ・ 厚 0.5㎜　・ 厚 1.5㎜ ● 取付け金物　建具取付け金物はステンレス製とする。
５．自動扉装置	・ 動力方式：・ 油圧式　・ 空気圧式　・ 電気圧式 ・ その他（ ・ 制御方式：・ マットスイッチ式　・ タッチスイッチ式 ・ 光電スイッチ式　・ その他（赤外線反射スイッチ）
⑥ 木製建具	● 一般事項：・ 仕上塗装は後記、塗装工事使用によるものとし、化粧合板の仕様は設計図による。 ● フラッシュ戸表面材の厚さ：・ ５．５㎜以上　● ４．０㎜以上 ・ ３．０㎜以上
⑦ 建具金物	● 指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が承認したものとする。 ● 同一キー：● 必要　３本　・ 不要 ・ グランドマスターキー：・ 必要　・ 不要 ・ 各キーは市販キーボックスに納入し、案内図を添付して係員に提出する。
⑧ 建具周囲のシーリング材	● 建具の四周は入念にコーキングすること。 ● 種　類：・ ポリサルファイド系　● 変成シリコーン系　・ 油性 ・ その他（
⑨ 網戸	● 網の種類：・ サラン　・ ステンレス　● グラスファイバー ・ その他（
⑩ ガラス	● 種　類：設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。 ● ガラス取付材料：・ ビニール製ビード　● 変性ｼﾘｺﾝ　網入りガラスの小口は錆止めを施す ・ ポリサルファイド系シール材 ・ 硬化性ガラスパテ ・ ネオプレーンジッパーガスケット ・ その他（乙種防火戸対応シール材）

１７　塗装工事

① 一般事項	● 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。 ● 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。
２．防火材料	・ 屋内の壁及び天井の仕上は基材同等の認定のあるものとする。
３．合成樹脂エマルジョンペイント塗	・ 浴室・脱衣室・便所・洗面所・湯沸室の天井は一種（外部用）を用いる。
４．マスチック塗	・ 種類：・ マスチックＡ（外部用） ・ マスチックＢ（内部用） ・ マスチックＣ（内・外部用）
⑤ 塗装回数	● 木部３回（指定色→白色→指定色） ● 鉄部２回（白色→指定色） ● ボード２回（白色→指定色）

１８　内装工事

① 一般事項	● 本工事に使用する材料は、ＪＩＳ規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けることとする。 ● 本工事に使用する合板は、図示なき限り、塗装下地の場合はシナ合板、その他は、ラワン、等級は４級とする。又水場廻りに使用する合板はタイプⅠ耐水合板とする。 ● 目透し貼りの受材面は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。
２．合成樹脂系床材	・ 種類：・ 塩化ビニール系樹脂タイル　・ 半硬質 ・ 軟質 ・ ホモジニアス ・ 塩化ビニール系樹脂シート　・ 半硬質 ・ 軟質 ・ ホモジニアス ・ ゴムタイル ・ ゴムシート ・ その他（
③ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ材	● 種類：・ モザイク　・ パーケット　● フローリング ・ その他（ ● 材質：● ナラ　・ ブナ　・ サクラ　・ その他（ 図示 ）
４．カーペット	・ 種類：・ ウイルトンカーペット　・ タイルカーペット ・ コードカーペット ・ パンチカーペット ・ その他（ ・ 下地：・ 無　・ 有（フエルトクッション　㎜） ・ 工法：・ 接着張り　・ 両面粘着テープ張り　・ グリッパー工法 ・ その他（
５．畳	・ 種類：・ 本畳　・ ビニール畳　・ スタイロ畳 ・ 特殊畳床：・ 無　・ 有
６．特殊合板	・ 種類：・ 天然木化粧合板 ・ 特殊加工合板　・ メラミン化粧合板 ・ ポリエステル化粧合板 ・ プリント化粧合板 ・ その他（
７．吸音板	・ 岩綿吸音板　・下地　・ 木製軸組 ・ 石膏ボード　厚９．５㎜（準不燃） ・ 軽鉄下地 ・ その他（既設木下地） ・ 穴あき石膏ボード　：・厚　㎜ ・ 穴あきフレキシブルボード　：・厚６．０㎜　・厚５．０㎜ ・ 炭酸マグネシウム板　：・厚　㎜
８．壁装材	・ 和紙製　：　級以上　ビニール製品 ・ 布製品　：　級以上 ・ ビニール製品：ＪＩＳ　Ａ６９２１合格品　ＡＡ級 法定防火２級検定品（壁装材料） ・ 無機質壁紙　：　１級以上　（壁装材料）
⑨ 石膏その他のボード張り	● 石膏ボード　：厚　１２．５㎜ ● 化粧石膏ボード　：厚　９．５　㎜ ・ 石綿セメント　：厚　㎜ ● 石綿ケイ酸カルシウム板　：厚　６、　８　㎜ ・ その他（フレキシブルボード　厚５） ● 普通硬質石膏ボード　：厚　１２．５　㎜
⑩ 断熱材	・ フォームポリスチレン　：厚　㎜ ・ ロックウール　：厚　㎜ ● グラスウール　：厚　１００㎜ ● スタイロフォーム　：厚　５０㎜
11．既製間仕切	・ 表面材および仕上　：・ 鋼板　厚さ　㎜以上＋樹脂塗装あるいは ・ その他（ ・ 工法　：・ スタッド式　・ パネルー体式　・ パネル分割式
⑫ その他	● 釘．ビス　：　ステンレスビス、ステンレススクリュー釘等、取付け金物は錆にくい釘、ビスを内外共に使用する。

１９　雑工事

① 室名札階数表示	● 材質：● プラスチック　・ ステンレス　・ アルミ ・ その他（ 図示 ） ● 文字型式：・ 書き文字　・ 彫文字　● 貼マーク　・ 抜き文字 ・ その他（ 図示 ） ・ 文字材質：・ 地と同質　・ シルクスクリーンエナメル ・ その他（
２．郵便受	・ 材質：・ ステンレス　・ 鋼板　・ その他 ・ 型式：・ 個別型　・ 集合型
３．黒板掲示板	・ 材質：・ スチール　・ アルミ　・ ホーロー鋼板 ・ その他（ ・ 枠：・ スチール　・ アルミ　・ 木製 ・ 形状：・ 平面　・ 曲面　・ 上げ下げ式 ・ 映写スクリーン内蔵型 ・ 寸法：・ （ 図示 ）
４．屋上丸環	・ 材質：・ 亜鉛メッキ　・ ステンレス　・ その他（
５．避難器具	・ 型式： ・ 材質：
６．沓拭マット	・ 材質：・ ステンレス（枠：ステンレス） ・ 硬質アルミ（枠：アルミ） ・ ビニールあるいはゴム製（枠：硬質アルミ）
７．可動間仕切	・ 種類：・ アコーディオンドアー　・ ルーバードアー ・ パネルパーテーション　・ その他（スライディングウォール） ・ 材質：・ 木製　・ ビニールクロス仕上　・ 焼付塗装 ・ 化粧単板　・ その他（
８．カーテンレール	・ 材質：・ ステンレス　・ アルミ　・ プラスチック ・ その他 ・ 型式：・ シングル　・ ダブル　・ その他（
９．ブラインド	・ 材質：・ ステンレス　・ アルミ　・ プラスチック ・ 型式：・ たて型　・ よこ型（スラット巾：　２５　㎜）　その他
⑩ 流し台	● 種類：● 既製品　・ 特注　・ その他（
11．浴槽	・ 材質：・ ＦＲＰ　・ ポリエステル　・ ホーロー ・ ステンレス
12．旗竿金物	・ 材質：・ ステンレス　・ アルミ　・ スチール
13．消火器	・ 粉末消火器 ＡＢＣ １０型
14．タラップ	・ 大型粉末消火器 ＡＢＣ ５０型

２０　外構工事

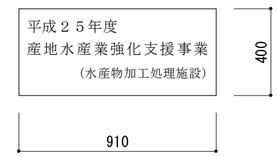
① 一般事項	● 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。
② 舗装	● 種別：● アスファルト舗装（● 混合式　・ 浸透式 ） ● コンクリート舗装（ ・ 有筋　・ 無筋　● 溶接金網入） ・ 砂利撒舗装：　切込砂利　㎜　撒布砂利　㎜
③ フェンス	● 種別：● ネットフェンス　・ エキスパンドメタルフェンス ・ その他（図示） ● 高さ：　Ｈ＝１，８００㎜　Ｈ＝１，０００
４．塀	・ 種別：・ 万代塀　・ コンクリートブロック塀 ・ その他（ ・ 高さ：　Ｈ＝　1,500　㎜ ・ 仕上：　（モルタル下地弾性吹付タイル）
５．境界石	・ 型式：・ 歩車道境界用既製ブロック　・ その他（ 図示 ）
⑥ 敷地内排水溝	● 種別：　溝　・ 既製Ｕ字側溝 ● 既製スリット型側溝 ・ 現場打コンクリート溝 ・ その他 蓋　・ コンクリートブロック製 ・ 鋳鉄製（溶融亜鉛めっき） ・ 既製Ｕ字側溝 ・ その他
７．植栽	・ 植栽：風除け支柱の種類　・ 三脚　・ 四脚　・ 鳥居形 ・ 補償期間：　新植、移植及び芝張りの補償期間 引渡し日より　年間 ・ 芝張り：　種別　・ 野芝　・ 高らい芝　・ その他 客土　・ 不要　・ 要

● メーカーリスト

異形鉄筋	ＪＩＳマーク表示品
ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	ＪＩＳ表示許可工場製造品
杭	ＪＩＳマーク表示品
硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管	ＪＩＳマーク表示品
木材	製材の日本農林規格
ｱﾙﾐｻｯｼ	ＪＩＳ表示許可工場製造品
ガラス	日本板硝子、旭硝子、セントラル硝子
石膏ボード	ＪＩＳマーク表示品
石綿板	ＪＩＳマーク表示品
シーリング	ＪＩＳマーク表示品
ＬＧＳ	ＪＩＳマーク表示品

● その他

事業看板	下図アクリル看板（支給品）を東面ＲＣ腰壁に取付とする。



訂正			工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	特記仕様書－３		3
	・ ・			設計 / 構造 / 製図			
	・ ・						

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤明彦

外部仕上表

部位	仕上	品番・色
屋根	アルミめっき鋼板 角馳折版 t=0.8（山高160）	不燃 NM-9583 同等品（耐候用ｱﾙｽﾀｰ鋼板同等品）
	高難燃ポリエチレン t=4裏貼り	ＯＴルーフ同等品
軒裏	アルミめっき鋼板 角馳折版 t=0.8（山高160）	
庇	アルミめっき鋼板 角馳折版 t=0.8（山高160）	
	高難燃ポリエチレン t=4裏貼り	
	鉄骨露出部：耐候性塗料(フッ素樹脂)	鉄骨色：日塗工 F25-85A
南出入小庇	アルミめっき鋼板 t=0.4 瓦棒葺き	
樋	軒樋：塩ビ製 前高165WIDE（南出入小庇 100角）	
	竪樋：塩ビ製100φ（南出入小庇 65φ）	
	受け・支持金物：ステンレス製 ＠1000以内	

部位	仕上	品番・色
外壁	不燃サイディング（塗装品） t=16張り	ニチハ(株) ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16 EF9052G同等品
	同上　同質コーナー役物	ジョイント専用シーリング
	透湿防水シート t=0.2以上	専用金具先付工法(専用金具取付ﾈｼﾞｽﾃﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ)
	前処理作業室を除き外周断熱材グラスウール t=100(24kg/m3)充填	
開口部	アルミサッシ	シルバー
シャッター	中量電動シャッター（焼付塗装鋼板）	
	軽量手動シャッター（ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板）	
水切り	外壁土台部：塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35	
	屋根取合部：アルミめっき鋼板 t=0.8	
根廻り	コンクリート打放し	
	セパ穴は防水モルタル埋め	
	前処理作業室内外目地切りシーリング	

部位	仕上	品番・色

配　置　図

＋5.50を設計ＧＬとする
（　）内寸法は現況レベルとする

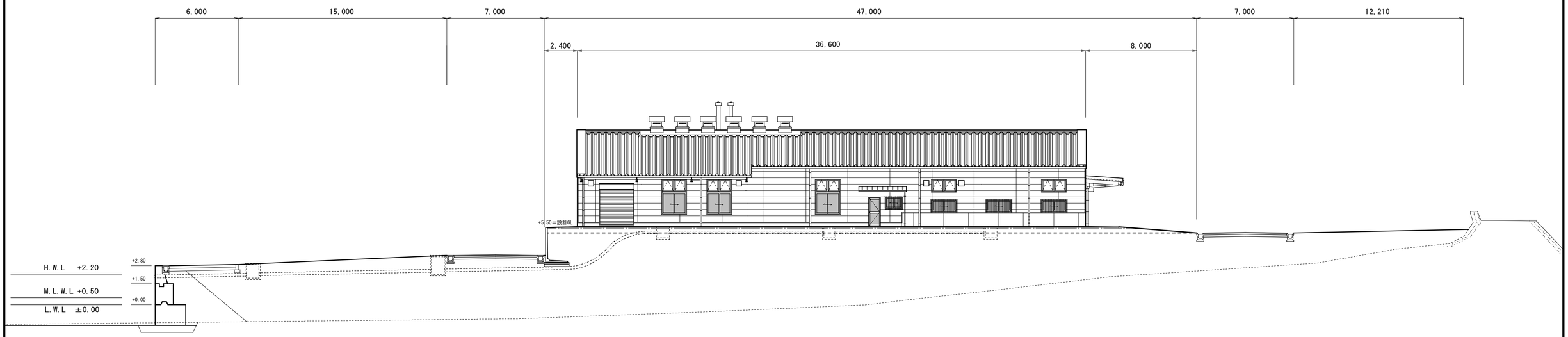
凡例

：今回（平成26年度）設置建物
１棟の床面積
436.80㎡×3棟＝1,310.40㎡

：平成27年度以降　設置建物予定

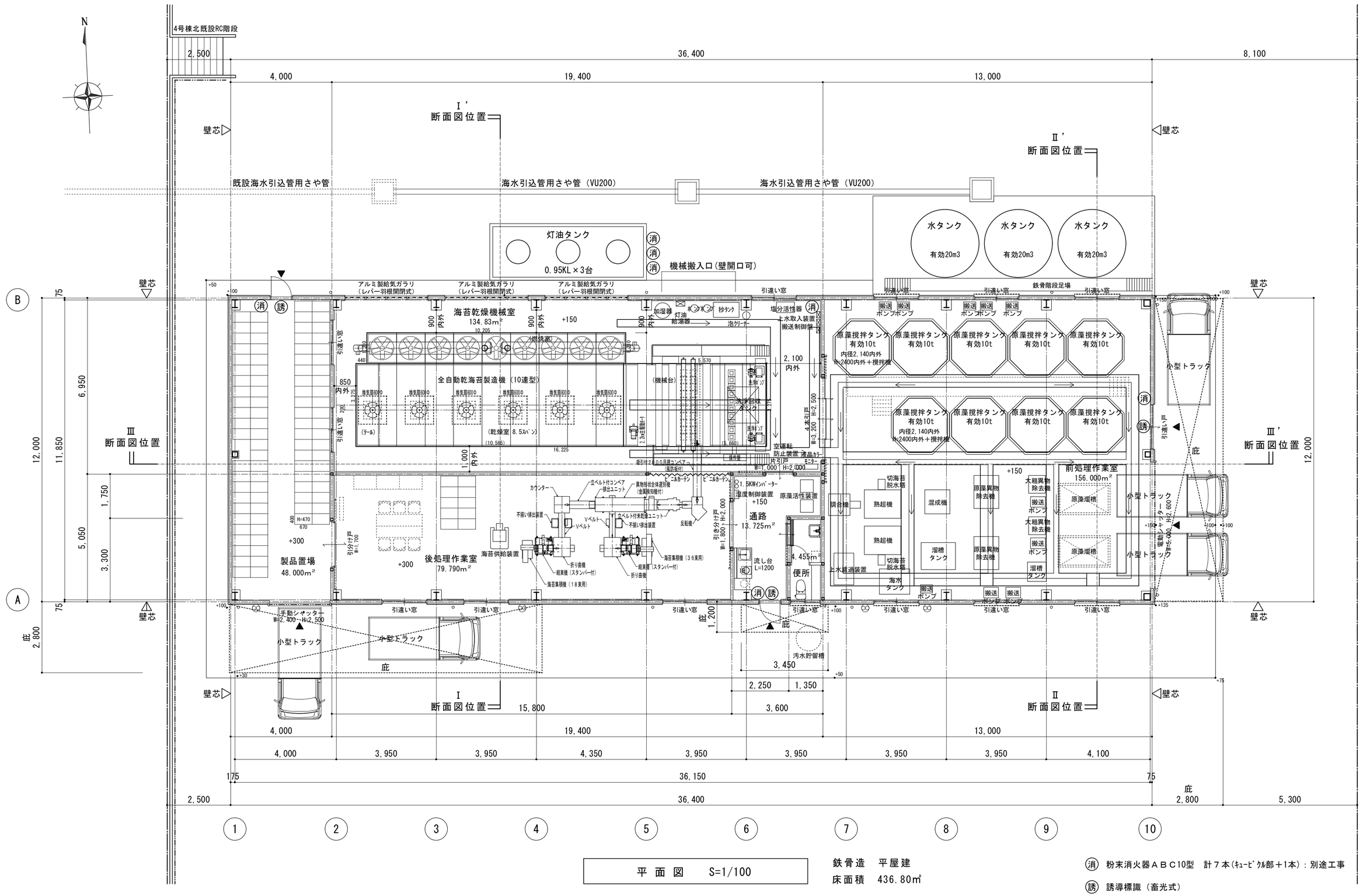
：既設建物

訂 正	工事名	株式会社 伊藤設計	作製	図名	縮尺	図面No.
・・ ・・ ・・	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	26年 5月 31日	配置図	S=1/500	5
		一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	設計 / 構造 / 製図			



敷地断面図　S=1/200

訂正	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		工事名 平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 敷地断面図	縮尺 S=1/200	図面No. 6

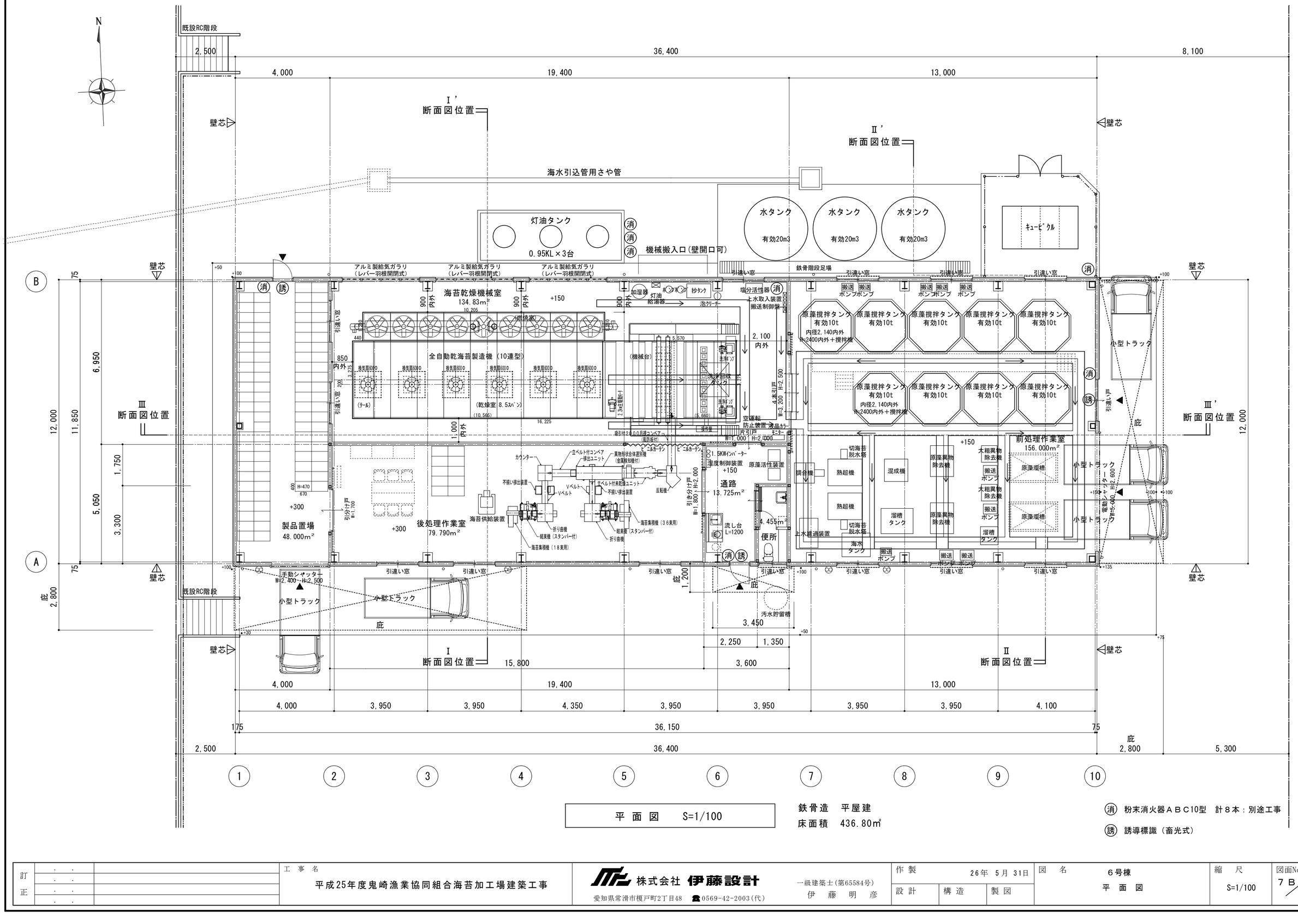


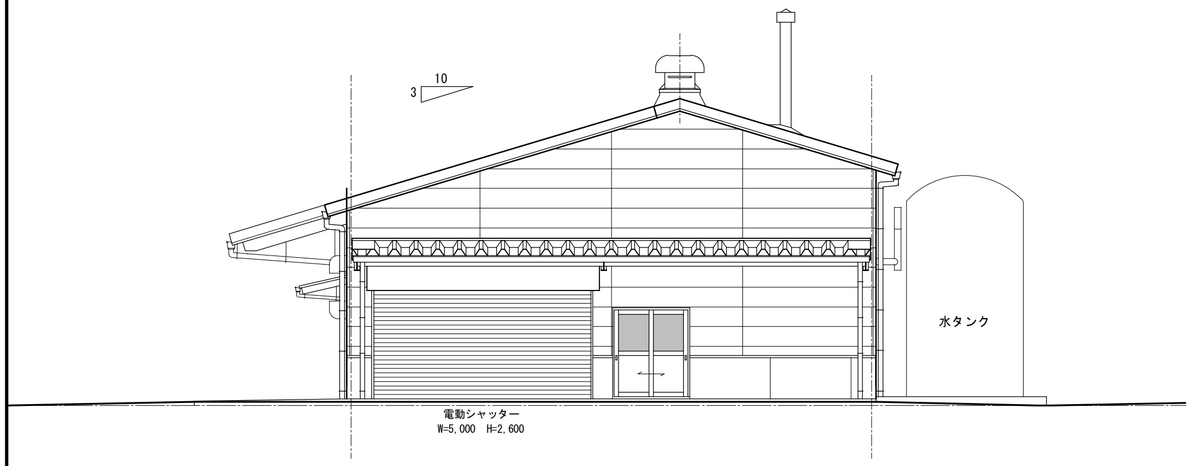
平 面 図　S=1/100

鉄骨造　平屋建
床面積　436.80㎡

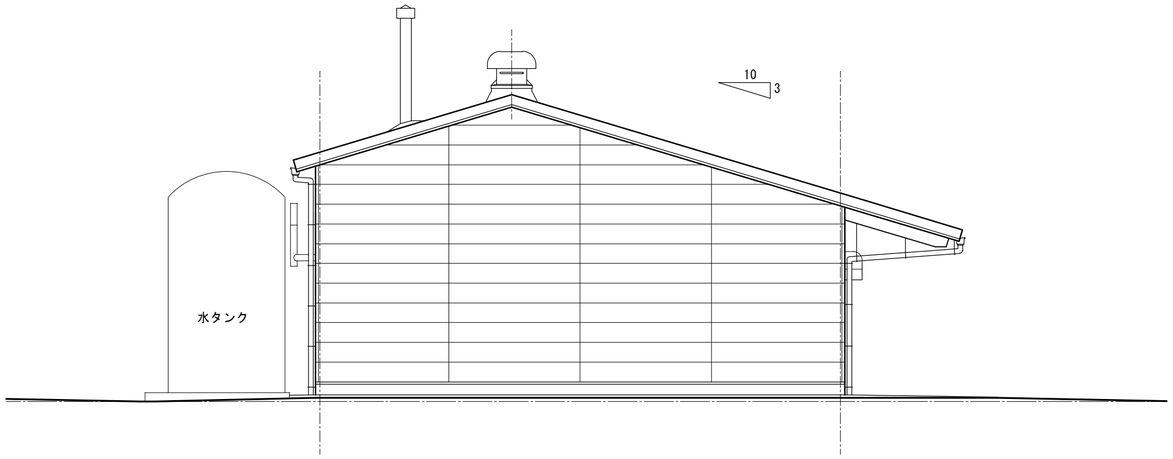
(消) 粉末消火器ＡＢＣ10型　計７本(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ部＋1本)：別途工事
(誘) 誘導標識（畜光式）

訂	. .		工事名	株式会社 伊藤設計	一級建築士(第65584号)	作製	26年 5月 31日	図名	４号棟・５号棟	縮尺	図面No.
正	. .		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	伊藤明彦	設計 / 構造 / 製図		平面図		S=1/100	7A

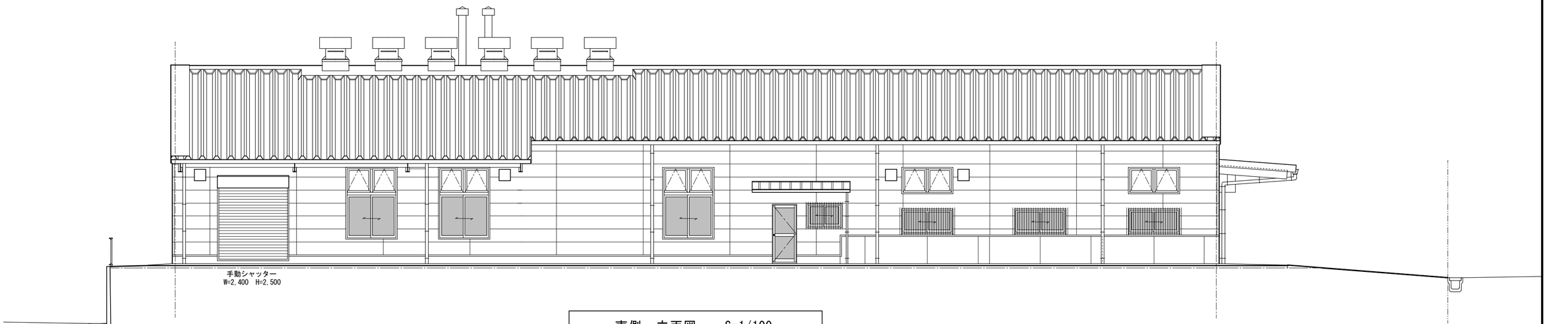

N
既設RC階段
2,500
36,400
8,100
4,000
19,400
13,000
壁芯
Ⅰ'
断面図位置
Ⅱ'
断面図位置
海水引込管用さや管
灯油タンク
0.95KL×3台
水タンク
有効20m3
水タンク
有効20m3
水タンク
有効20m3
キュービクル
機械搬入口(壁開口可)
アルミ製給気ガラリ
(レバー羽根開閉式)
アルミ製給気ガラリ
(レバー羽根開閉式)
アルミ製給気ガラリ
(レバー羽根開閉式)
引違い窓
鉄骨階段足場
引違い窓
引違い窓
引違い窓
海苔乾燥機械室
134.83m²
10,205
(燃焼室)
900
内外
900
内外
900
内外
+150
加湿器
灯油
給湯器
抄タンク
塩分活性器
上水取入装置
搬送制御盤
泡クリーナー
2,100
内外
850
内外
全自動乾海苔製造機（10連型）
換気扇600φ
換気扇600φ
換気扇600φ
換気扇600φ
換気扇600φ
換気扇600φ
(テール)
(乾燥室 8.5スパン)
(10,565)
16,225
(機械台)
5,570
(5,660)
冷水分回収タンク
空運転
防止装置
液晶カラーモニター
操作盤
吸引付2.4kW昼間コンプレッサー
(屋防振付)
片引戸
W=1,000 H=2,000
4本出戸
H=2,500
W=3,200
引違い窓
引違い窓
引違い窓



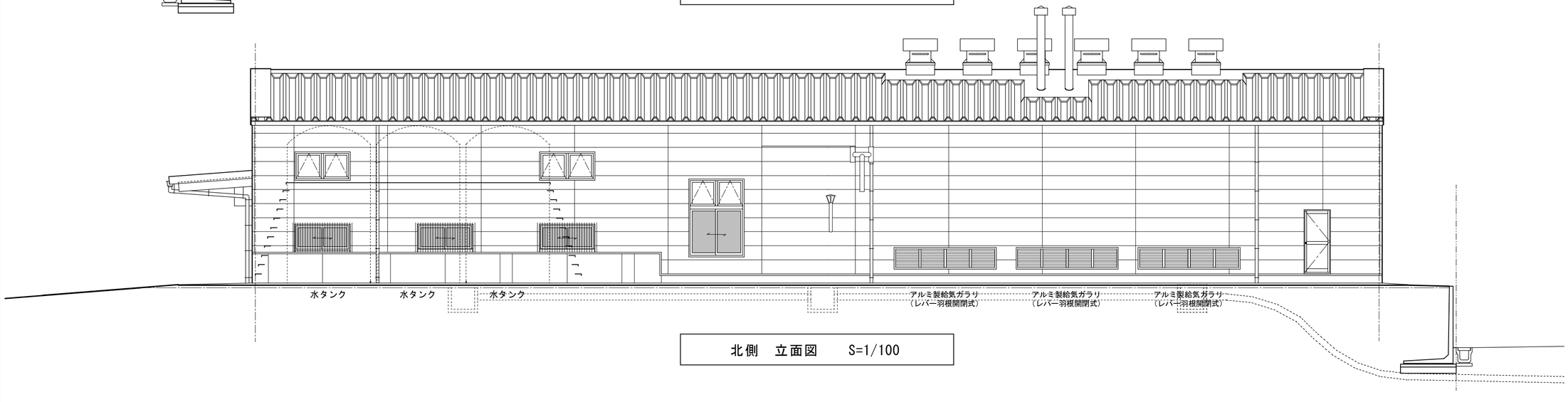
東側　立面図　　S=1/100



西側　立面図　　S=1/100



南側　立面図　　S=1/100

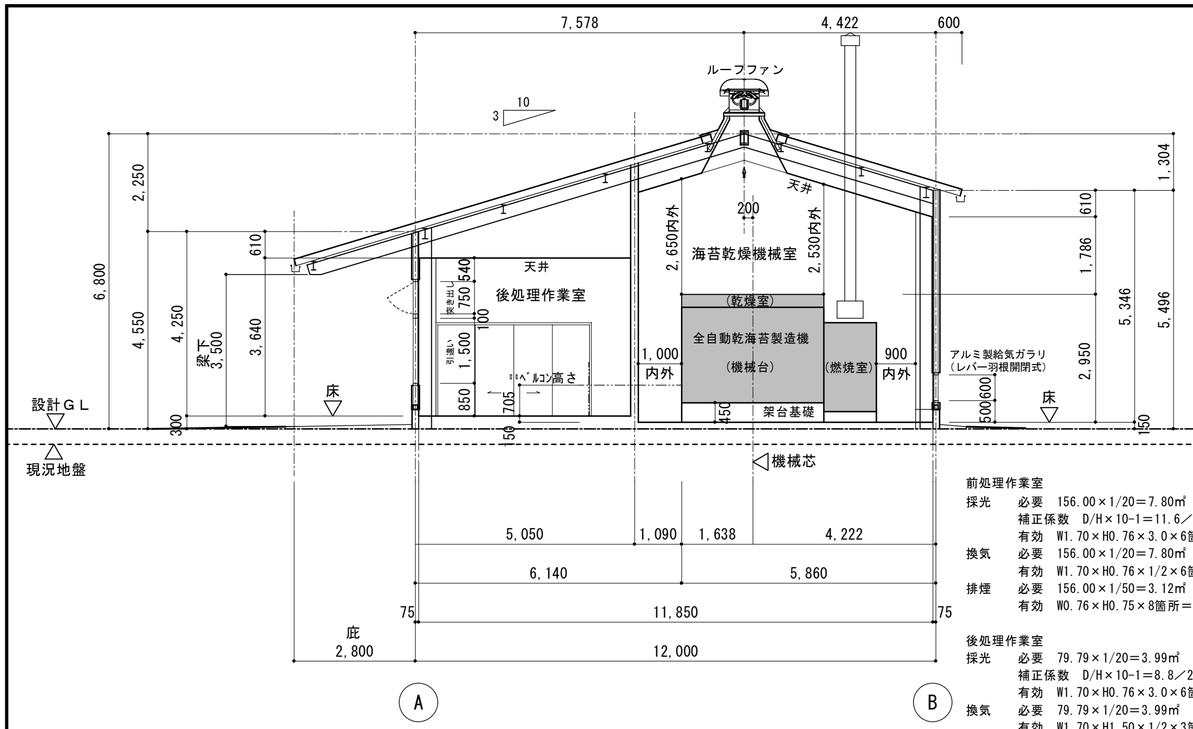


北側　立面図　　S=1/100

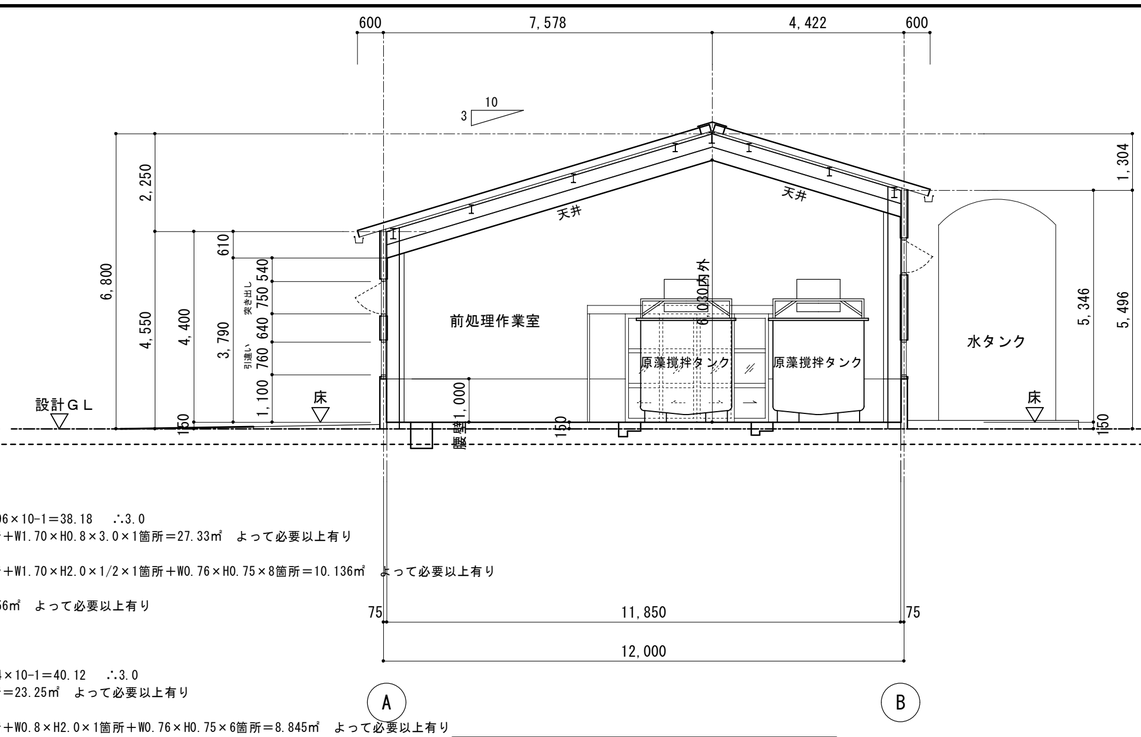
訂正			工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
			平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	立面図	S=1/100	8

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤 明彦

設計　構造　製図



Ｉ－Ｉ’　断面図　S=1/100

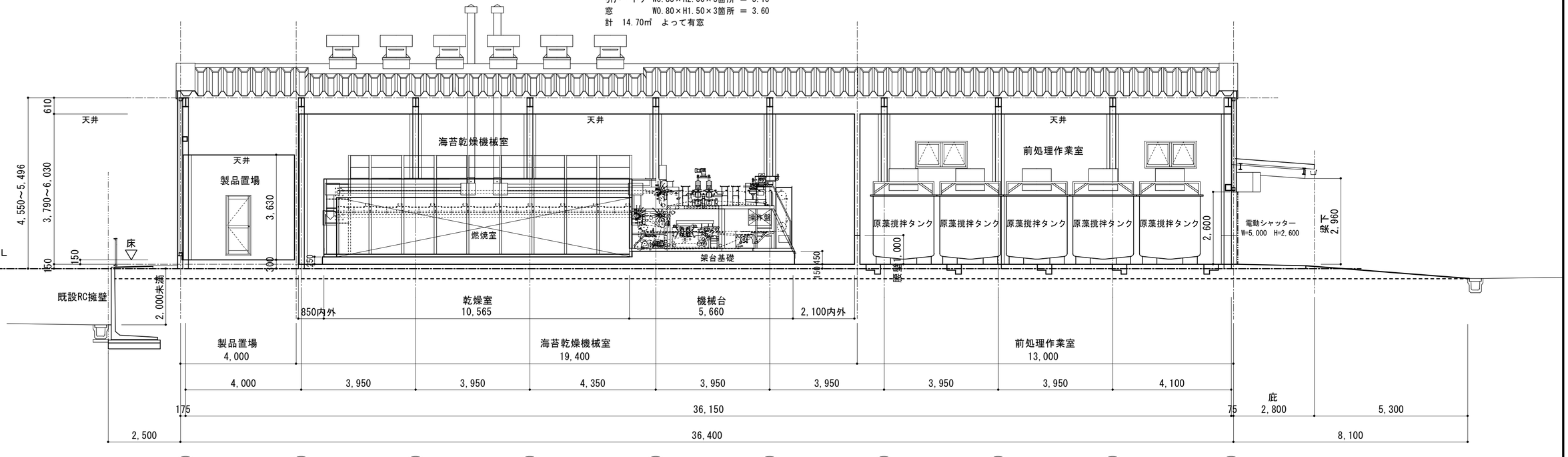


Ⅱ－Ⅱ’　断面図　S=1/100

前処理作業室
採光　必要　156.00×1/20＝7.80㎡
補正係数　D/H×10-1＝11.6／2.96×10-1＝38.18　∴3.0
有効　W1.70×H0.76×3.0×6箇所＋W1.70×H0.8×3.0×1箇所＝27.33㎡　よって必要以上有り
換気　必要　156.00×1/20＝7.80㎡
有効　W1.70×H0.76×1/2×6箇所＋W1.70×H2.0×1/2×1箇所＋W0.76×H0.75×8箇所＝10.136㎡　よって必要以上有り
排煙　必要　156.00×1/50＝3.12㎡
有効　W0.76×H0.75×8箇所＝4.56㎡　よって必要以上有り

後処理作業室
採光　必要　79.79×1/20＝3.99㎡
補正係数　D/H×10-1＝8.8／2.14×10-1＝40.12　∴3.0
有効　W1.70×H0.76×3.0×6箇所＝23.25㎡　よって必要以上有り
換気　必要　79.79×1/20＝3.99㎡
有効　W1.70×H1.50×1/2×3箇所＋W0.8×H2.0×1箇所＋W0.76×H0.75×6箇所＝8.845㎡　よって必要以上有り
排煙　必要　79.79×1/50＝1.60㎡
有効　W0.76×H0.75×6箇所＝3.42㎡　よって必要以上有り

消防無窓有窓ﾁｪｯｸ
必要　436.80×1/30＝14.56㎡
有効　シャッター W2.40×H2.50×1箇所 ＝ 6.00
引戸・ドア W0.85×H2.00×3箇所 ＝ 5.10
窓　W0.80×H1.50×3箇所 ＝ 3.60
計　14.70㎡　よって有窓

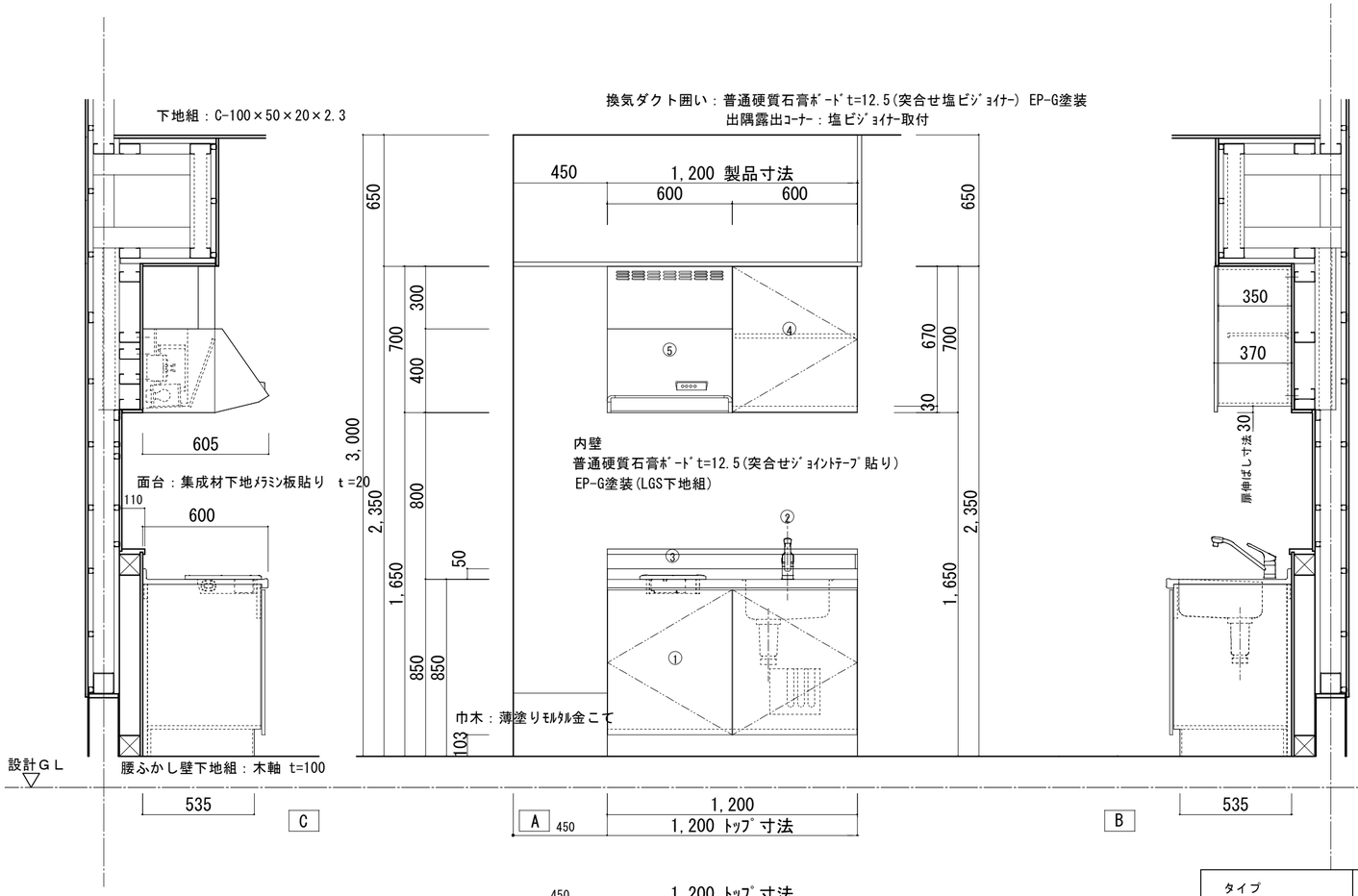


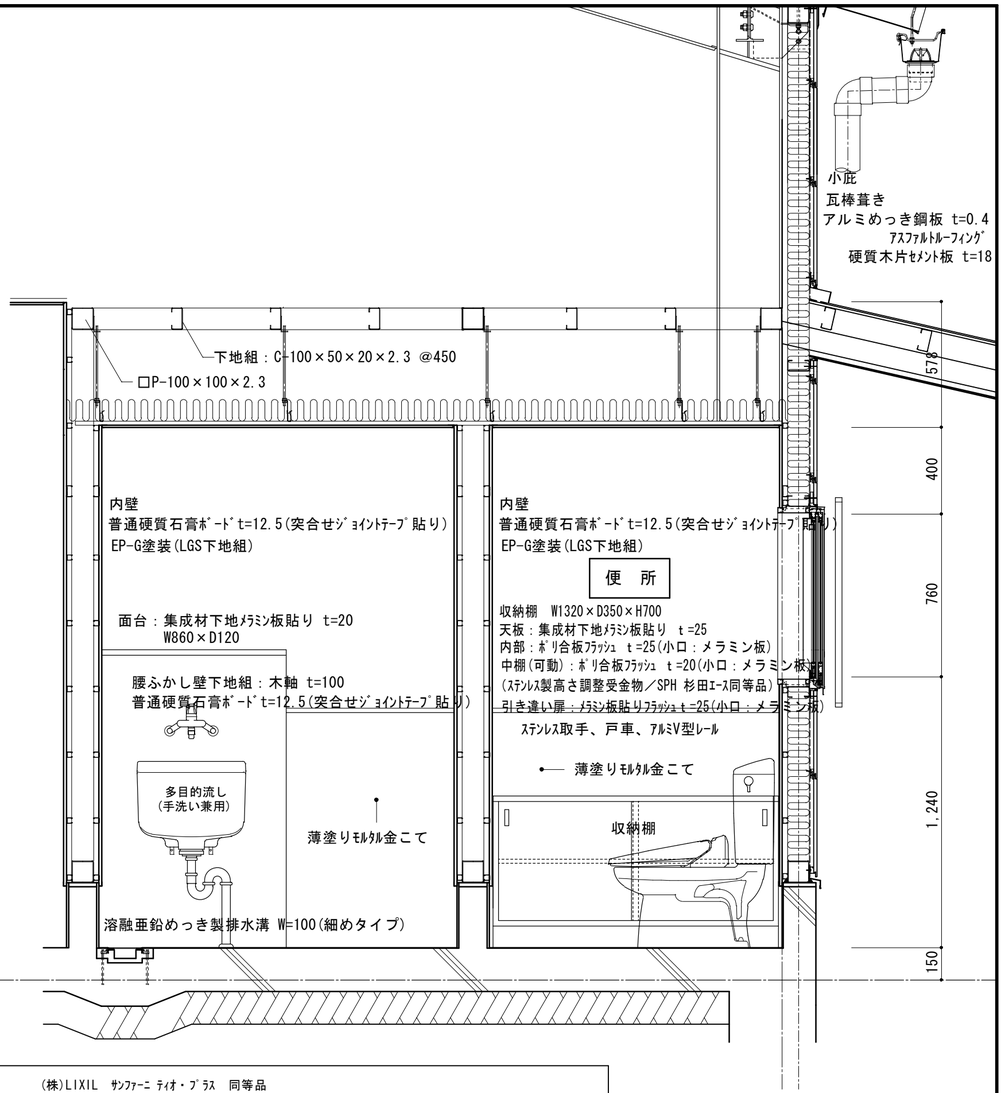
Ⅲ－Ⅲ’　断面図　S=1/100

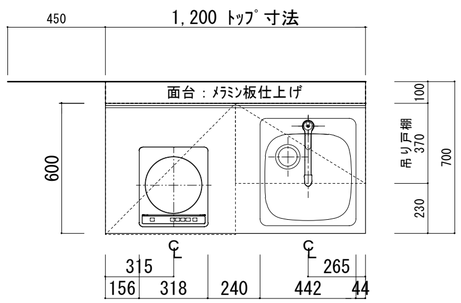
訂 正	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		工事名 平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤　明彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 断面図	縮尺 S=1/100	図面No. 9

ルーフファン廻り取合水切り：アルミめっき鋼板 t=0.8
ルーフファン(製品支給品)
取付は本工事
止面戸（周囲シーリング）
馳面戸
タイトフレーム
エプロン
梁型 下地組・仕上げ：
横 角ﾊﾟｲﾌﾟ 40×25×1.6
縦 角ﾊﾟｲﾌﾟ 40×25×1.6 @303
普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=12.5
屋根：アルミめっき鋼板 角馳折版 t=0.8（山高160）
高難燃ポリエチレン t=4裏貼り
コーナー：塩ビ自在ｱﾝｸﾞﾙ貼り
2,000内外
屋根棟包み：
アルミめっき鋼板 t=0.8
コーナー：塩ビ自在ｱﾝｸﾞﾙ貼り
一般棟部分断面詳細図
庇：アルミめっき鋼板 角馳折版 t=0.8（山高160）
高難燃ポリエチレン t=4裏貼り
軒先水切り面戸
外部鉄骨露出部：溶融亜鉛メッキ処理の上
耐候性塗料（ＤＰ）2回塗り
屋根軒裏：アルミめっき鋼板
丸馳折版 t=0.8（山高160）
軒樋：塩ビ前高165WIDE
廻り縁：塩ビ製
隙間シーリング
軒先水切り：アルミめっき鋼板 t=0.8
軒樋：塩ビ製 前高165WIDE（南出入小庇 100角）
受け・支持金物：ステンレス製 @1000以内
竪樋：塩ビ製100φ（南出入小庇 65φ）
受け・支持金物：ステンレス製 @1000以内
60度以上
突き出し窓
開口有効750
ｻｯｼﾒｰｶｰ寸法による
800内外
390内外
100
開口部：アルミサッシ
引き違い窓
1,500
後処理作業室
内部鉄骨ブレース
耐候性塗料(フッ素樹脂)塗装
後処理作業室
内部鉄骨ブレース
耐候性塗料(フッ素樹脂)塗装
天井：けい酸カルシウム板 t=6（突合せV目地加工）
天井裏内：断熱材グラスウール t=100充填
(24kg/m3)はﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ等包みﾀｲﾌﾟ
天井LGS下地組
馳式折版天井吊りインサート取付
（桁方向@1,000程度、流れ方向@910程度）
海苔乾燥機械室
内壁：けい酸カルシウム板 t=8（突合せV目地加工）
外壁内：断熱材ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100充填
(24kg/m3)はﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ等包みﾀｲﾌﾟ
外壁面・間仕切り壁面共：鉄骨胴縁の上
LGS25 横@303(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ用)
つなぎ梁囲い
けい酸カルシウム板 t=8（ｺｰﾅｰ塩ﾋﾞ）
ｻｯｼﾒｰｶｰ寸法による
800内外
突き出し窓
開口有効750
60度以上
前処理作業室
軒樋：塩ビ製
前高165WIDE
引き違い窓
760
ﾎﾞｰﾄﾞ小口：
塩ビｱﾝｸﾞﾙ
外壁：不燃サイディング（塗装品）t=16張り
専用金具先付工法(専用金具取付ﾈｼﾞｽﾃﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ)
透湿防水シート t=0.2以上
外周断熱材ロックウール t=100充填
額縁：アルミ製
（シルバー）
外壁土台部水切り：
塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35
フローリング周囲及びﾌﾞﾚｰｽ部
ｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝ
根廻り：コンクリート打放し
セパ穴は防水モルタル埋め
間仕切り壁用頭つなぎ及び土台取付 □P-100×100×2.3
間仕切り壁用縦下地組、C-100×50×20×3.2 @900取付
LGS25 横@303(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ用)
後処理作業室：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ｼｰﾘﾝｸﾞ)＋普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5(ｼﾞｮｲﾝﾄﾃｰﾌﾟ貼り) EP-G塗装
海苔乾燥機械室：石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5(ｼﾞｮｲﾝﾄ部ｼｰﾘﾝｸﾞ)＋けい酸カルシウム板 t=8(突合せV目地加工)
柱型上ﾓﾙﾀﾙ金こて(勾配調整)
巾木：薄塗りﾓﾙﾀﾙ金こて
外壁土台部水切り：塗装ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.35
巾木：薄塗りﾓﾙﾀﾙ金こて
床：なら単層フローリング t=15 乾式(直貼り)工法
裏面直貼り用ゴムシート(t=2程度)付
断熱材ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100充填
(24kg/m3)はﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ等包みﾀｲﾌﾟ
全自動乾海苔製造機（10連型）基礎立上り
天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金こて、側面打ち放し補修
床：コンクリート金こて仕上げ
柱型根回り：
ｺﾝｸﾘｰﾄt=100根巻き
H=1000
立上りｺﾝｸﾘｰﾄ外部 H=1,100
鉄骨柱両端部及びスパン中央
に目地入れシーリング
（ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系）
根廻り：コンクリート打放し
セパ穴はモルタル埋め
天端ﾓﾙﾀﾙ金こて
設計ＧＬ
基礎天端
共通凡例
▷：シーリングを示す
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=200 金こて
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=50(B類2種)
防湿ﾎﾟﾘﾌｨﾙﾑ t=0.15(重ね300)
砂敷き t=30
砕石 t=150
以上の土間下仕様、製品置場も同じ
砕石 t=150
砕石 t=150
壁芯
壁芯
壁芯
A
B
2,250
4,550
1,304
945
560
1,520
5,496
4,551
1,100
1,000
985
760
95
15
600
800
150
300
250
200
115
70
80
5
75
100
155
295
300
150
850
2,800
5,050
6,950
2,575
11,850
100
2,475
1,953
2,350
2,350
850
850
1,850
1,647
75

訂正	・ ・ ・ ・ ・ ・		工事名 平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 断面詳細図	縮尺 S=1/30	図面No. 10







タイプ	(株)LIXIL ｻﾝﾌｧｰﾆ ﾃｨｵ・ﾌﾟﾗｽ 同等品
シリーズ	４３５シリーズ ライン取手
扉カラー	N435:ナチュラルチェリー（現場打合せにて色決定とする）
トップ	ステンレス/シルクエンボス

部材リスト

	品 名	品 番	数	備 考
1	トップ一体キャビネット	HYNK5NB12SU435R	1	
	40シンク	H2R	1	
2	シングルレバー水栓	SFHE421SYXJGZ	1	一般地用
3	ＩＨ１口コンロ	CH12BSW	1	
4	ウォールキャビ ミドル 不燃	HLWNF060U435R	1	
5	ブーツ型 シロッコファン	NBH6357WZ	1	非連動・ホワイト
201	排水蛇腹ホースセット	HJHSET	1	フランジシンク用
202	すきま埋め部材	MZMTL180SH	1	吊戸すきま埋め部材
			1	

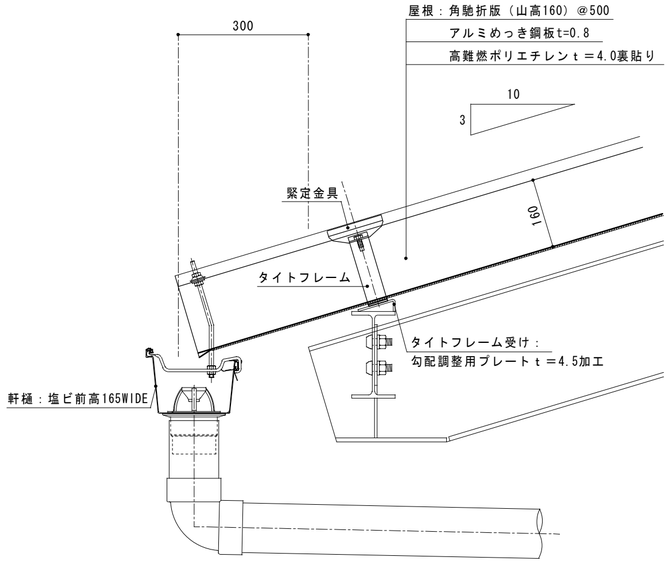
訂	. .	
正	. .	
	. .	
	. .	

工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊 藤 明 彦

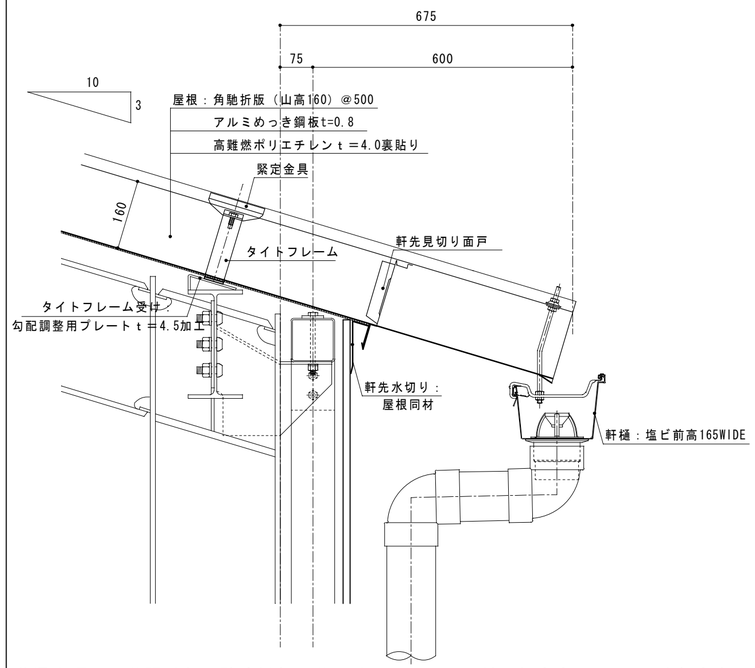
作製	26年 5月 31日		図名	縮尺	図面No.
設計	構造	製図	部分詳細図－１	S=1/20	11

軒先 詳細図　１／１０



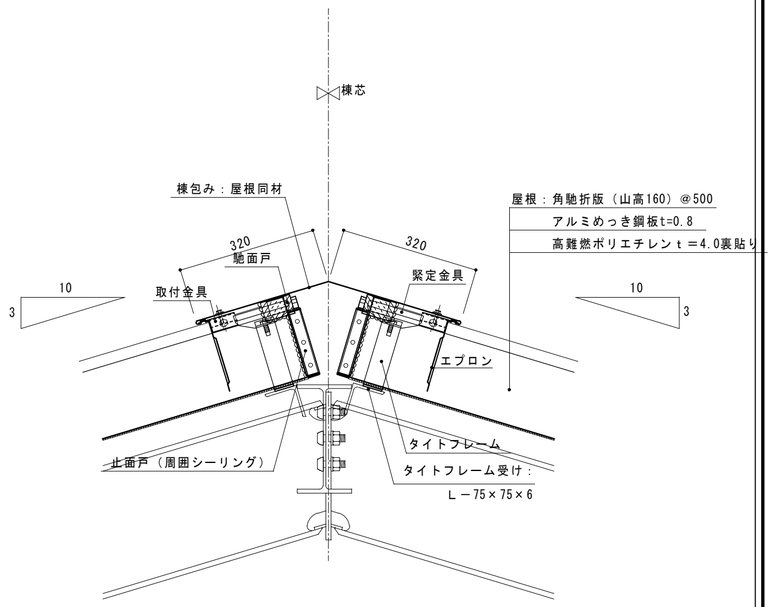
共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

軒先 詳細図　１／１０



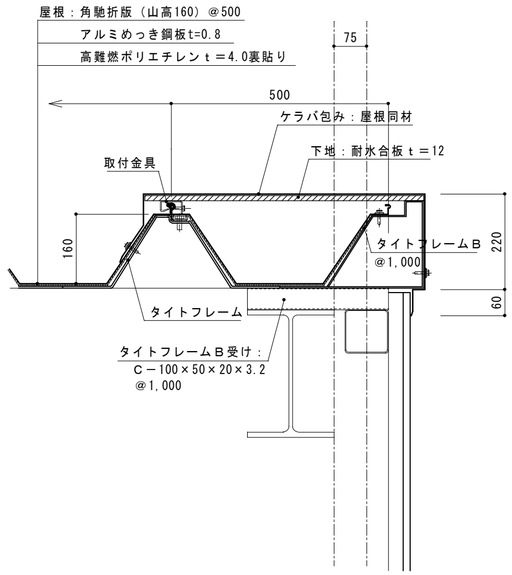
共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

棟 詳細図　１／１０



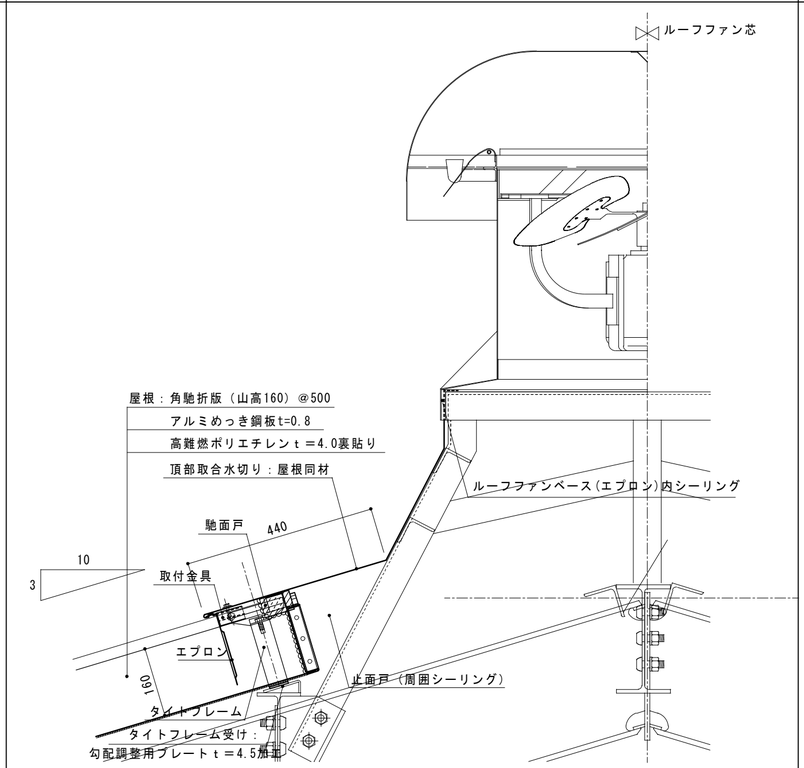
共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

ケラバ 詳細図　１／１０



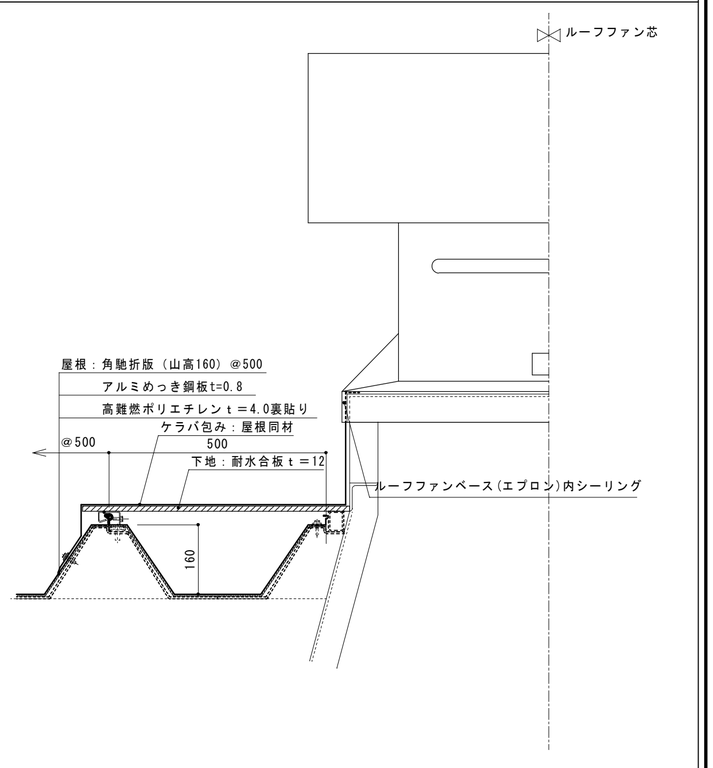
共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

ルーフファン廻り（流れ方向） 詳細図　１／１０



共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

ルーフファン廻り（桁行き方向） 詳細図　１／１０



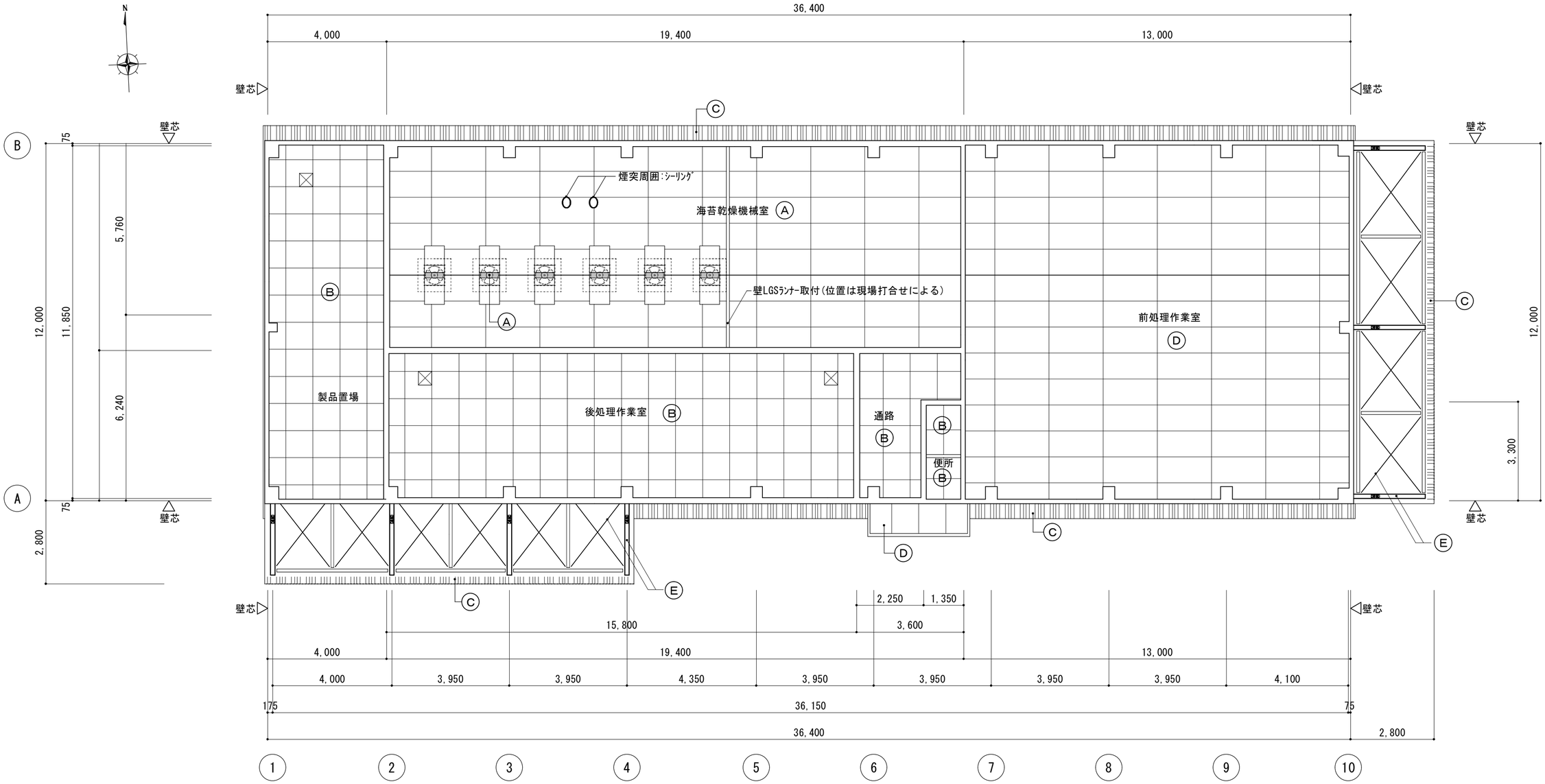
共通事項：天井張り部：馳式折版天井吊りインサート取付（桁方向@1,000、流れ方向@910）

訂	. .	
正	. .	
	. .	
	. .	

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤 明彦

作製	26年 5月 31日		図名	縮尺	図面No.
設計	構造	製図	部分詳細図－２	S=1/10	12



天井伏図　S=1/100

天　井　仕　上　表			
A	ケイ酸カルシウム板 t=6.0		
B	化粧石膏ボード t=9.5		
C	折版表しのまま（庇は高難燃ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ貼り）		
D	ケイ酸カルシウム板 t=6.0　EP−G塗装		
E	溶融亜鉛メッキ処理の上耐候性塗料（ＤＰ）２回塗り	☒	天井点検口：アルミ製(450×450)

訂正	．． ．． ．． ．．		

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

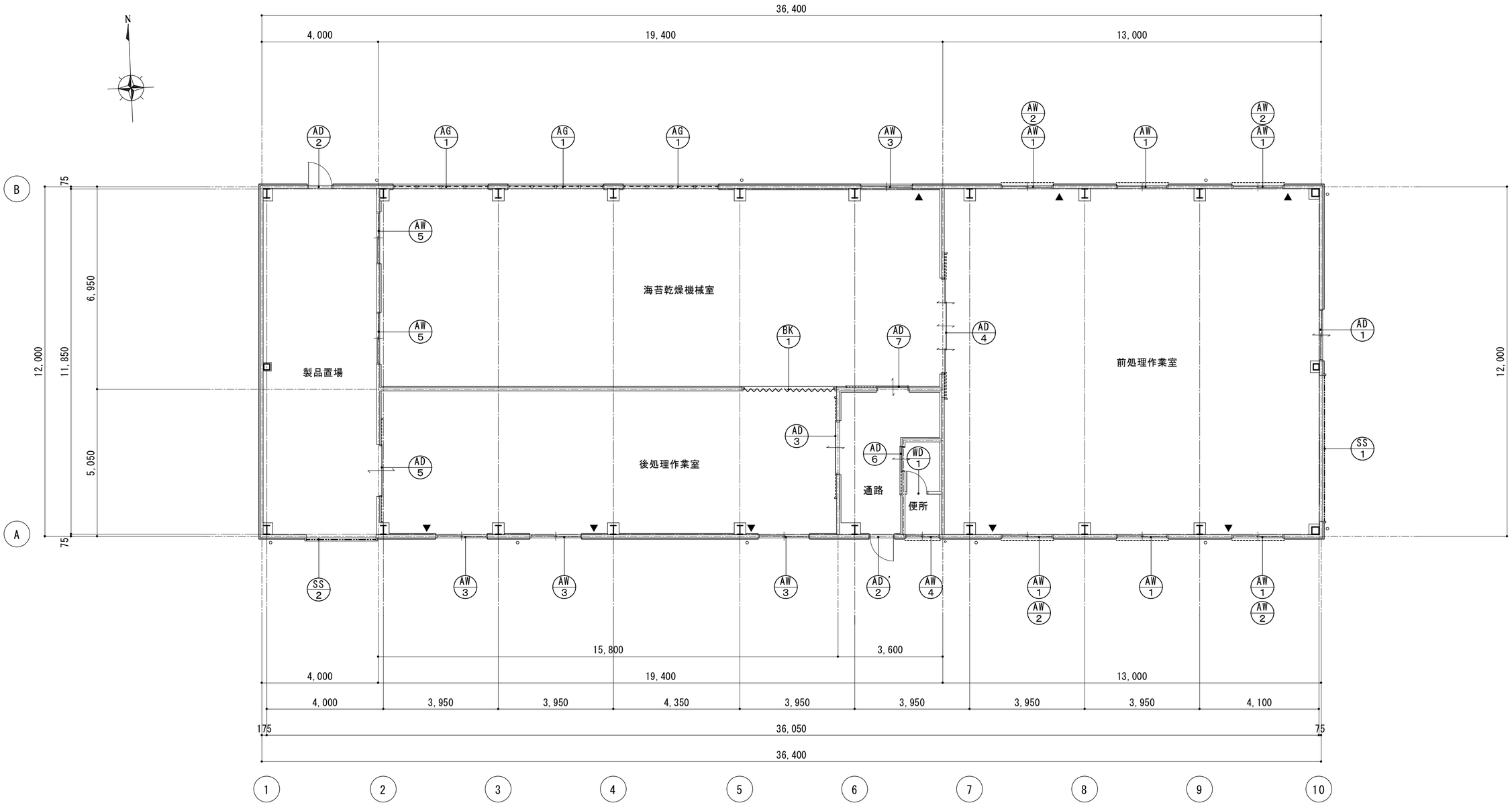
作製　26年　5月　31日

設計	構造	製図

図名　天井伏図

縮尺　S=1/100

図面No.　13

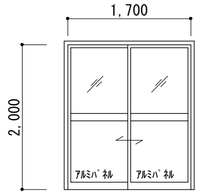
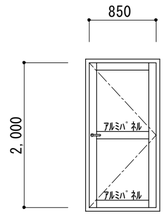
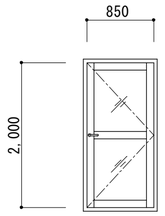
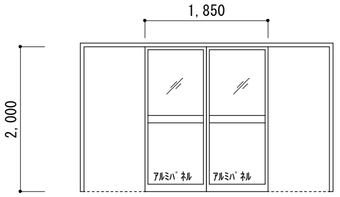
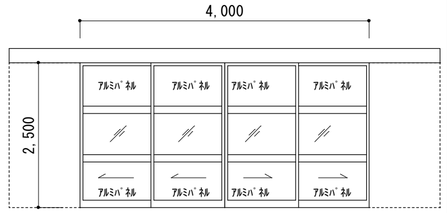
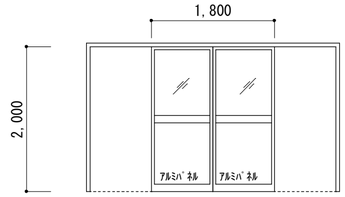


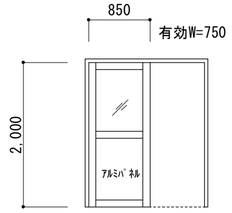
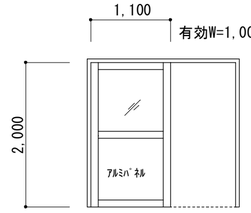
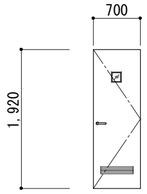
建具表キープラン　S=1/100

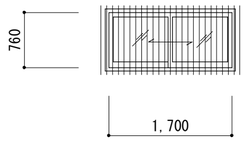
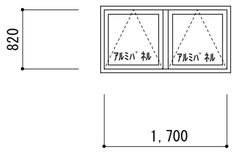
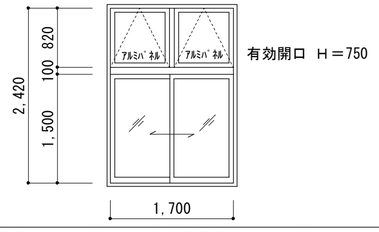
建具特記事項

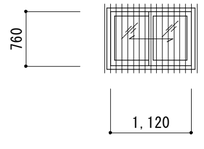
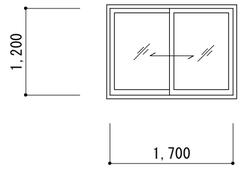
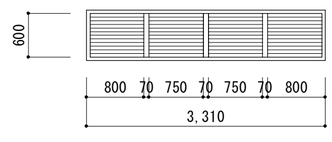
1. 建具寸法は現場確認の上、決定する事。
2. 建具仕上材、色、柄及び建具金物は現物見本を提出し、係員の承認を得る事。
3. 網戸は全て、枠：ｱﾙﾐ製、網：ｸﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞｰとする。
4. ｱﾙﾐｻｯｼのｱﾙﾐ水切は、水切り一体でない場合は取付とする。
6. ドアチェックはストッパー付とする。
7. 図中▲はオペレーター取付位置を示す。
   - オペレーター：ﾊﾝﾄﾞﾙﾎﾞｯｸｽ 110-Ⅲ(埋込)／ｵｲﾚｽ工業同等品以上
   - オペレーター取付高さ：FL＋1,200（ﾊﾝﾄﾞﾙ中心）
8. 外部アルミサッシは鉄骨用外付又は半外付とする。
9. アルミサッシは内壁用アルミ額縁取付とする。
10. 引手、取手の高さは、床面よりH=900とする。

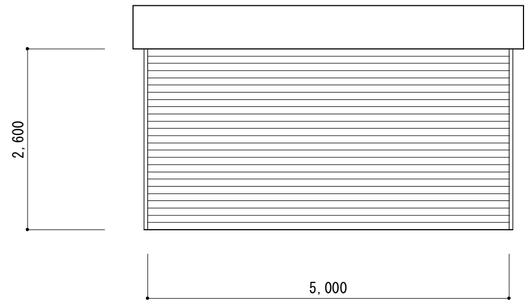
訂正			工事名	株式会社 伊藤設計	作製	図名	縮尺	図面No.
	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	26年 5月 31日	建具表－１（キープラン）	S=1/100	14
	・ ・			一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦	設計 / 構造 / 製図			
	・ ・							

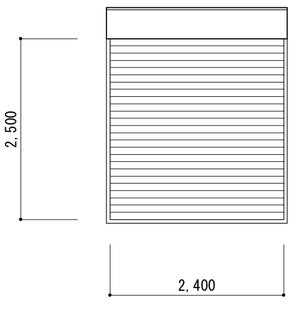
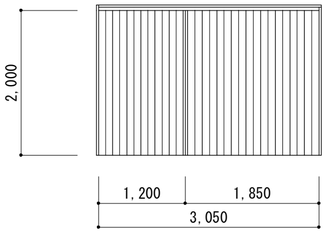
符号・型式	AD1 アルミ製引き違い戸	AD2 アルミ製片開き框ドア	AD2' アルミ製片開き框ドア	AD3 アルミ製２枚引き込み戸	AD4 アルミ製４枚引き込み吊り戸	AD5 アルミ製２枚引き込み戸
姿　図						
位置・数量	前処理作業室　１ヶ所	AD-2:製品置場　１ヶ所	AD-2':通路　1ヶ所	通路 ⟷ 後処理作業室　1ヶ所	海苔乾燥機械室 ⟷ 後処理作業室　1ヶ所	後処理作業室 ⟷ 製品置場　1ヶ所
仕上・見込	シルバー　７０	シルバー　７０		シルバー　７０	シルバー　７０	シルバー　７０
硝　子	網入り型 t=6.8	網入り型 t=6.8		トーメイ t=5	トーメイ t=5	トーメイ t=5
金　物	標準付属金物一式	標準付属金物一式 丁番、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠付ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ（外：ｼﾘﾝﾀﾞｰ、内：ｻﾑﾀｰﾝ）、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ		標準付属金物一式	吊り戸標準付属金物一式	標準付属金物一式
備　考	ステンレスＶ型レール埋込	ｽﾃﾝﾚｽ沓摺		ステンレスＶ型レール埋込		引手、ステンレスＶ型レール埋込

符号・型式	AD6 アルミ製片引き框戸	AD7 アルミ製片引き框戸	WD1 木製片開きドア
姿　図			
位置・数量	通路 ⟷ 便所　１ヶ所	通路 ⟷ 海苔乾燥機械室　１ヶ所	便所　1ヶ所
仕上・見込	シルバー　７０	シルバー　７０	両面ポリ合板張り（小口：メラミン板貼り）　４０
硝　子	網入り型 t=6.8	トーメイ t=5	型 t=4
金　物	標準付属金物一式	標準付属金物一式	ステンレス丁番、レバーハンドル、シリンダー錠、ドアチェック
備　考	引手、ステンレスＶ型レール埋込	引手、ステンレスＶ型レール埋込	木製ガラリ、表示錠

符号・型式	AW1 アルミ製引き違い窓	AW2 アルミ製突き出し窓	AW3 アルミ製引き違い窓（ランマ：突き出し窓）
姿　図			
位置・数量	前処理作業室　６ヶ所	前処理作業室　４ヶ所	後処理作業室：３ヶ所　海苔乾燥機械室：１ヶ所
仕上・見込	シルバー　７０	シルバー　７０	シルバー　７０
硝　子	網入り型 t=6.8		引き違い窓：網入り型 t=6.8　突き出し窓：アルミパネル
金　物	標準付属金物一式	標準付属金物一式、オペレーター操作	標準付属金物一式、オペレーター操作
備　考	網戸　アルミ格子	網戸	網戸　ｸﾚｾﾝﾄの高さ：床面よりH=1,400とする

符号・型式	AW4 アルミ製引き違い窓	AW5 アルミ製引き違い窓	AG1 アルミ製可動ガラリ
姿　図			
位置・数量	便所　1ヶ所	海苔乾燥機械室 ⟷ 製品置場　２ヶ所	海苔乾燥機械室　３ヶ所
仕上・見込	シルバー　７０	シルバー　７０	シルバー　７０
硝　子	網入り型 t=6.8	網入り型 t=6.8	
金　物	標準付属金物一式	標準付属金物一式	標準付属金物一式
備　考	網戸　アルミ格子	網戸	網戸

符号・型式	SS1 中量電動シャッター
姿　図	
位置・数量	前処理作業室　1ヶ所
仕上・見込	カラー焼付塗装鋼板　t=0.8　枠見込：150
硝　子	
金　物	ステンレス枠　t=1.6
備　考	障害物感知装置、３点式カウンタ付露出型釦スイッチ

符号・型式	SS2 軽量手動シャッター	BK1 ビニールカーテン（折りたたみ式）
姿　図		
位置・数量	製品置場　1ヶ所	海苔乾燥機械室 ⟷ 後処理作業室　１ヶ所
仕上・見込	ガルバリウムカラー鋼板　t=0.8　枠見込：150程度	シルバー
硝子等		折りたたみタイプ　静電防虫シート(ｲｴﾛｰ又はｵﾚﾝｼﾞ色)
金　物	ステンレス枠　t=1.6	標準付属金物一式
備　考		文化ｼｬｯﾀｰ:ｴｱ･ｾｰﾌﾞMA 同等品以上

訂正		工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	建具表－２	S=1/100	15

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

設計　構造　製図

構 造 特 記 仕 様 書

◯印を適用する。

共通事項

この構造特記仕様書に記載なき事項は下記の当該部分に準ずる。
① 建築基準法・同施工令
② （社）日本建築学会「建築工事標準仕様書」
③ 設計図及び標準図

1．建築物の構造概要

① 工事名称　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事
② 建設場所　常滑市新田町１丁目地内
③ 工事種別　◯新築 □増築 □増改築 □改築 □その他
④ 構造種別　□木造(W) □補強コンクリートブロック造(CB) ◯鉄骨造(S)
□鉄筋コンクリート造(RC) □壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC)
□壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC) □その他
⑤ 構造規模　地上　１階
⑥ 主要用途　海苔加工場
⑦ 屋上付属物　□広告塔 □高架水槽（　kN）
□煙突 □キュービクル（　kN）
□その他
⑧ 付帯工事　□門塀 □擁壁 □その他
⑨ 特殊荷重　□エレベーター（15人乗り(寝台用)／ロープ式）
□エスカレーター
□リフト □ホイスト
□倉庫積載荷重（　kN/㎡） □受水槽（　kN）
□その他
⑩ 架構計画　X方向：□ラーメン構造 □耐力壁を有するラーメン構造
◯ブレース構造 □ブレースを有するラーメン構造
□壁式構造 □その他
Y方向：◯ラーメン構造 □耐力壁を有するラーメン構造
□ブレース構造 □ブレースを有するラーメン構造
□壁式構造 □その他
⑪ 計算ルート　X方向：ルート１－２
Y方向：ルート１－２

2．使用材料

① コンクリート

使用場所	種類	設計基準強度Fc(N/mm²)	スランプ	備考
捨ｺﾝｸﾘｰﾄ	◯普通 □軽量	□Fc16 ◯Fc18 □Fc21		
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ	◯普通 □軽量	□Fc18 ◯Fc21 □Fc24	15	
基礎・基礎梁	◯普通 □軽量	◯Fc21 □Fc24 □Fc27	18	
床･壁	◯普通 □軽量	◯Fc21 □Fc24 □Fc27	18	
	□普通 □軽量	□Fc21 □Fc24 □Fc27		
押えｺﾝｸﾘｰﾄ	□普通 □軽量	□Fc16 □Fc18 □Fc21		

② コンクリートブロック（ＣＢ）
種類：□Ａ種 □Ｂ種 □Ｃ種
厚み：□100 □120 □150 □その他

③ 鉄筋

	種類	径	使用場所	継手方法
異形鉄筋	◯SD295A	D16以下	基礎・基礎梁	◯重ね継手
	□SD295B			D16以下
	◯SD345	D19以上	基礎・基礎梁	◯ガス圧接
	□その他			D19以上
丸鋼	□SR235			
溶接金網	□6×150×150			

④ 鉄骨

鋼材種別	使用箇所	現場溶接	備考
□SN400A □SN490A		□有 □無	
◯SN490B・BT-HT440B-SP	ベースプレート	□有 ◯無	
□SN400C ◯SN490C	ダイヤフラム	□有 ◯無	
◯SS400 □SS490	柱・梁	□有 ◯無	
□SM400 □SM490		□有 □無	
□STKN400 □STKN490		□有 ◯無	
□STK400 □STK490	柱	□有 □無	
◯BCR295 □BCP235 □BCP325		□有 ◯無	
◯STKR400 □STKR490	間柱	□有 ◯無	
◯SSC400 □SWH400	胴縁	□有 ◯無	

⑤ ボルト
◯高力ボルト
◯Ｆ８Ｔ ◯Ｆ１０Ｔ □Ｆ１１Ｔ ◯Ｓ１０Ｔ認定品
◯Ｍ１６ ◯Ｍ２０ □Ｍ２２ □Ｍ２４ □Ｍ２７
・高力ボルトすべり係数試験：□有 ◯無
◯中ボルト
◯Ｍ１２ □Ｍ１６ □Ｍ２０
◯アンカーボルト
◯１６φ、１３φ（ダブルナット・フック付）※ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ以外
□
□頭付スタッド
⑥ 屋根・床・壁
□ＡＬＣ版 ｔ＝50
◯折 版 ｔ＝0.8
□デッキプレート 型式：t=1.2、H=50
□特殊デッキプレート 型式：
□キーストンプレート 型式：

3．地 盤

① 地盤調査資料
◯有（参考資料）
◯敷地内 □近隣
□無
□調査予定有 □調査予定無
② 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 □標準貫入試験 □動的貫入試験
□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 □水平地盤反力係数の測定
※ 地盤調査および試験杭の結果により、杭長、杭種、杭径、基礎深さ、基礎形状等変更する場合もあり得る。

4．地業工事

① 直接基礎
□べた基礎 □連続基礎 ◯独立基礎 □布基礎
・試験掘： ◯有 □無
・基礎深さ：図示
・支 持 層：図示
・長期許容地耐力：図示
・載荷試験：□有 ◯無
② 杭基礎
◯既製杭
□ＲＣ杭 □ＰＣ杭 ◯ＰＨＣ杭 □ＳＣ杭 □ＰＲＣ杭
□ＳＴ杭 □節杭 □鋼管杭 □Ｈ鋼杭 □その他
□現場打ちコンクリート杭

5．鉄筋コンクリート工事

① コンクリート
◯コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし、施工に関してはＪＡＳＳ５による。
◯セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◯調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◯寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回ごとに撮影したカラー写真を保管し承認を得ること。
測定検査の回数は通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一資料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◯構造体コンクリート現場の圧縮試験供試体（ＪＡＳＳ５ Ｔ－６０３）は、現場水中養生または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が１５０㎥を超える場合は１５０㎥ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、特別な指示のない場合の供試体の数量は、１回当たり６本以上とし、その内３本を４週用に用いる。
◯ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
ポンプの圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。尚、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が２５℃以下の場合は１２０分以内、２５℃超の場合は９０分以内とする。
② 鉄 筋
◯鉄筋はＪＩＳ Ｇ３１１２の規格品を標準とする。
◯鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは日本建築学会「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
◯Ｄ１９未満は全て重ね継手とする。
継手をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
◯ガス圧接の抜き取り試験は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごとおよび鉄筋径ごとに１回行い、１回の試験は３本以上とする。
同一作業班の同一日の圧接箇所が３０箇所を超えるときは、３０箇所ごとに１回とする。
・外観検査：◯有 □無
・引張試験：◯有 □無
・超音波探傷試験：□有 ◯無
◯柱の帯筋の加工は下記による。
◯Ｈ型（タガ型） □Ｗ型（溶接型） □Ｓ型（スパイラル型）
◯コンクリート及び鉄筋の試験は、公的試験所で行うこと。
・試験機関名：
・代行業者名：
（代行業者とは試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。）
③ 型 枠
◯材料は、合板厚１２㎜を標準とする。
◯型枠存置期間は

種類		せき板				支柱		
部位		基礎･梁側･柱･壁		スラブ下・梁下		スラブ下		梁下
セメントの種類		早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種
型枠存置期間	15℃以上	2日	3日	8日	17日	8日	17日	28日
	5℃～15℃	3日	5日	12日	25日	12日	25日	28日
平均気温	5℃未満	5日	8日	15日	28日	15日	28日	28日
コンクリートの圧縮強度		5N/㎟		設計基準強度の				
				50%		85%		100%

注）1 片持ち梁、庇、スパン９ｍ以上の梁下は、工事監理者の指示による。
注）2 大梁の支柱の盛り換えは行わない。またその他の梁の場合も原則として行わない。
注）3 支柱の盛り換えは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4 盛り換え後の支柱頂部には、厚い受け板、角材、またはこれに代わるものを置く。
注）5 支柱の盛り換えは、小梁が終わってからスラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛り換えをしてはならない。
注）6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6．鉄骨工事

① 鉄骨工事は指示のない限り下記による。
◯（社）日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
◯（社）鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
◯（財）日本建築センター「冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」
② 工事監理者に承認を必要とするもの。
◯製作工場
◯製作要領書
◯工作図
◯施工計画書
◯材料規格証明書または試験成績書
◯鋼材 ◯高力ボルト ◯特殊ボルト □スタッドボルト
◯社内検査表
③ 工事監理者が行う検査事項
□原寸検査 ◯組立・開先検査 ◯製品検査 ◯建方検査
※ 上記以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること。
④ 接合部の溶接は下記によること。
◯（社）日本建築学会「溶接工作規準・同解説」
⑤ 接合部の検査
◯溶接部および接合部を検査し結果を工事監理者に報告すること。

検査箇所	検査方法	検査率または検査数 社内	第三者	監理者	備考
◯突合せ溶接部	◯外観検査（目視）	１００%			
	◯超音波探傷試験	１００%	３０%		
	□その他				

注） 現場溶接については原則として、第三者による全数検査を行うこと。
・第三者検査機関名：
（第三者検査機関とは建築主、工事監理者、または工事施工者が受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。）
◯溶接工の技量試験：□有 ◯無
◯試作品：□有 ◯無
◯高力ボルトはＪＩＳ Ｂ１１８６の高力ボルトまたはトルシア形高力ボルトを標準とする。
◯摩擦面の処理は、黒皮などを座金外径の２倍以上の範囲でショットブラストまたはグラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤錆状態ですべり係数が０．４５以上確保できるものを標準とし目視により検査を行う。
ただし、ショットブラストまたはグリットブラスト等による処理で表面粗さが５０Ｓ以上である場合は、赤錆は発生しないままでよい。
◯高力ボルトの締め付けに使用する機器は、よく調整されたものを使用し、締め付け順序は部材が十分密着するように注意して行うこと。また、締め付けは原則として２度締めとする。締め付け後の検査は、各締め付け工法別に適切な締め付けが行われているか検査する。
⑥ 防錆塗装

塗装箇所	下地調整	塗料	塗装方法	塗装回数
一般部	１種	シアナミド鉛(JIS K 5625)	スプレー塗装	２回
継手部	１種	シアナミド鉛(JIS K 5625)	刷毛塗り	２回

◯防錆塗装の範囲は、小屋組の鋼材とｺﾝｸﾘｰﾄ巻き鉄骨柱とする。
耐火被覆と基礎ｺﾝｸﾘｰﾄで被覆される箇所は塗らない。
◯現場における高力ボルト接合部および接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。
⑦ 耐火被覆材料
□ ロックウール吹き付け t=25

7．設備関係

◯特記以外の梁貫通孔は、原則として設けない。設ける場合は、工事監理者の承認を得ること。
◯設備機器の架台および基礎については工事監理者の承認を得ること。
◯床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合は、スラブ厚さの１／３以下とし、管の間隔を５㎝以上確保すること。

8．その他

◯諸官庁への届出書類は、遅延なく提出すること。
◯各試験の供試体は、公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
◯必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

訂正	年．月．日	
	．．．	
	．．．	
	．．．	

工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦

作製：26年 5月 31日
設計 | 構造 | 製図

図名：構造特記仕様書
縮尺：
図面No.：16

鉄　骨　構　造　標　準　図

§１　特記事項

１　材料は、ＪＩＳ規格品とする。
２　鉄骨製作工場は、国土交通大臣認定工場のＳ・Ⓗ・Ⓜ・Ｒ・Ｊグレードとする。
３　鉄骨製作及び施工に先立ち、「鉄骨製作要領書」・「工作図」を提出し、工事監理者の承認を得ること。
４　立会い検査は、「材料検査」・「仮付け検査」・「加工検査」・「溶接検査」「錆び止め塗装検査」を行う。
５　非破壊検査は、超音波探傷とし突合せ溶接部全体の３０％を検査して、報告書を提出する。
　但し、主要構造部分の現場溶接部は全数検査とする。
　検査は、原則として第三者検査機関によるが、３階建て以下、かつ延べ床面積が３０００㎡以下の建物については、工事監理者の承認を得て自主検査とすることができる。
６　上記以外は、建設大臣官房官庁営繕部監修「建築工事共通仕様書」最新版
　日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説　ＪＡＳＳ６　鉄骨工事」
　〃　〃　「鉄骨工事技術指針・工場製作編並びに工事現場施工編」
　愛知県建築部「鉄骨造建築物品質適正化のための建築確認等取扱い要領」　による。
７　設計図で施工不可能な箇所・食い違い・誤りの発見又は、入手不可能な材料等がある場合は、速やかに工事監理者と協議すること。

§２　使用材料

・鋼材	ＳＳ４００	――	Ｈ形鋼・溝形鋼・Ｉ形鋼・等辺山形鋼・平鋼・厚板	JIS G 3101
	ＳＳＣ４００	――	一般構造用軽量形鋼	JIS G 3350
	ＳＴＫＲ４００	――	一般構造用角形鋼管	JIS G 3466
	ＳＴＫ４００	――	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G 3444
	ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑはSN490C、ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄはSN490B(C1、C2)、特記以外の鋼板はSS400			
・高力ボルト	Ｆ１０Ｔ、Ｓ１０Ｔ　トルシア形	――	Ｍ１６・Ｍ２０・Ｍ２２（μ＝０．４５）	認定品可
・高力ボルト	Ｆ８Ｔ			
・中ボルト	Ｆ４Ｔ　六角ボルト	――	Ｍ１２・Ｍ１６	JIS B 1180
・アンカーボルト	ＳＳ４００	――	Ｍ１６・Ｍ２０・Ｍ２４・Ｍ３０（２重ナット締め）	JIS G 3138
・コンクリート	Ｆｃ＝２１Ｎ／ｍｍ²	――	地中梁・基礎（スランプ　１８cm±２．５cm）	JIS A 5308
	Ｆｃ＝１８Ｎ／ｍｍ²	――	捨てコン（スランプ　１８cm±２．５cm）	JIS A 5308
・鉄筋	ＳＤ３４５	――	Ｄ１９・Ｄ２２・Ｄ２５	JIS G 3112
	ＳＤ２９５Ａ	――	Ｄ１０・Ｄ１３・Ｄ１６（重ね継手）	JIS G 3112
・異形鉄線溶接金網		――	Ｄ６ｘ１００ｘ１００　（重ね継手）	JIS G 3551

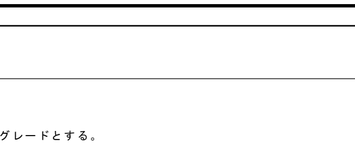
§３　溶接規準

（ａ）　溶接工
・溶接工は施工する溶接に適応するＪＩＳ Ｚ ３８０１（手溶接）、又はＪＩＳ Ｚ ３８４１（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し、引き続き半年以上溶接に従事している者とする。

（ｂ）　溶接姿勢
・溶接姿勢は下向き、立向き、横向きを原則とする。

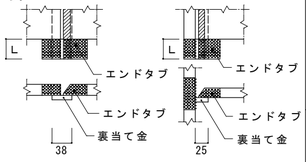
（ｃ）　仮付け位置
・仮付け溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う。
・仮付け溶接の最小ビード長さは下表により、使用する溶接棒はＤ５０１６とする。

板厚　Ｔ	手・半自動溶接	自動溶接
Ｔ＜９	３０	４０
９≦Ｔ	４０	５０



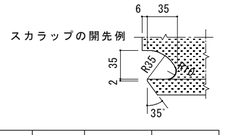
・仮付け溶接は、突合せ溶接の母材内、隅肉溶接の始・終端、隅角部など強度上・工作上、問題となり易い箇所は避ける。

（ｄ）　エンドタブ
・エンドタブはスチール製を基本とし、突合せ溶接の両端部は母材と同質・同厚で開先形状の同じものを取り付ける。
・エンドタブの長さ（Ｌ）は手・半自動溶接で３５mm・自動溶接で５０mmとする。
・溶接終了後、見え掛かり部分はエンドタブを除去のうえ、母材を欠損しないように切断面をグラインダー仕上げする。
・見え隠れ部分のエンドタブは、母材より５mm程度残して切断する。



（ｅ）　裏当て金
・母材と同質とし、幅は突合せ継手で３８mm、Ｔ形継手で２５mmとする。
・各形鋼管のＲ部分にも裏当て金を用いる。
・裏当て金を用いない場合は、アークエアーガウジングをして裏溶接する。

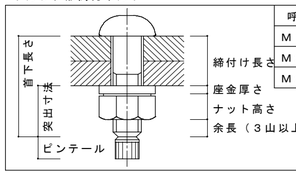
（ｆ）　スカラップ
・スカラップの半径は３５mmを標準とし、右図に加工の一例を示す。



（ｇ）　塗装
・錆止めペイントはＪＩＳ Ｋ ５６２５ とし、２回塗りを標準とする。
・高力ボルトの摩擦面及び、コンクリートに接する部分・埋め込まれる部分は塗装しない。

（ｈ）　高力ボルト
・高力ボルトは、トルシア形Ｓ１０Ｔ認定品（ＴＣボルト・ＳＳボルト 同等品）とする。
・本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
・摩擦面は座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト・グラインダー掛け等で黒皮を除去して、一様に赤錆を生じさせる。
・締付けは１次締め付け後、マーキングをして本締めの３段階で行う。

トルシア形高力ボルト

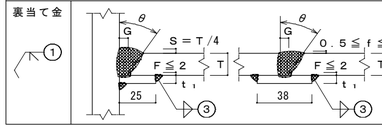


呼称	突出寸法	ボルト穴径
Ｍ１６	２５	１８
Ｍ２０	３０	２２
Ｍ２２	３５	２４

§４　溶接開先図

※　溶接記号はＪＩＳ Ｚ ３０２１ による。　　Ｔ：母材板厚
（ａ）　突合せ溶接　　θ：開先角度　Ｇ：ルート間隔　Ｆ：ルートフェース　ｆ：余盛り　ｔ₁：裏当て金板厚　Ｓ：脚長

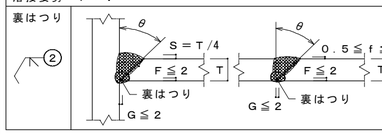
溶接姿勢　Ｆ・Ｖ　　裏当て金　①



・裏当て金は補強隅肉溶接を付加する。

溶接法	Ｍ			ＮＧＣ・ＧＣ		
板厚　Ｔ mm	θ	Ｇ	t₁	θ	Ｇ	t₁
Ｔ＜１２	４５°	６	６	４５°	６	６
１２≦Ｔ＜１９	３５°	７	６	３５°	７	９
１９≦Ｔ	３５°	９	９	３５°	９	９

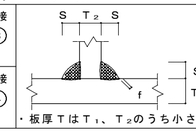
溶接姿勢　Ｆ・Ｖ　　裏はつり　②



溶接法	Ｍ			ＮＧＣ・ＧＣ		
板厚　Ｔ mm	θ	Ｇ	t₁	θ	Ｇ	t₁
Ｔ＜１２	４５°			６０°		
１２≦Ｔ＜１９	４５°			６０°		
１９≦Ｔ	４５°			６０°		

（ｂ）　隅肉溶接

溶接姿勢　Ｆ・Ｖ・Ｈ　　片面溶接　③　両面溶接　④

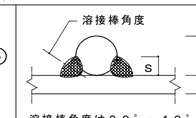


・板厚ＴはＴ₁、Ｔ₂のうち小さい方の値とする。

溶接法	Ｍ・ＮＧＣ・ＧＣ・Ａ	
板厚　Ｔ	脚長　Ｓ	余盛　ｆ
６≦	６	≦１．６
９≦	７	≦１．８
１２≦	９	≦２
１６≦	１２	≦２

（Ｃ）　フレアー溶接

溶接姿勢　Ｆ・Ｖ　　⑤



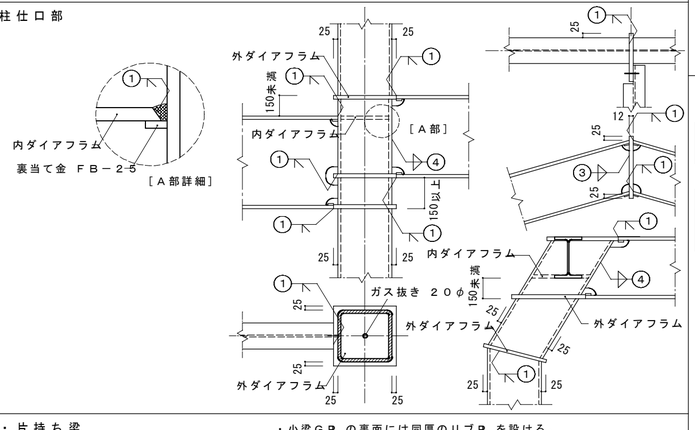
・溶接棒角度は３０°～４０°とする。
・φ１６以下は１パス以上、φ１９以上は２パス以上とする。
・フレアー溶接長さは、鋼板に接する全長とする。

溶接法	Ｍ	
棒径　φ	脚長　Ｓ	
９	５	
１３	６	
１６	６	
１９	７	

※　略符号は下記の溶接法を示す。
Ｍ　：アーク手溶接
ＮＧＣ：セルフガスシールドアーク半自動溶接
ＧＣ　：ガスシールドアーク半自動溶接
Ａ　：サブマージアーク自動溶接
ＳＷ　：アークスタッド溶接
ＡＡＧ：アークエアーガウジング

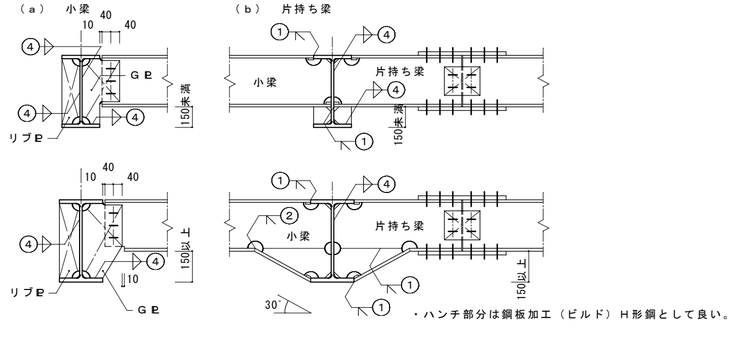
※　溶接棒はＪＩＳ Ｚ ３２１１／３２１２の下記を標準とする。
Ｄ４３０１：イルミナイト系　――　母材溶接用
Ｄ４３１６：低水素系　――　〃
Ｄ５０１６：低水素系　――　仮付け溶接用
※　溶接棒・フラックスは、良く乾燥して使用する。

§５　梁・柱仕口部



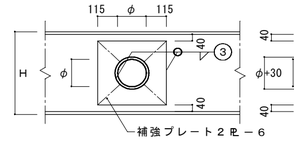
§６　小梁・片持ち梁

・小梁ＧＲＬの裏面には同厚のリブＰＬを設ける。



・ハンチ部分は鋼板加工（ビルド）Ｈ形鋼として良い。

§７　梁貫通補強



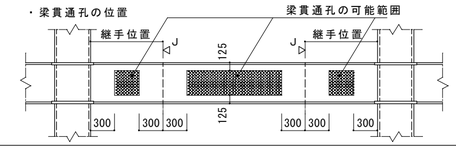
Ｈ：梁成
Ｂ：梁幅
φ：貫通孔径

・補強プレートはウェッブの両面に設け、全周隅肉溶接する。
・梁貫通寸法はφ≦Ｈ／２とし、これを越える場合は工事管理者の指示による。
・貫通補強の位置は梁中央部のみとし、ピッチは３φ以上とする。

・梁貫通補強の条件

貫通孔径	補強方法
φ≦1/4 Ｈ	無補強
Ｈ 1/4 ＜φ≦ 1/2 Ｈ	プレート補強

・梁貫通孔の位置

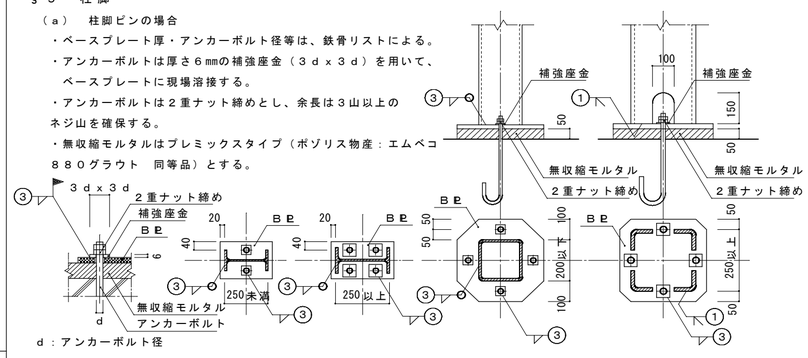


§８　デッキプレート

・大梁・小梁上でアークスポット溶接（１６φ）をデッキプレート幅方向は各谷毎に、長手方向は＠６００にする。
・デッキプレート上のコンクリートに、溶接金網　Ｄ６－＠１５０ｘ１５０　を敷き込むこと。
・大梁継ぎ手部分にはデッキプレート受け（ＦＢ－５０ｘ６）を設ける。

§９　柱脚

（ａ）　柱脚ピンの場合
・ベースプレート厚・アンカーボルト径等は、鉄骨リストによる。
・アンカーボルトは厚さ６mmの補強座金（３ｄｘ３ｄ）を用いて、ベースプレートに現場溶接する。
・アンカーボルトは２重ナット締めとし、余長は３山以上のネジ山を確保する。
・無収縮モルタルはプレミックスタイプ（ポゾリス物産：エムペコ８８０グラウト　同等品）とする。



ｄ：アンカーボルト径

［補強座金詳細］　［Ｈ形鋼柱脚］　［角形鋼管柱脚］

（ｂ）　柱脚固定・半固定の場合
・　設計図による。

§１０　地中梁の配筋基準、柱脚ピン・半固定立上がり部分の配筋

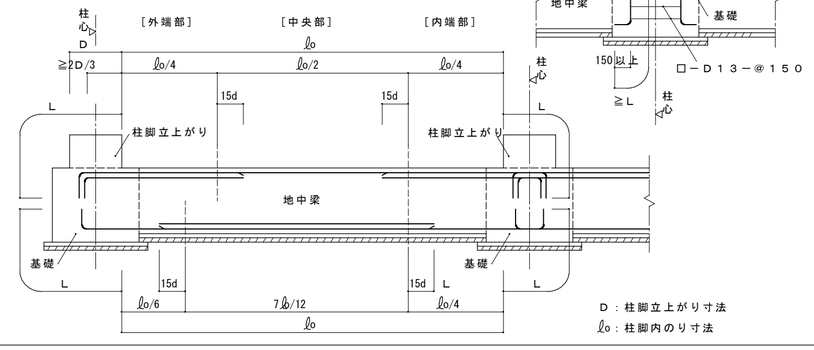
（ａ）　コンクリートの被り厚さ

土に接する部分	柱・梁・床版・耐力壁	４０
	基礎・擁壁	６０

（ｂ）　継手・定着の長さ　　ｄ：鉄筋の公称直径

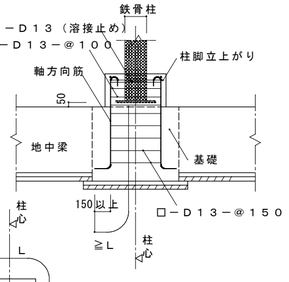
鉄筋	コンクリート設計強度	継手・定着の長さ　Ｌ
ＳＤ２９５Ａ ＳＤ３４５	２１Ｎ／mm²	４０ｄ

（ｃ）　継手・定着の長さ



Ｄ：柱脚立上がり寸法
ℓo：柱脚内のり寸法

（ｄ）　柱脚ピン・半固定継手立上がり部分の配筋



§１１　その他

・母屋・胴縁の最外端は、中ボルト２本止めとする。
・ＡＬＣ版・折版・ルーフデッキ等の大梁取付けには、かさ上げ材として　Ｃ－１００ｘ５０ｘ２０ｘ２．３ を使用する。
・特記無き限り、ＡＬＣ版開口部構造金物はメーカー仕様による。
・丸鋼ブレースは、ＪＩＳ規格品（フルサト工業：フルブレース　同等品）を使用する。

訂		
正		

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

作製	26年 5月 31日		図名	縮尺	図面No.
設計	構造	製図	鉄骨構造標準図	S=1/100	17

H形鋼用
ベースパック

H形鋼

F値235N/mm² H-150x150x7x10～H-900x300x19x28 用

F値325N/mm²以下 H-200x200x8x12～H-500x300x16x28 用

（財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-10」（平成23年2月18日付）

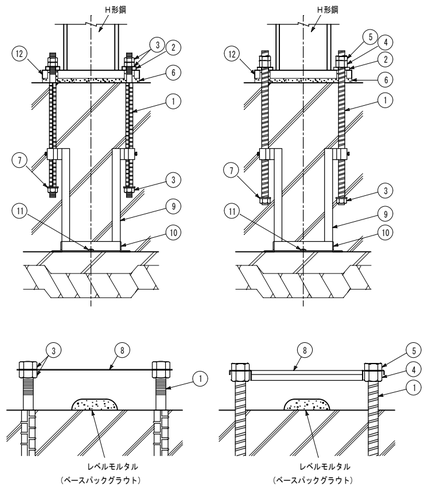
ベースパック柱脚工法　標準図－１

●ベースパック柱脚工法の設計は
「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

１．工法概要

１．１ 構成部材

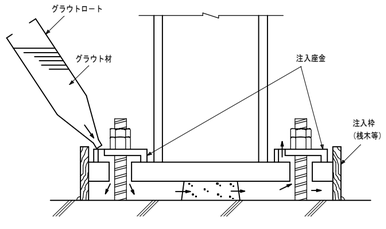


（Mアンカーボルトタイプ）　（Dアンカーボルトタイプ）

① アンカーボルト
② 注入座金
③ Mナット
④ Dナット
⑤ Dナット(S)
⑥ ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦ 定着座金
⑧ テンプレート
⑨ フレームポスト
⑩ フレームベース
⑪ ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～⑪は現場状況により仕様が異なる場合がある。

１．２ 柱脚の定着方法概要



２．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	SS400	●
	SN400B	
325	SM490	
	SN490B	

３．構成部材・寸法

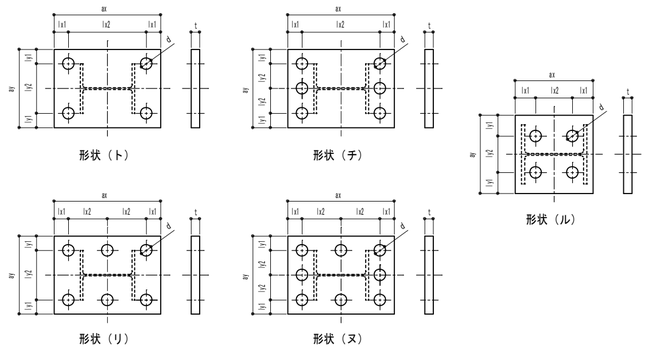
３．１ ベースプレート

●材質

SN490B 【JIS G 3136】

BT-HT440B-SP 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】（建築構造用高溶接性高性能５９０N/mm²鋼材）

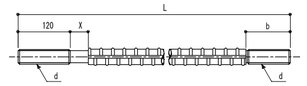
TMCP325B 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】（建築構造用TMCP鋼板）



３．２ アンカーボルト

●Mアンカーボルト

i）アンカーフレーム Aタイプ の場合

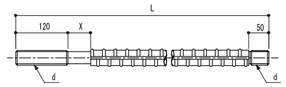


単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	材質
M27	D29	665, 715	45	108, 153	SD490 降伏比７５%以下
M30	D32	710, 755	45	108, 153	
M33	D35	715, 755, 795	45	85, 113, 153	
M36	D38	815, 850	60	121, 156	

【JIS G 3112】

ii）アンカーフレーム Hタイプ の場合



単位 mm

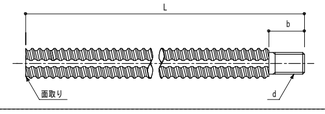
呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	材質
M30	D32	650, 695	45	SD490 降伏比７５%以下
M33	D35	695, 775	45	
M36	D38	740, 775	60	

【JIS G 3112】

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

●Dアンカーボルト

iii）アンカーフレーム Dタイプ・Hタイプ の場合

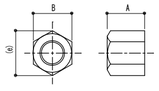


単位 mm

呼び	L	b	場面ねじd	材質
D38	850	46	M33	SD390
D41	900	49	M36	SD390
D41H	995	49	M36	SD490
D51	1110	57	M45	SD390
D51H	1215	57	M45	SD490

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

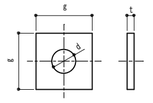
３．３ Mナット・Dナット



単位 mm

	呼び	A	B	(e)
Mナット	M27	22	41	47
	M30	24	46	53
	M33	26	50	58
	M36	29	55	64
	M45	36	70	81
Dナット	D38	45	65	75
	D41	48	70	80
	D51	60	80	92
Dナット(S)	D38	30	65	75
	D41	32	70	80
	D51	40	80	92

３．４ 定着座金

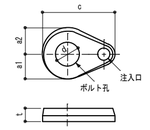


単位 mm

適用 アンカーボルト	g	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
D38	65	12	37	
D41, D41H	70	12	37	SS490
D51, D51H	85	12	46	

３．５ 注入座金

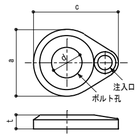
i）Mアンカーボルト用



単位 mm

記号	適用 アンカーボルト	a1	a2	c	t	d	材質
PM27	M27	32	42	101	18	28	SS400
PM30	M30	32	42	101	18	31	
PM33	M33	35	45	110	18	34	
PM36	M36	35	45	110	18	37	

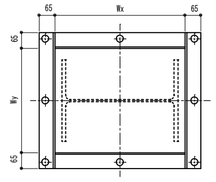
ii）Dアンカーボルト用



単位 mm

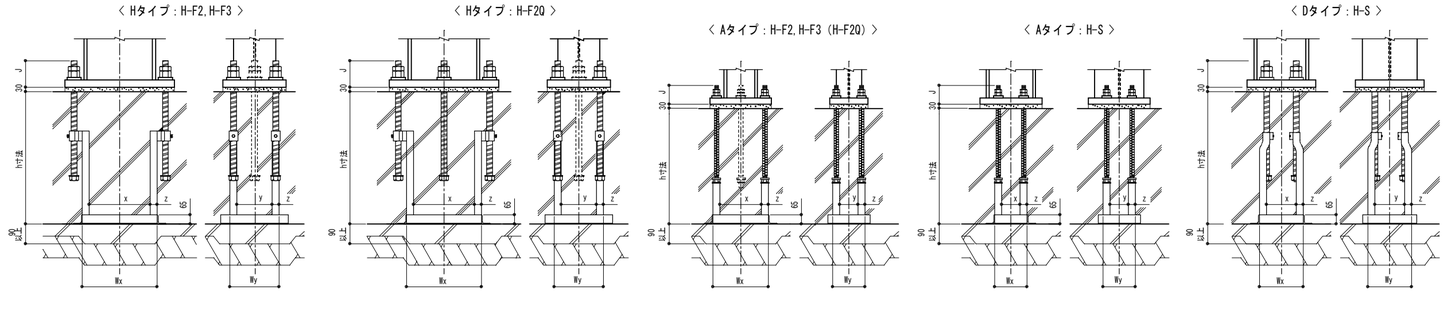
記号	適用 アンカーボルト	a	c	t	d	材質
PD38	D38	96	122	20	43	SS490
PD41	D41, D41H	100	127	20	46	
PD51	D51, D51H	110	140	20	57	

３．６ フレームベース



３．７ アンカーフレーム形状および据付け時露寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は「H形鋼用ベースパック柱脚工法設計施工標準図2/2」表に記載の値とする。

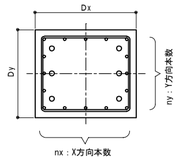


（例）Dアンカーボルト4本（6本）　（例）Dアンカーボルト6本（8本）　Mアンカーボルト4本（6本）　Mアンカーボルト4本　Dアンカーボルト4本

単位 mm

４．コンクリート柱型

４．１ 形状・材質

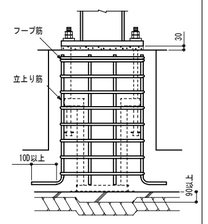


注2)アンカーボルト外側に基礎梁主筋を配筋しない場合「H形鋼用ベースパック柱脚工法設計施工標準図2/2」表の（ ）内の寸法を使用できる。

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は
「H形鋼用ベースパック柱脚工法設計施工標準図2/2」に記載の値とする。
（注）設計基準強度が21N/mm²以上の仕様と24N/mm²以上の仕様があります。特記に明記願います。

●鉄筋
SD295(D10, D13, D16)、SD345(D19, D22, D25)

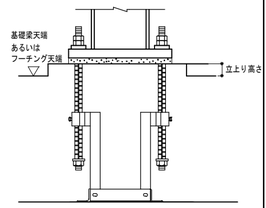
４．２ 配筋



※トップフープはダブルとする

４．３ 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。



５．工場製作（溶接）

■組立

●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）

●完全溶込み溶接とする。（JASS 6 鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度 α1(°) 標準値	開先角度 α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セラシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		

許容差　・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温（鋼材表面温度）が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) 32≦t<40	40≦t≦50	50<t≦75	75<t≦100
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	50 °C	50 °C		
	BT-HT440B-SP		予熱なし	予熱なし	予熱なし
	TMCP325B				80 °C
CO2ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし		
	BT-HT440B-SP		予熱なし	予熱なし	予熱なし
	TMCP325B				50 °C

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

単位 mm

訂	. .	
正	. .	
	. .	
	. .	

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤 明彦

作製　26年 5月 31日

設計　構造　製図

図名　ベースパック柱脚工法標準図－１

縮尺

図面No. 18

H形鋼用
ベースパック

H形鋼

F値235N/mm² H-150x150x7x10～H-900x300x19x28 用

F値325N/mm²以下 H-200x200x8x12～H-500x300x16x28 用

（財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-10」（平成23年2月18日付）

ベースパック柱脚工法　標準図－２

●ベースパック柱脚工法の設計は
「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

●本標準図は1/2～2/2で構成されている。

６．工事場施工

６．１　基礎工事

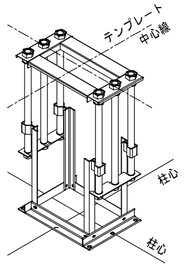
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

６．２　アンカーボルト据付け

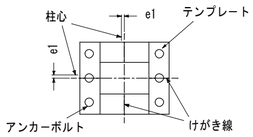
●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



図



e1 :柱心とテンプレートのけがき線との許容差

標準許容差

-2≦e1≦2

基準高さより誤差は

-3≦e≦10

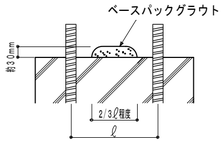
６．３　配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

６．４　建方

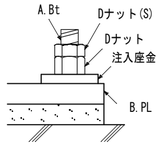
●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



６．５　アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

●Dナット(S)による弛み止めは右図による。



６．６　ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓ の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

７．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

種別	採用	ベースパック記号	ベースプレート 材質	形状	ベースプレート 寸法(mm) ax	ay	t	lx1	lx2	ly1	ly2	d	アンカーボルト 本数-呼び	アンカーボルト 材質	コンクリート柱型 寸法(mm) Dx × Dy	配筋 立上り筋 本数-呼び	立上り筋 nx(本)	立上り筋 ny(本)	配筋 フープ筋	設計基準強度 (N/mm²)	アンカーフレームタイプ	フレームベース 寸法(mm) Wx	フレームベース 寸法(mm) Wy	フレームポスト間 寸法(mm) x	フレームポスト間 寸法(mm) y	フレームポスト間 寸法(mm) z	最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)
H-F2 柱材F値235用		H1515-10F2	SN490B	(ト)	360	250	28	50	260	50	150	φ45	4-M27	SD490	530×420(520×420) 注2)	10-D16	4	3	D10@100	21以上	A	310	200	210	100	50	550	135
		H1717-11F2	SN490B	(ト)	380	260	28	50	280	50	160	φ45	4-M27	SD490	550×430(540×430) 注2)	10-D16	4	3	D10@100	21以上	A	330	210	230	110	50	550	135
		H2015-09F2	SN490B	(ト)	410	300	32	50	310	50	200	φ45	4-M27	SD490	580×470(570×470) 注2)	10-D16	4	3	D10@100	21以上	A	360	250	260	150	50	550	135
		H2020-12F2	SN490B	(ト)	410	300	32	50	310	50	200	φ45	4-M27	SD490	580×470(570×470) 注2)	10-D16	4	3	D10@100	21以上	A	360	250	260	150	50	550	135
		H2512-09F2	SN490B	(ト)	460	260	32	50	360	50	160	φ45	4-M27	SD490	640×440(620×440) 注2)	10-D16	4	3	D13@150	21以上	A	410	210	310	110	50	550	135
		H2517-11F2	SN490B	(ト)	460	260	32	50	360	50	160	φ45	4-M27	SD490	640×440(620×440) 注2)	10-D16	4	3	D13@150	21以上	A	410	210	310	110	50	550	135
		H2525-14F2	SN490B	(ト)	460	350	36	50	360	50	250	φ50	4-M33	SD490	640×530(630×530) 注2)	12-D16	4	4	D13@150	21以上	A	410	300	310	200	50	600	135
		H3015-09F2	SN490B	(ト)	510	300	36	50	410	50	200	φ45	4-M30	SD490	680×490	10-D19	4	3	D13@150	21以上	H	298	250	198	150	50	600	135
	●	H3020-12F2	SN490B	(ト)	510	300	36	50	410	50	200	φ45	4-M30	SD490	680×490	10-D19	4	3	D13@150	21以上	H	298	250	198	150	50	600	135
		H3030-15F2	SN490B	(チ)	510	400	40	50	410	50	150	φ50	6-M33	SD490	690×590	14-D19	5	4	D13@150	21以上	H	292	350	192	250	50	600	135
		H3517-11F2	BT-HT440B-SP	(ト)	620	400	40	65	490	75	250	φ50	4-M33	SD490	770×540	12-D19	4	4	D13@125	21以上	H	370	300	270	200	50	600	135
		H3525-14F2	BT-HT440B-SP	(ト)	620	400	40	65	490	75	250	φ50	4-M33	SD490	770×540	12-D19	4	4	D13@125	21以上	H	370	300	270	200	50	600	135
		H3535-19F2	BT-HT440B-SP	(チ)	620	500	44	65	490	75	175	φ60	6-D38	SD390	780×640	14-D22	5	4	D13@125	21以上	H	370	400	270	300	50	750	180
		H4020-19F2	BT-HT440B-SP	(ト)	640	320	44	50	540	60	200	φ55	4-M36	SD490	820×490	12-D19	4	4	D13@125	21以上	H	416	250	316	150	50	600	150
		H4030-16F2	BT-HT440B-SP	(ト)	670	430	44	65	540	65	300	φ60	4-D38	SD390	830×590	12-D22	4	4	D13@125	21以上	H	416	350	316	250	50	750	180
		H4040-21F2	BT-HT440B-SP	(チ)	670	560	48	65	540	80	200	φ65	6-D41	SD390	830×700	16-D22	5	5	D13@125	21以上	H	416	450	316	350	50	800	190
		H4040-28F2	BT-HT440B-SP	(チ)	710	570	60	70	570	80	205	φ75	6-D51	SD390	930×790	22-D22	7	6	D13@100	21以上	H	438	490	308	360	65	900	230
		H4520-25F2	BT-HT440B-SP	(ト)	740	340	52	70	600	70	200	φ65	4-D41	SD390	890×490	12-D22	4	4	D13@100	21以上	H	474	250	374	150	50	800	190
		H4530-18F2	BT-HT440B-SP	(ト)	740	440	48	70	600	70	300	φ65	4-D41	SD390	890×590	14-D22	5	4	D13@100	21以上	H	474	350	374	250	50	800	190
		H5020-25F2	BT-HT440B-SP	(ト)	810	340	52	75	660	70	200	φ65	4-D41	SD390	950×490	12-D22	4	4	D13@100	21以上	H	536	250	436	150	50	800	190
		H5030-19F2	BT-HT440B-SP	(チ)	810	440	48	75	660	70	150	φ60	6-D38	SD390	950×590	14-D22	5	4	D13@100	21以上	H	536	350	436	250	50	750	180
		H5030-22F2	BT-HT440B-SP	(チ)	810	440	60	75	660	70	150	φ65	6-D41	SD390	950×600	14-D25	5	4	D13@100	21以上	H	536	350	436	250	50	800	190
		H6030-32F2	BT-HT440B-SP	(チ)	910	450	65	75	760	75	150	φ75	6-D51	SD390	1100×640	18-D25	6	5	D16@100	21以上	H	628	380	498	250	65	900	230
		H7030-28F2	BT-HT440B-SP	(チ)	1010	450	65	75	860	75	150	φ75	6-D51	SD390	1200×640	18-D25	6	5	D16@125	21以上	H	728	380	598	250	65	900	230
		H8030-26F2	BT-HT440B-SP	(チ)	1150	450	60	95	960	75	150	φ75	6-D51	SD390	1290×640	18-D25	6	5	D16@100	21以上	H	828	380	698	250	65	900	230
		H9030-28F2	BT-HT440B-SP	(チ)	1260	460	65	100	1060	80	150	φ75	6-D51	SD390	1400×640(1400×600) 注2)	24-D25	9	5	D16@90	24以上	H	928	380	798	250	65	900	230
H-F2Q 柱材F値235用		H2020-12F2Q	SN490B	(リ)	410	300	32	50	155	50	200	φ45	6-M27	SD490	590×480(570×480) 注2)	10-D19	4	3	D10@100	21以上	A	360	250	260	150	50	550	135
		H2525-14F2Q	SN490B	(リ)	460	350	36	50	180	50	250	φ50	6-M33	SD490	650×540(640×540) 注2)	12-D19	4	4	D13@125	21以上	A	410	300	310	200	50	600	135
		H3020-12F2Q	SN490B	(リ)	510	300	36	50	205	50	200	φ45	6-M30	SD490	680×490	12-D19	4	4	D13@125	21以上	H	298	250	198	150	50	600	135
		H3030-15F2Q	SN490B	(ヌ)	510	400	36	50	205	50	150	φ50	8-M33	SD490	690×590	14-D22	5	4	D13@125	21以上	H	292	350	192	250	50	600	135
		H3525-14F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	620	400	40	65	245	75	250	φ50	6-M33	SD490	770×540	14-D19	5	4	D13@125	21以上	H	370	300	270	200	50	600	135
		H3535-19F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	620	500	40	65	245	75	175	φ60	8-D38	SD390	780×640	18-D22	6	5	D13@125	21以上	H	370	400	270	300	50	750	180
		H4020-19F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	640	320	40	50	270	60	200	φ55	6-M36	SD490	830×490	12-D22	5	3	D13@125	21以上	H	416	250	316	150	50	650	150
		H4030-16F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	670	430	40	65	270	65	300	φ60	6-D38	SD390	830×590	14-D22	5	4	D13@125	21以上	H	416	350	316	250	50	750	180
		H4040-21F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	670	560	44	65	270	80	200	φ65	8-D41	SD390	830×700	20-D22	7	5	D13@125	21以上	H	416	450	316	350	50	800	190
		H4040-28F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	710	570	52	70	285	80	205	φ75	8-D51	SD390	910×770	22-D25	7	6	D13@100	21以上	H	438	490	308	360	65	950	230
		H4520-25F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	740	340	48	70	300	70	200	φ65	6-D41	SD390	890×490	14-D22	5	4	D13@100	21以上	H	474	250	374	150	50	800	190
		H4530-18F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	740	440	44	70	300	70	300	φ65	6-D41	SD390	890×600	12-D25	4	4	D13@100	21以上	H	474	350	374	250	50	800	190
		H5020-25F2Q	BT-HT440B-SP	(リ)	810	340	48	75	330	70	200	φ65	6-D41	SD390	950×490	14-D22	5	4	D13@100	21以上	H	536	250	436	150	50	800	190
		H5030-19F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	810	440	48	75	330	70	150	φ60	8-D38	SD390	950×600	14-D25	5	4	D13@100	21以上	H	536	350	436	250	50	750	180
		H5030-22F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	810	440	52	75	330	70	150	φ65	8-D41	SD390	950×600	16-D25	6	4	D13@100	21以上	H	536	350	436	250	50	800	190
		H6030-32F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	910	450	60	75	380	75	150	φ75	8-D51	SD390	1160×700	24-D25	9	5	D16@125	21以上	H	628	380	498	250	65	950	230
		H7030-28F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	1010	450	60	75	430	75	150	φ75	8-D51	SD390	1260×700	24-D25	9	5	D16@100	21以上	H	728	380	598	250	65	950	230
		H8030-26F2Q	BT-HT440B-SP	(ヌ)	1150	450	65	95	480	75	150	φ75	8-D51	SD390	1350×840	24-D25	9	5	D16@100	21以上	H	828	380	698	250	65	950	230
H-F3 柱材F値325以下用		H2020-12F3	BT-HT440B-SP	(ト)	410	300	40	50	310	50	200	φ45	4-M30	SD490	580×470(570×470) 注2)	12-D16	4	4	D10@100	21以上	A	360	250	260	150	50	600	135
		H2525-14F3	BT-HT440B-SP	(ト)	480	380	40	50	380	65	250	φ55	4-M36	SD490	670×540(660×540) 注2)	10-D19	4	3	D13@150	21以上	A	430	300	330	200	50	700	150
		H3020-12F3	BT-HT440B-SP	(ト)	530	300	40	50	430	50	200	φ50	4-M33	SD490	710×490	10-D19	4	3	D13@150	21以上	H	310	250	210	150	50	600	135
		H3030-15F3	BT-HT440B-SP	(チ)	530	430	44	50	430	65	150	φ55	6-M36	SD490	720×590	12-D22	4	4	D13@125	21以上	H	310	350	210	250	50	600	150
		H3525-14F3	BT-HT440B-SP	(ト)	650	400	44	75	500	75	250	φ60	4-D38	SD390	790×540	12-D19	4	4	D13@125	21以上	H	376	300	276	200	50	750	180
		H3535-19F3	BT-HT440B-SP	(チ)	660	520	48	80	500	85	175	φ65	6-D41	SD390	820×680	16-D22	5	5	D13@100	21以上	H	376	400	276	300	50	800	190
		H4020-22F3	BT-HT440B-SP	(ト)	690	350	52	75	540	75	200	φ65	4-D41H	SD490	830×490	12-D22	4	4	D13@100	21以上	H	416	250	316	150	50	850	200
		H4030-16F3	BT-HT440B-SP	(チ)	690	440	48	75	540	70	150	φ60	6-D38	SD390	830×590	12-D22	4	4	D13@100	21以上	H	416	350	316	250	50	750	180
		H4040-21F3	BT-HT440B-SP	(チ)	730	580	60	75	580	90	200	φ75	6-D51	SD390	930×780	16-D25	5	5	D13@100	21以上	H	448	480	318	350	65	900	230
		H4520-25F3	BT-HT440B-SP	(ト)	750	350	60	75	600	75	200	φ75	4-D51	SD390	900×520	14-D22	5	4	D13@100	21以上	H	468	280	338	150	65	900	230
		H4530-18F3	BT-HT440B-SP	(チ)	750	500	52	75	600	100	150	φ65	6-D41	SD390	890×640	16-D22	5	5	D13@100	21以上	H	474	350	374	250	50	800	190
		H5020-25F3	BT-HT440B-SP	(ト)	850	350	60	90	670	75	200	φ75	4-D51	SD390	990×530	12-D25	4	4	D13@100	21以上	H	538	280	408	150	65	900	230
		H5030-19F3	BT-HT440B-SP	(チ)	850	450	60	90	670	75	150	φ65	6-D41H	SD490	990×600	14-D25	5	4	D13@100	21以上	H	544	350	444	250	50	850	200
		H5030-28F3	BT-HT440B-SP	(チ)	850	500	65	90	670	100	150	φ75	6-D51	SD390	1050×700	18-D25	6	5	D16@150	21以上	H	538	380	408	250	65	900	230
H-S 柱材F値325以下用		H3030-15S	BT-HT440B-SP	(ル)	400	400	40	125	150	125	150	φ45	4-M30	SD490	540×540	12-D19	4	4	D13@150	21以上	A	200	200	100	100	50	600	135
		H3525-14S	BT-HT440B-SP	(ル)	440	350	40	130	180	100	150	φ45	4-M30	SD490	600×510	12-D19	4	4	D13@125	21以上	A	230	200	130	100	50	600	135
		H3535-19S	BT-HT440B-SP	(ル)	440	440	40	130	180	130	180	φ50	4-M33	SD490	600×600	12-D19	4	4	D13@125	21以上	A	230	230	130	130	50	600	135
		H4030-16S	BT-HT440B-SP	(ル)	490	400	40	140	210	110	180	φ60	4-D38	SD390	790×700	12-D22	4	4	D13@125	21以上	D	314	284	214	184	50	750	180
		H4040-21S	BT-HT440B-SP	(ル)	490	490	40	140	210	140	210	φ60	4-D38	SD390	710×710	12-D22	4	4	D13@125	21以上	D	314	314	214	214	50	750	180
		H4530-18S	BT-HT440B-SP	(ル)	540	400	40	140	260	110	180	φ60	4-D38	SD390	840×700	14-D22	5	4	D13@100	21以上	D	364	284	264	184	50	750	180

注2) 柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

訂			工事名	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
正			平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	設計	構造 製図	ベースパック柱脚工法標準図－２		19

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦

ベースパック工型

角形鋼管

F値295N/mm² 以下

□-150×150 ～ □-300×300 用

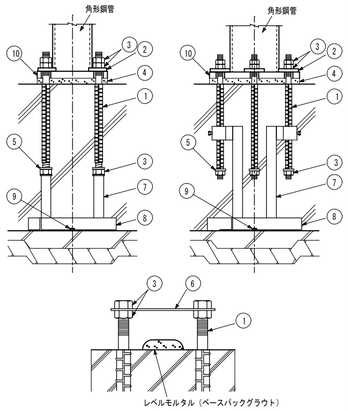
（財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-10」（平成23年2月18日付）

ベースパック柱脚工法　標準図－３

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

１．工法概要

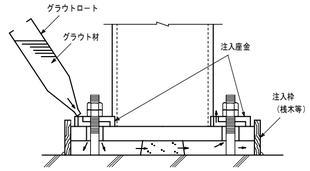
１．１　構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④ベースパックグラウト（グラウト材）
⑤定着座金
⑥テンプレート
⑦フレームポスト
⑧フレームベース
⑨ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑩ベースプレート

(注)上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑥～⑨は現場状況により仕様が異なる場合がある。

１．２　柱脚の定着方法概要



２．柱

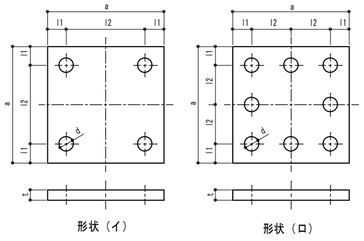
F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●

３．構成部材・寸法

３．１　ベースプレート

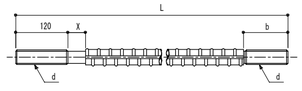
●材質

SN490B　【JIS G 3136】



３．２　アンカーボルト（Mアンカーボルト）

i）アンカーフレーム Aタイプ・特Aタイプ の場合

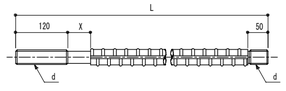


単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	材質
M27	D29	665, 715	45	108, 153	SD490（降伏比７５%以下）
M30	D32	710, 755	45	108, 153	
M33	D35	715, 755, 795	45	85, 113, 153	
M36	D38	815, 850	60	121, 156	

【JIS G 3112】

ii）アンカーフレーム Bタイプ の場合



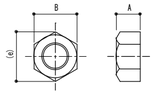
単位 mm

呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	材質
M27	D29	650, 695	45	SD490（降伏比７５%以下）
M30	D32	650, 695	45	
M33	D35	695, 775	45	
M36	D38	740, 775	60	

【JIS G 3112】

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

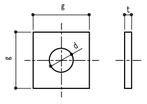
３．３　Mナット



単位 mm

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64

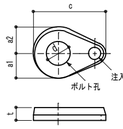
３．４　定着座金



単位 mm

適用アンカーボルト	g	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	

３．５　注入座金

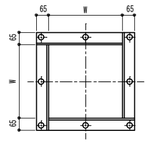


単位 mm

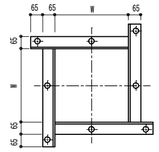
記号	適用アンカーボルト	a1	a2	c	t	d	材質
PW27	M27	32	42	101	18	28	SS400
PW30	M30	32	42	101	18	31	
PW33	M33	35	45	110	18	34	
PW36	M36	35	45	110	18	37	

３．６　フレームベース

i）Aタイプ・特Aタイプ



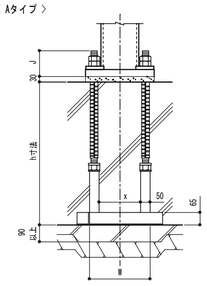
ii）Bタイプ



３．７　アンカーフレーム形状および据付け時請寸法

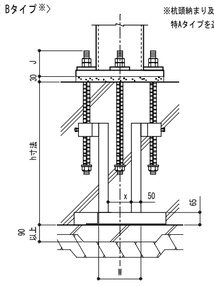
●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Aタイプ 〉

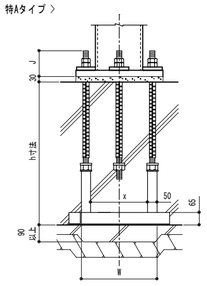


〈 Bタイプ※〉

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Aタイプを選択できる。



〈 特Aタイプ 〉

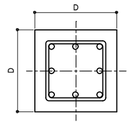


単位 mm

採用	ベースパック記号	柱 外径 (mm)	柱 板厚 (mm)	ベースプレート 材質	ベースプレート 形状	ベースプレート 寸法(mm) a	t	l1	l2	d	アンカーボルト 本数-呼び	アンカーボルト 材質	標準アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法 D(mm) 標準フレーム	特A	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度 (N/mm²)	フレームベース 寸法 W(mm) 標準フレーム	特A	フレームポスト間 寸法 x(mm) 標準フレーム	特A	最低h寸法 (mm) 標準フレーム	特A	J寸法 (mm)
	15-12R	□-150×150	t≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	φ45	4-M27	SD490	A	460	-	8-D13	D10@150	21以上	250	-	150	-	550	-	135
	17-12R	□-175×175	t≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	φ45	4-M30	SD490	A	500	-	8-D16	D10@150	21以上	280	-	180	-	600	-	135
	20-09R	□-200×200	t≦9	SN490B	(イ)	360	32	45	270	φ45	4-M30	SD490	A	550	-	8-D13	D10@150	21以上	320	-	220	-	600	-	135
	20-12R	□-200×200	t≦12	SN490B	(イ)	360	36	45	270	φ50	4-M33	SD490	A	550	-	8-D16	D10@150	21以上	320	-	220	-	600	-	135
●	25-09R	□-250×250	t≦9	SN490B	(ロ)	460	32	55	175	φ45	8-M27	SD490	B	620(600) 注2)	630(600) 注2)	8-D16	D13@150	21以上	223	400	123	300	600	600	135
	25-12R	□-250×250	t≦12	SN490B	(ロ)	460	36	55	175	φ45	8-M30	SD490	B	620(600) 注2)	630(600) 注2)	8-D16	D13@150	21以上	220	400	120	300	600	600	135
	25-16R	□-250×250	t≦16	SN490B	(ロ)	460	40	55	175	φ50	8-M33	SD490	B	630(600) 注2)	640(600) 注2)	8-D19	D13@150	21以上	216	400	116	300	600	600	135
	30-09R	□-300×300	t≦9	SN490B	(ロ)	520	40	50	210	φ50	8-M30	SD490	B	700	700	8-D16	D13@150	21以上	290	470	190	370	600	600	135
	30-12R	□-300×300	t≦12	SN490B	(ロ)	520	40	50	210	φ50	8-M33	SD490	B	700	710(700) 注2)	8-D19	D13@150	21以上	286	470	186	370	600	600	135
	30-16R	□-300×300	t≦16	SN490B	(ロ)	520	45	50	210	φ55	8-M36	SD490	B	730(700) 注2)	730(700) 注2)	8-D22	D13@150	21以上	283	470	183	370	600	700	150
	30-19R	□-300×300	t≦19	SN490B	(ロ)	560	50	60	220	φ55	8-M36	SD490	B	730	730	12-D22	D13@150	21以上	303	490	203	390	600	700	150

４．コンクリート柱型

４．１　形状・材質

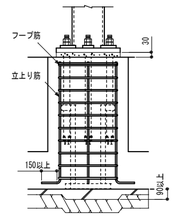


注2)アンカーボルト外側に基礎梁主筋を配筋しない場合、下表の（ ）内の寸法を使用できる。

●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295(D10, D13, D16)
SD345(D19, D22)

４．２　配筋

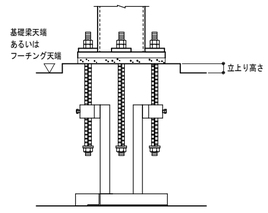


※トップフープはダブルとする

４．３　基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。

※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



５．工場製作（溶接）

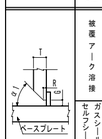
■組立

●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）

●完全溶込み溶接とする。（JASS 6　鉄骨工事による）

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6　鉄骨工事 2007年版より ）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		

許容差　・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱

●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) t<32	32≦t<40	40≦t≦50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50 °C	50 °C
002 ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

６．工事場施工

６．１　基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

６．２　アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

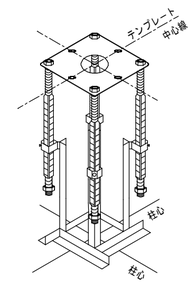
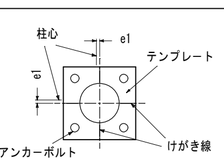


図	
標準許容差	-2≦e1≦2 基準高さより誤差は -3≦e≦10

e1 ：柱心とテンプレートのけがき線との許容差

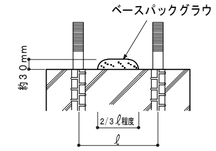
６．３　配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

６．４　建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



６．５　アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

６．６　ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋（6kg）に対して、計量カップで1.0～1.1ℓ の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

７．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

訂	. .	
	. .	
正	. .	
	. .	

工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

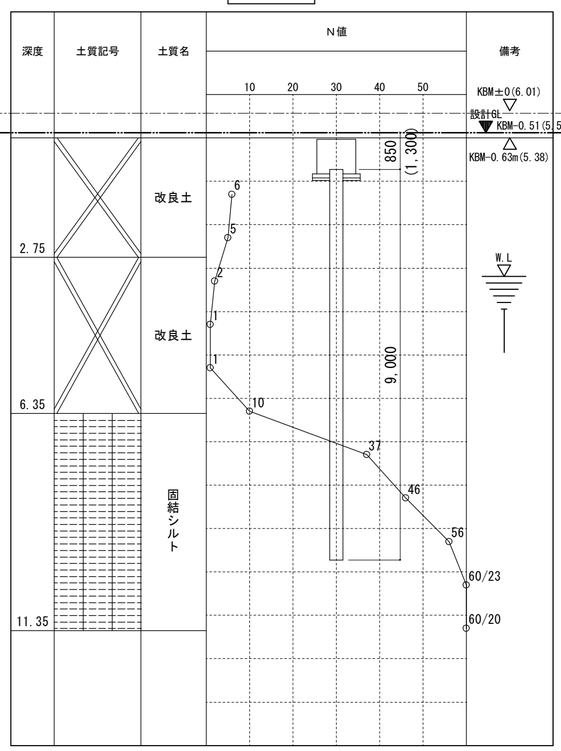
作製：26年 5月 31日

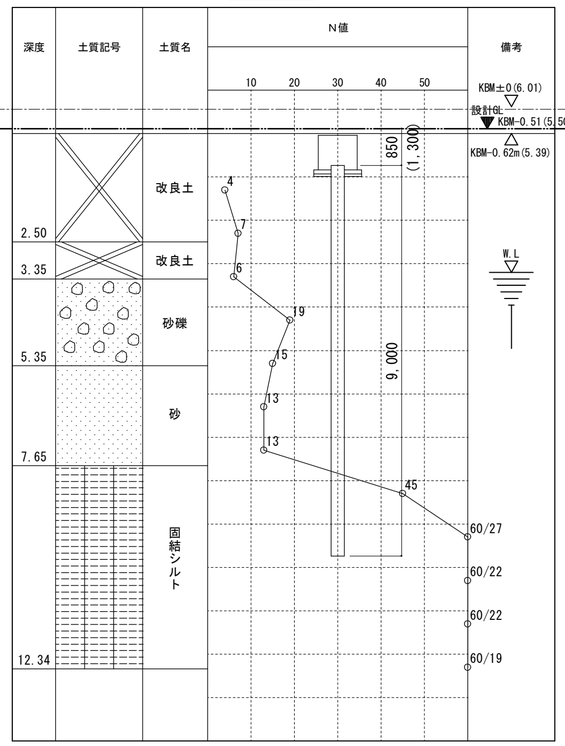
設計 | 構造 | 製図

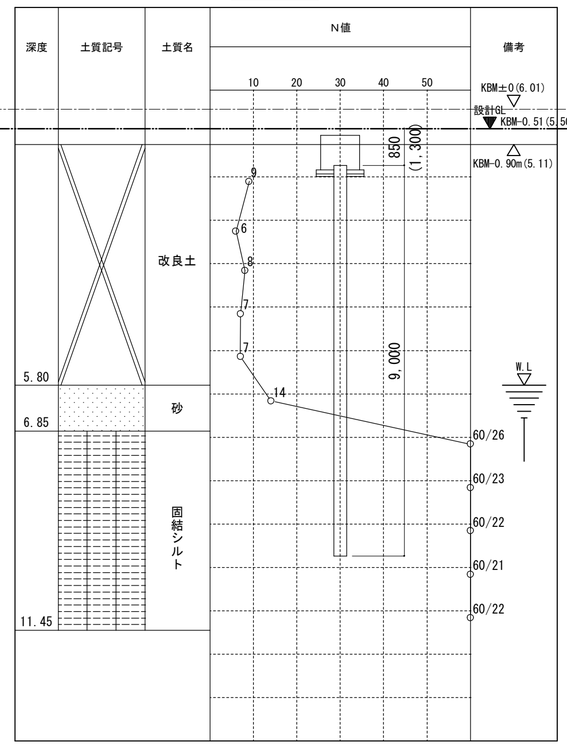
図名：ベースパック柱脚工法標準図－３

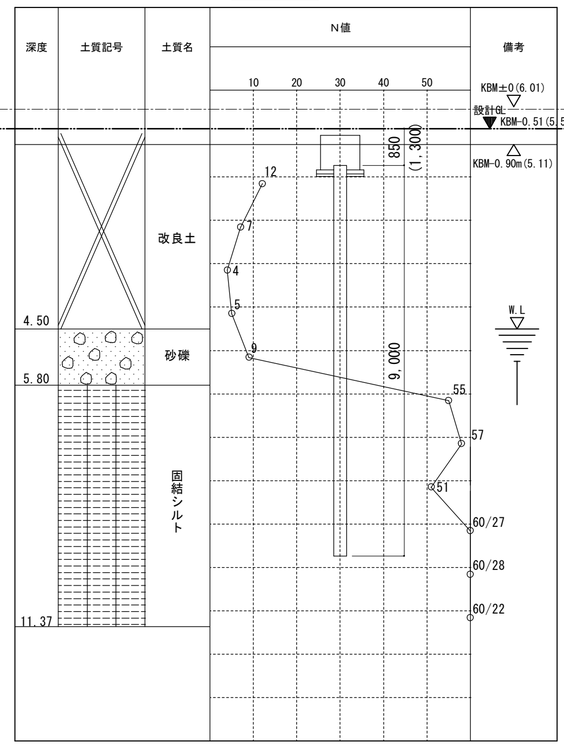
縮尺

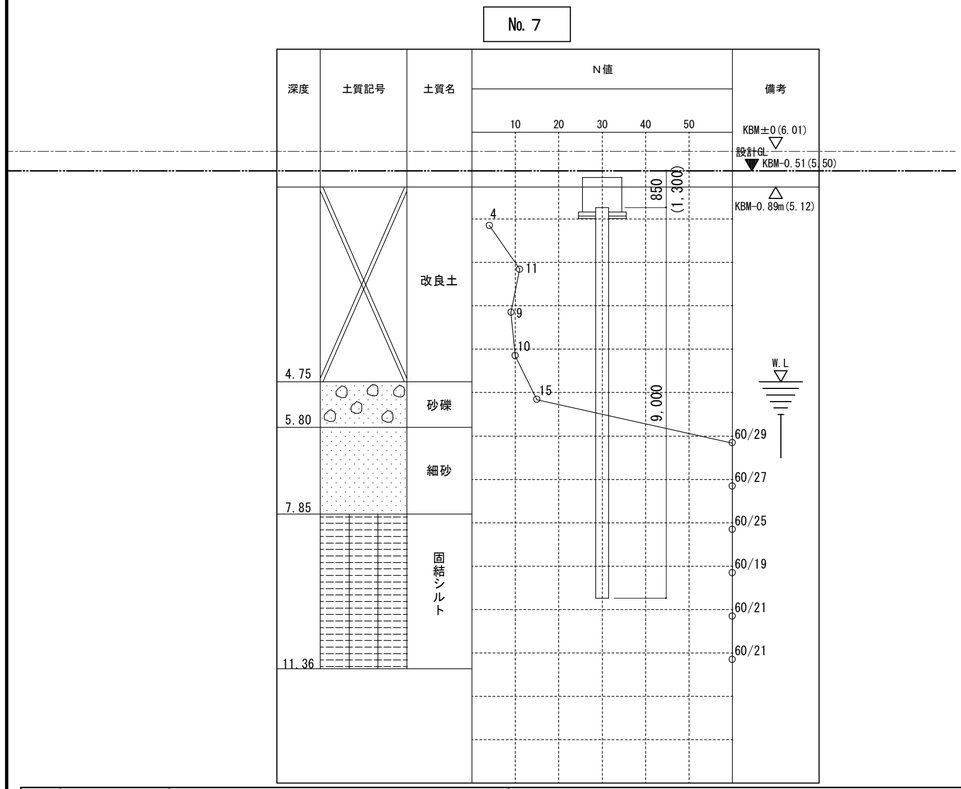
図面No. 20

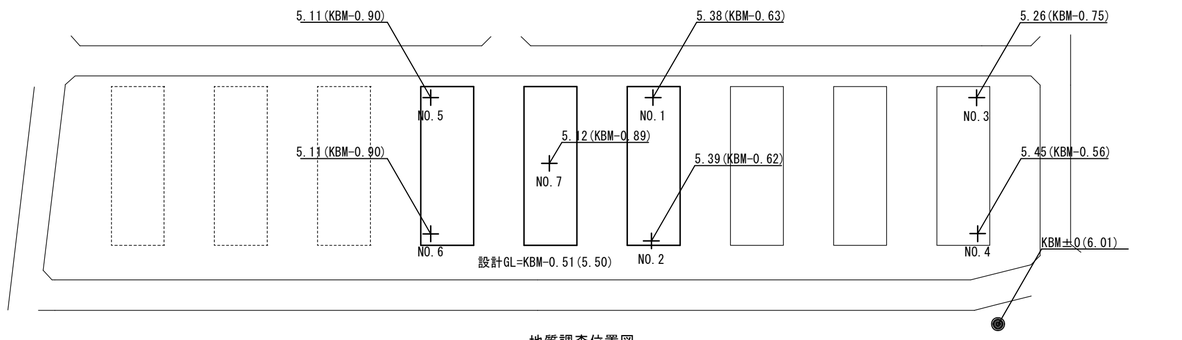






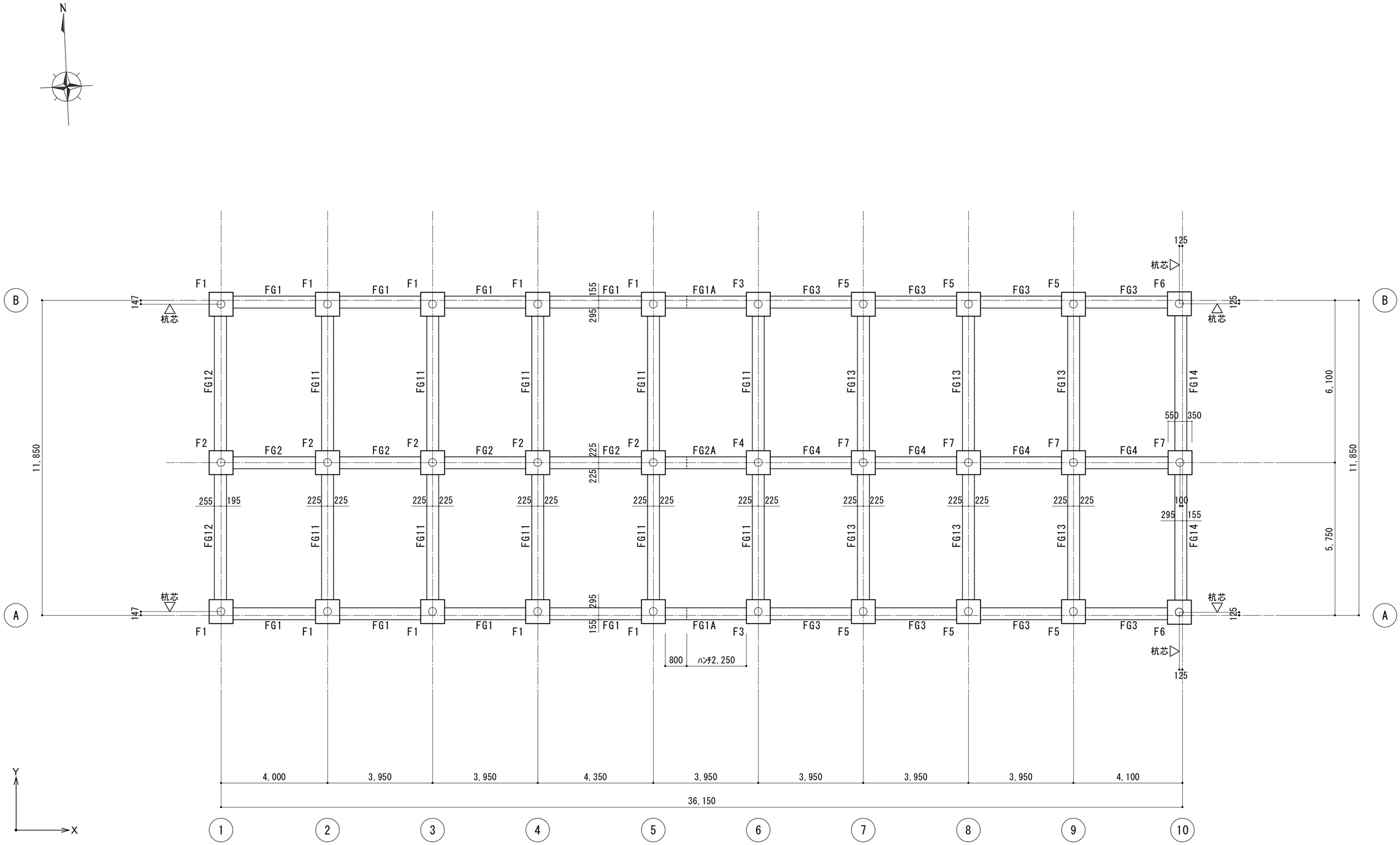






地質調査位置図

訂正	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦	作製 26年 4月 日 設計 / 構造 / 製図	図名 土質柱状図	縮尺 S=1/100	図面No. 21



※予め検討により、施工誤差による杭の芯ずれについて、各方向±１０cmまで許容する。

基 礎 伏 図　S=1/100

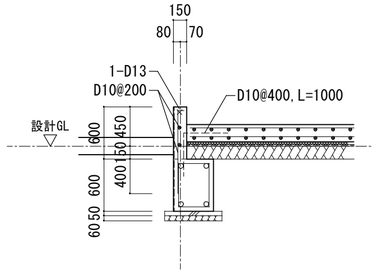
凡例

○：ＰＨＣ杭　３００Φ　Ａ種　Ｌ＝９ｍ（合計３０本）
プレボーリング拡大根固め工法
ハイエフビー工法（認定工法，α＝３４０／３１５，マナック㈱）同等以上
設計杭支持力：ＬＲａ＝２９０ｋＮ／本（長期）
杭頭補強筋：6-D13、L=600＋600、ﾊﾞｲﾙﾊﾞｽｹｯﾄ

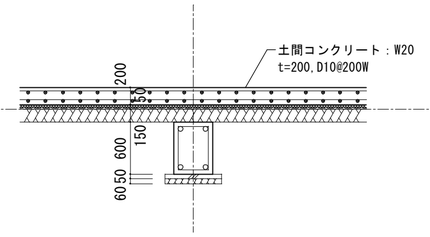
訂正			工事名		縮尺	図面No.
	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事		S=1/100	22
	・ ・					
	・ ・					
	・ ・					

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊 藤 明 彦

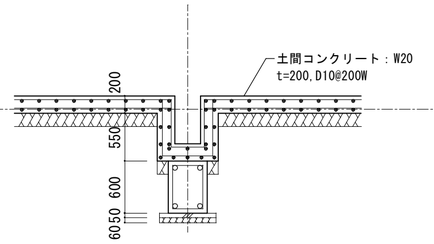
作製	26年 5月 31日	図名
設計	構造	製図
		基 礎 伏 図



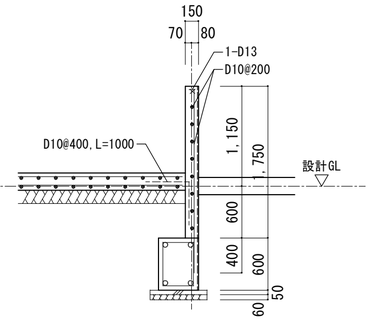
腰壁・土間取合い詳細図　S=1/50



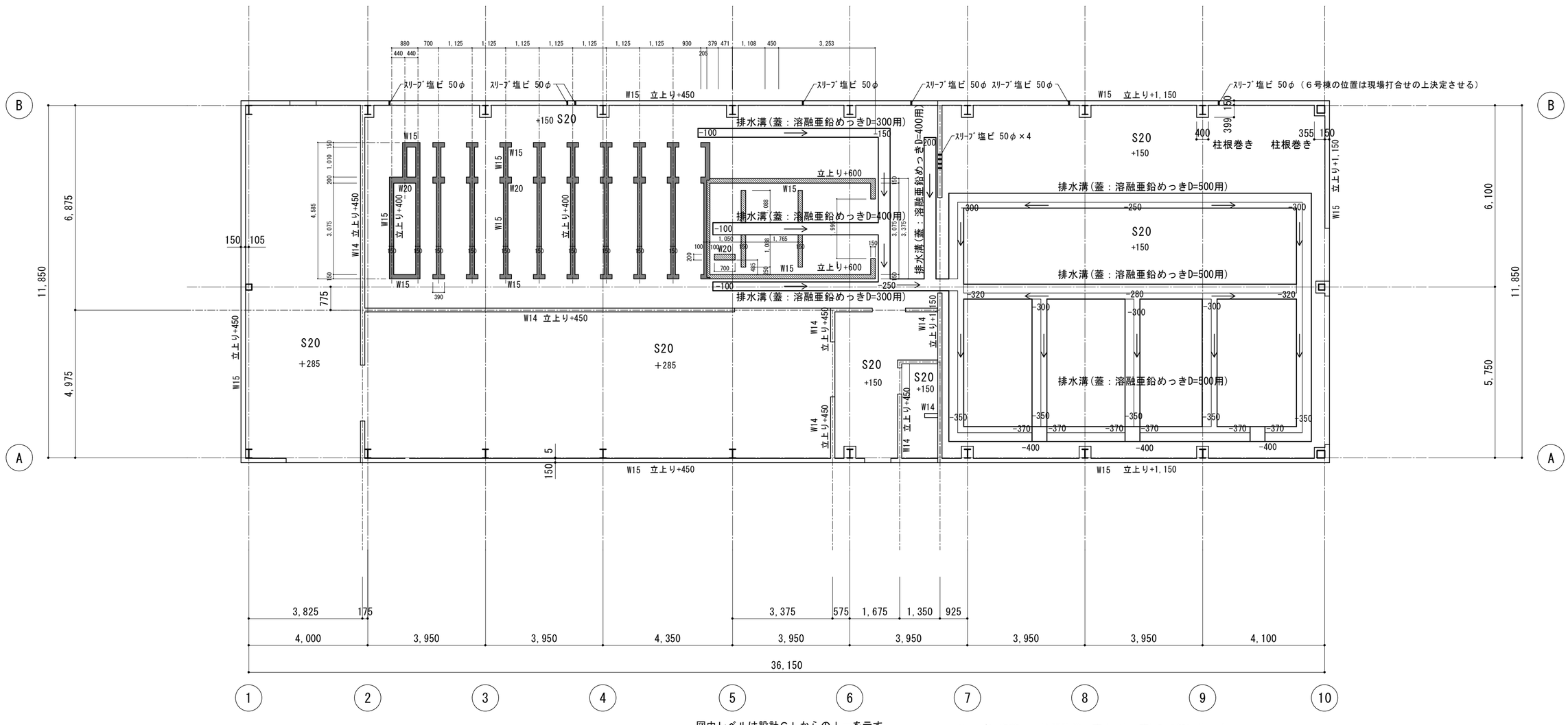
土間・地中梁取合い詳細図　S=1/50



土間・地中梁取合い詳細図　S=1/50



腰壁・土間取合い詳細図　S=1/50



図中レベルは設計ＧＬからの＋－を示す。
前処理作業室・海苔乾燥機械室の鉄骨柱は
立上り壁高さまでコンクリート根巻きする。
（但し、鉄骨柱とコンクリートの縁を切る）

スリーブは海苔加工機器設備工事（別途工事）の配管に使用する。
高さは床直上基本、詳細位置については現場打合せにて決定とする。

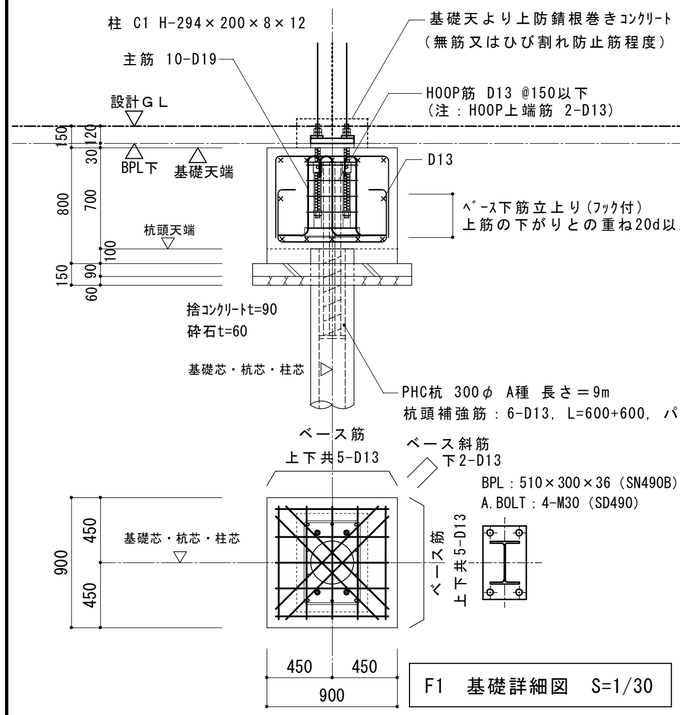
排水溝底はモルタル塗り勾配調整を施す。

立上り壁（機械基礎共）天端は、モルタル塗り水平調整を施す。

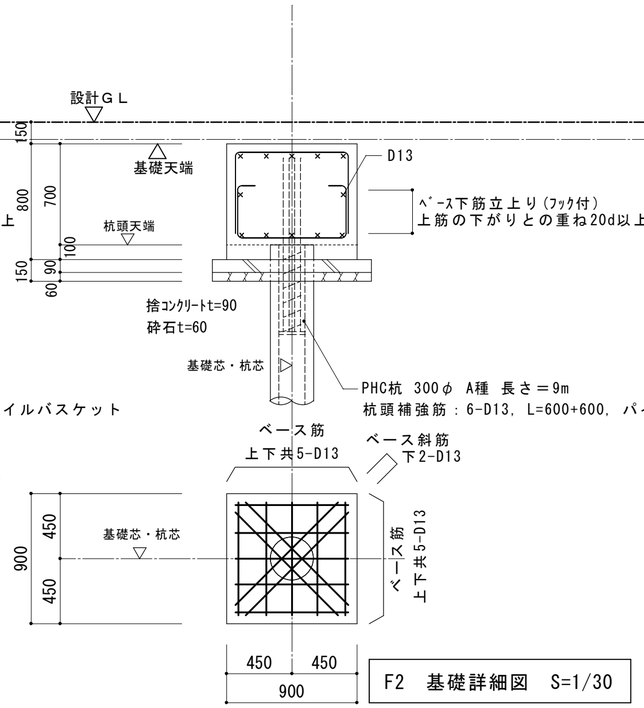
排水溝は溶融亜鉛めっき鋳鉄製グレーチング蓋取付とする。（シャッター範囲のみT-6）

床・立上り壁 伏 図　S=1/100

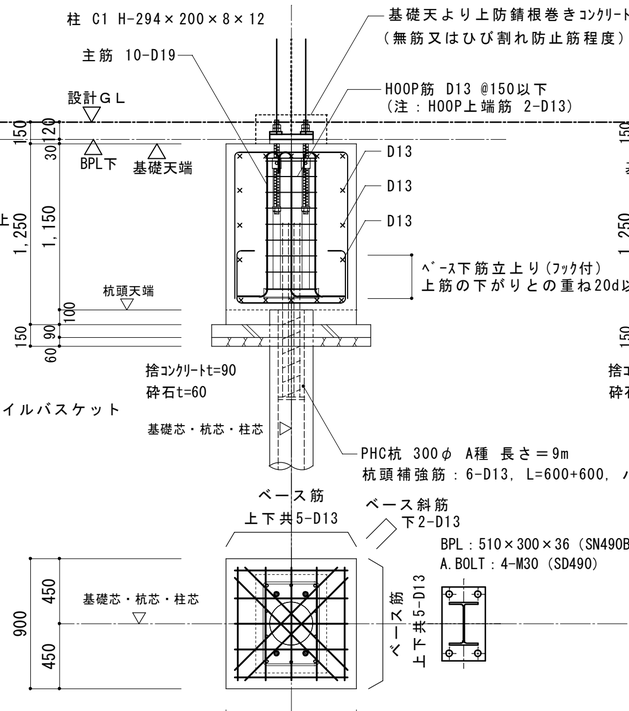
訂	. .		工事名	株式会社 伊藤設計	一級建築士（第65584号）	作製 26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
正	. .		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	伊藤 明彦	設計 / 構造 / 製図	床・立上り壁 伏 図	S=1/100	23
	. .								
	. .								



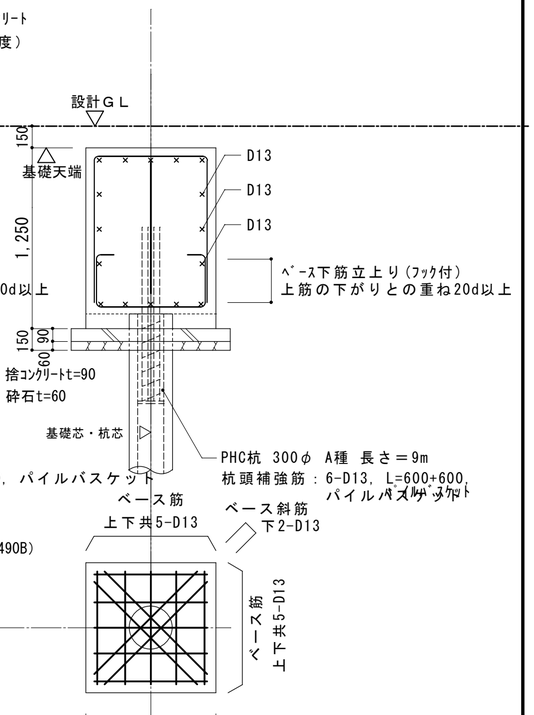
F1 基礎詳細図 S=1/30



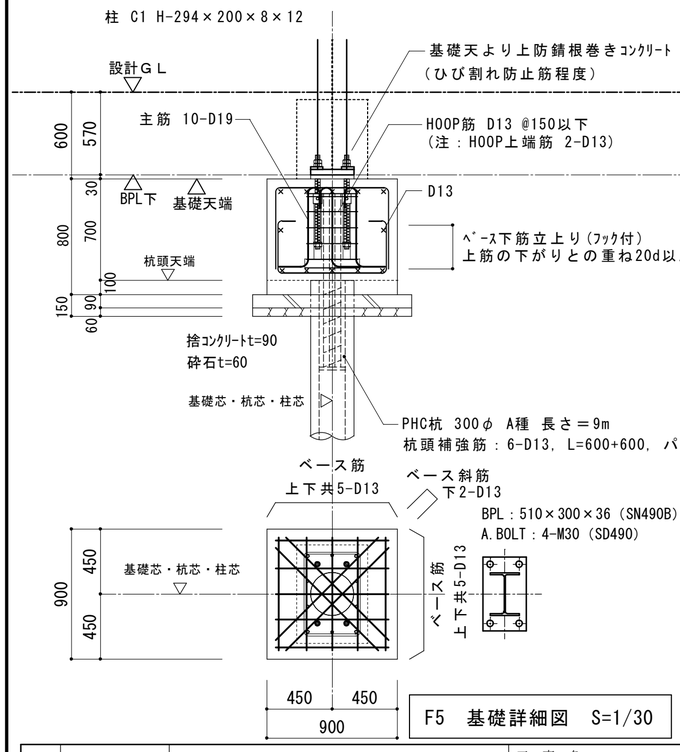
F2 基礎詳細図 S=1/30



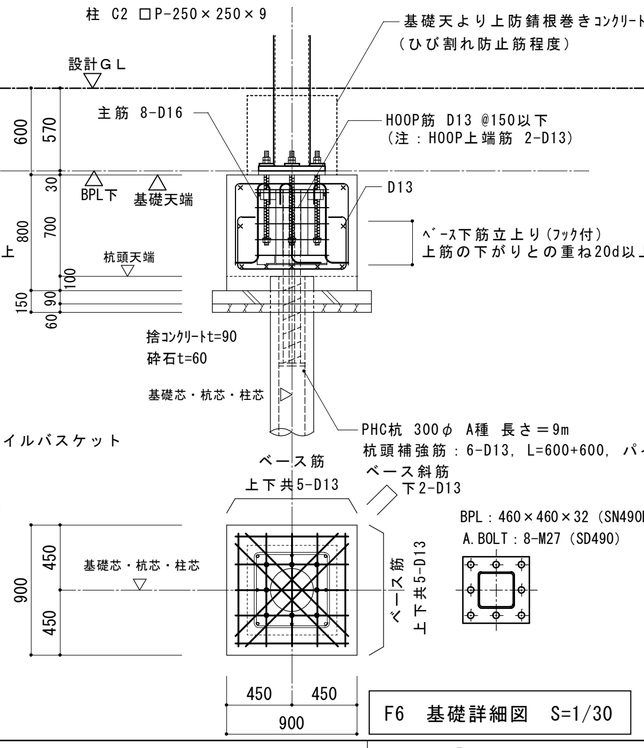
F3 基礎詳細図 S=1/30



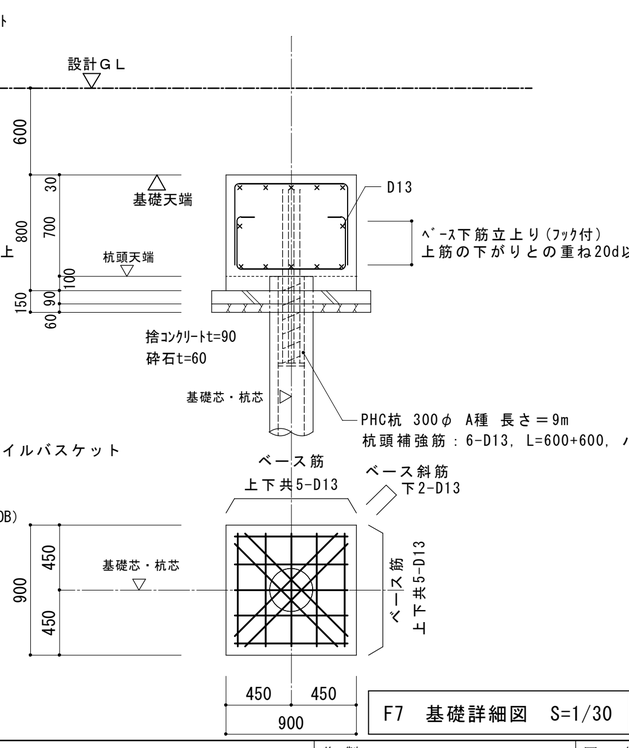
F4 基礎詳細図 S=1/30



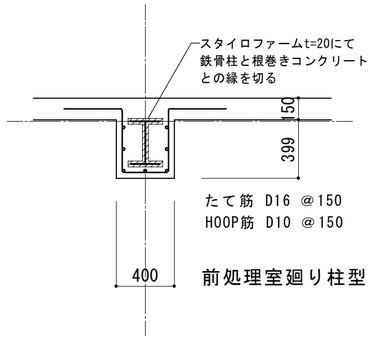
F5 基礎詳細図 S=1/30

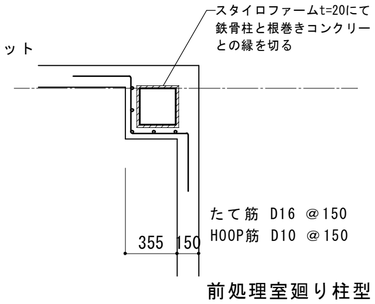


F6 基礎詳細図 S=1/30



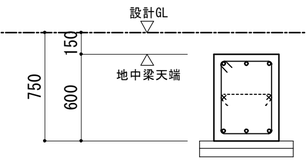
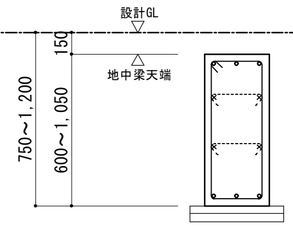
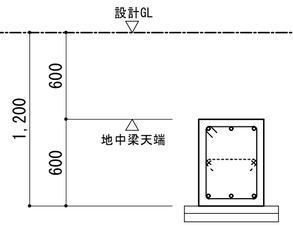
F7 基礎詳細図 S=1/30





訂 正		工事名	株式会社 伊藤設計	作製	図名	縮尺	図面No.
		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	26年 5月 31日	基礎詳細図－1	S=1/30	24
			一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦	設計 構造 製図			

地中梁詳細図　S＝1/30　　共通事項：幅止め筋 D10 @1000以内

記　号	FG1、FG2、FG11、FG12	記　号	FG1A、FG2A　（ハンチ梁）	記　号	FG3、FG4、FG13、FG14
位　置	全断面	位　置		位　置	
断面･形状		断面･形状		断面･形状	
断面寸法	４５０×６００	断面寸法	４５０×６００～１，０５０	断面寸法	４５０×６００
上端筋	３－Ｄ２２	上端筋	３－Ｄ２２	上端筋	３－Ｄ２２
下端筋	３－Ｄ２２	下端筋	３－Ｄ２２	下端筋	３－Ｄ２２
中腹筋	２－Ｄ１０	中腹筋	２－Ｄ１０～４－Ｄ１０	中腹筋	２－Ｄ１０
STP筋	２－Ｄ１０@１５０	STP筋	２－Ｄ１０@１５０	STP筋	２－Ｄ１０@１５０

訂正 ．．／．．／．．／．．

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

作製　26年 5月 31日
設計　構造　製図

図名　基礎詳細図－２

縮尺　S=1/30

図面No.　25

鉄骨部材リスト

特記外：角型鋼管は特記以外STKR400、Ｈ型鋼はSS400、ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑはSN490C、ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄはSN490B(C1、C2)、特記以外の鋼板はSS400

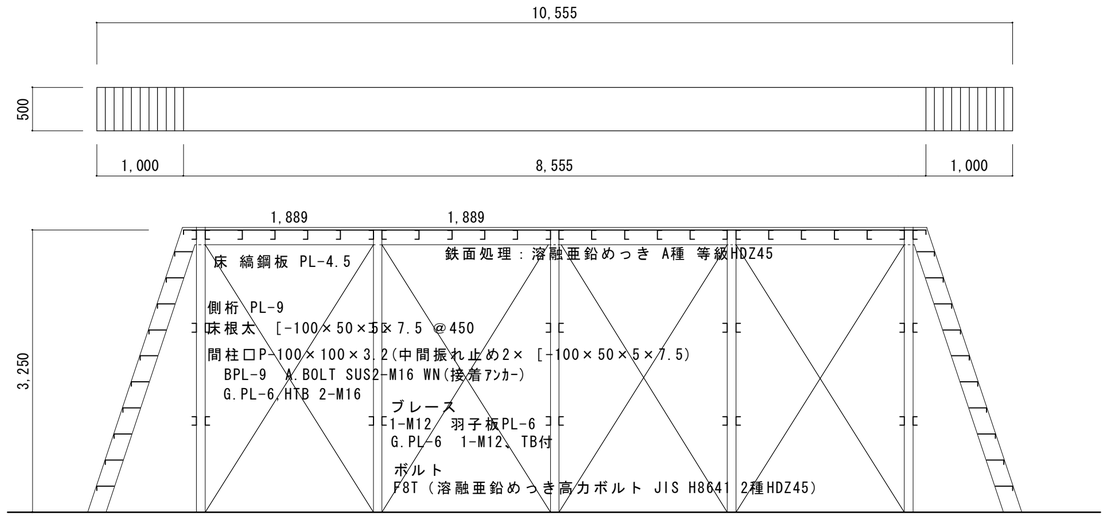
※大梁継手仕様は、ＳＣＳＳ－Ｈ９７に依る。(別紙参照)

C1	H-294×200×8×12 旭化成 ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ H302O-12F2		
		水平ブレース	1-M16　羽子板PL-9　G.PL-9　HTB 1-M16、TB付　(JIS規格品または認定ブレース)
C2	□P-250×250×9（BCR295）　旭化成 ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ 25-09R		
		垂直ブレース（Ａ通り）	FB-6×75,G.PL-6,HTB 2-M16
		垂直ブレース（Ｂ通り）	FB-9×75,G.PL-9,HTB 3-M16
P1	□P-200×200×6　BPL-12×400×400　A.BOLT 2-16φ L=500 WN G.PL-9×300×200,HTB 2-M20		
		胴縁	C-100×50×20×3.2 @606 (南面開口可部分 @303)　SSC400 (カラー塗装品) ﾋﾟｰｽ：L-125×75×7又はGPL-6 中ﾎﾞﾙﾄ2-M12 胴縁頭つなぎ：□P-100×100×2.3　取付PL-6(ﾘﾌﾞPL-6) 柱及び小梁@1,820以内取付　取付中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12 (溶融亜鉛めっき品) 胴縁土台：□P-100×100×2.3　A.BOLT あと施ｴｱﾝｶｰD13 WN @1,820以内
P2	□P-100×100×4.5　BPL-6×140×300　A.BOLT 2-13φ L=500 WN		
RG11、RG12、RG13	H-294×200×8×12		
CG1、CG2	H-300×150×6.5×9		
B1	H-250×125×6×9　G.PL-9,HTB 3-M20		
B2、B4	H-200×100×5.5×8　G.PL-9,HTB 2-M20		
B3	□P-100×100×3.2（端部 CT-125×125×6×9取付）　PL-6,HTB 2-M16		
HB1	□P-200×200×6　PL-6,G.PL-6,HTB 3-M20		
HB2	□P-125×125×6　PL-6,G.PL-6,HTB 2-M16		

床・立上り壁　リスト表

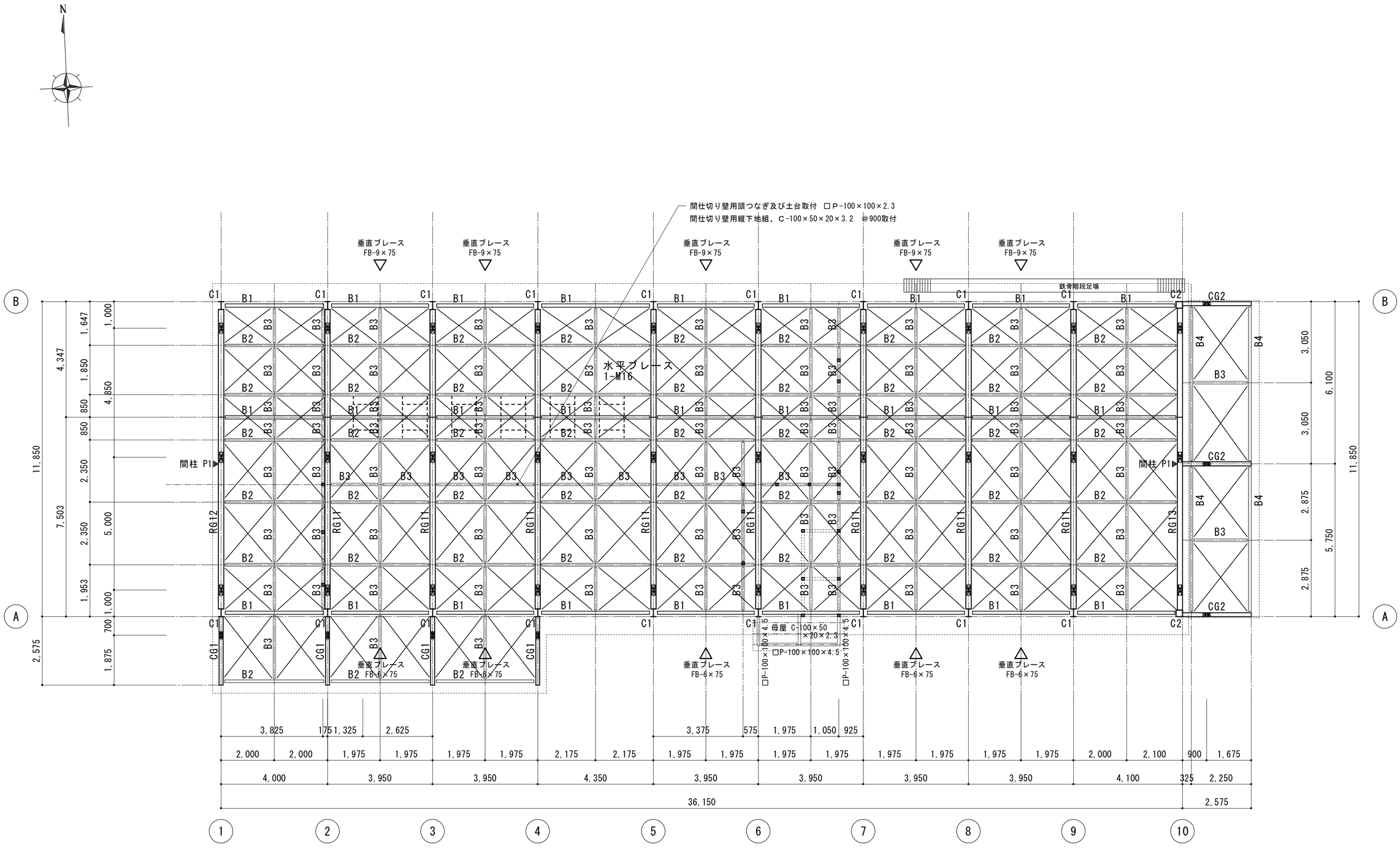
符号	厚	位置	たて筋	よこ筋	備　考
Ｓ２０	２００	上	D13@150	D13@150	
		下	D13@150	D13@150	

立上り壁	厚	たて筋	よこ筋	開口補強			備　考
				たて筋	よこ筋	ななめ筋	
Ｗ１４	１４０	D13@150	D13@150	1-D16	1-D16	1-D16	
Ｗ１５	１５０	D13@150	D13@150	1-D16	1-D16	1-D16	前処理作業室廻り目地切り有り
Ｗ２０	２００	D13@150 ダブル	D13@150 ダブル	2-D16	2-D16	2-D16	
柱根巻き	１００	D16@150	D10@150	前処理作業室廻り GL+1,150			
柱根巻き	１００	D10@150	D10@150	前処理作業室廻り以外 GL+450			



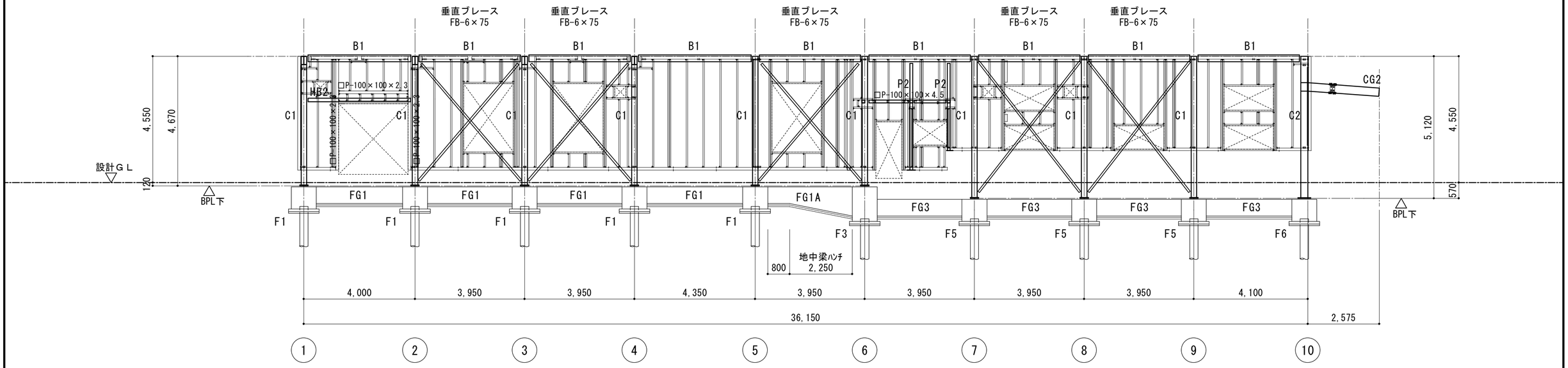
外部タンク点検足場(階段)

訂正	．． ．． ．． ．．	工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製	26年 5月 31日	図名 鉄骨部材リスト表 床・立上り壁 リスト表	縮尺	図面No. 26
						設計	構造	製図		



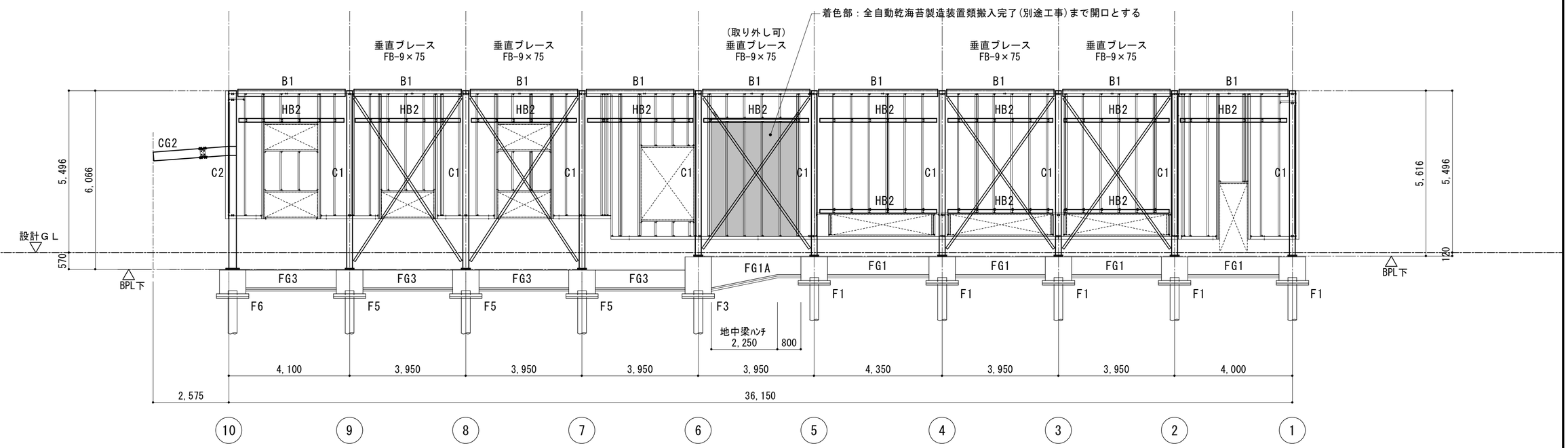
小 屋 梁 伏 図　　S=1/100

訂 正	・ ・ ・ ・	工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊 藤 明 彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 小 屋 梁 伏 図	縮尺 S=1/100	図面No. 27



縦胴縁：C-100×50×20×3.2 @606(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ)
開口脇縦胴縁 ﾀﾞﾌﾞﾙ
土台・頭つなぎ・外壁角：□P-100×100×2.3

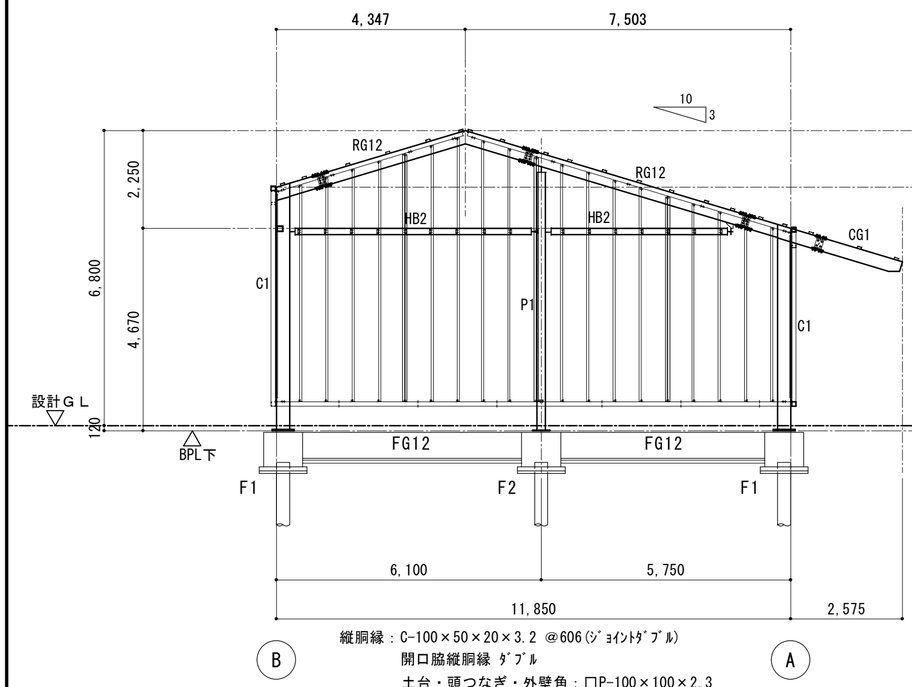
A通り　軸組図　S=1/100



縦胴縁：C-100×50×20×3.2 @606(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ)
開口脇縦胴縁 ﾀﾞﾌﾞﾙ
土台・頭つなぎ・外壁角：□P-100×100×2.3

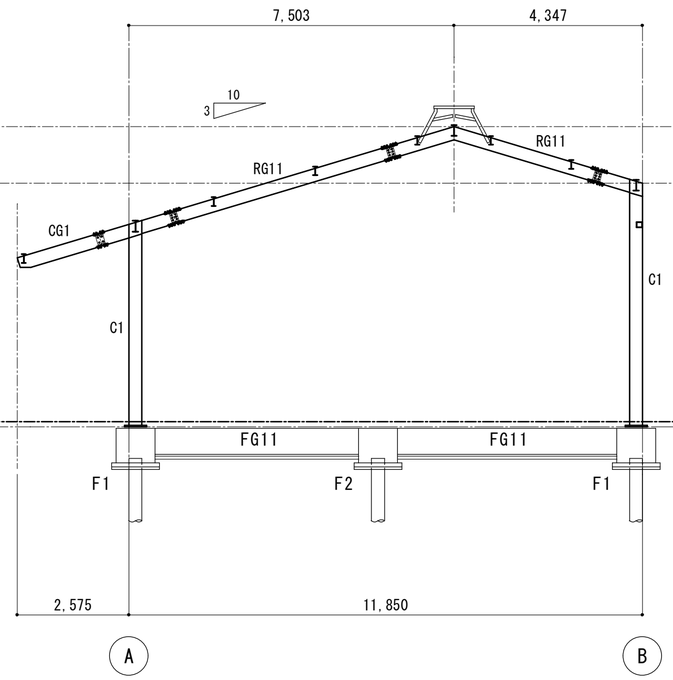
B通り　軸組図　S=1/100

訂	・ ・		工事名	株式会社 伊藤設計	一級建築士(第65584号)	作製 26年 5月 31日	図名	縮尺
正	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	伊藤 明彦	設計 / 構造 / 製図	軸組図－1	S=1/100
	・ ・							図面No. 28

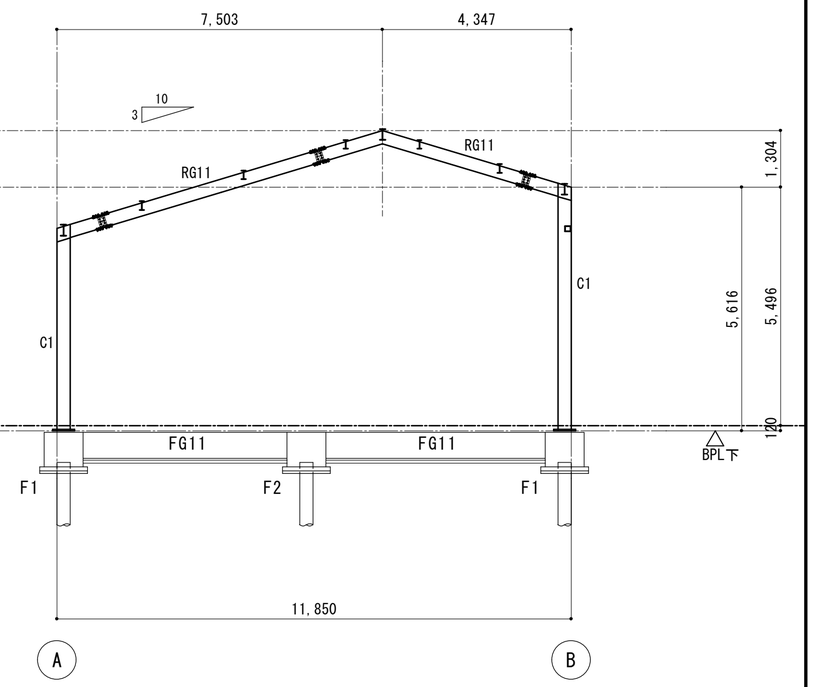


縦胴縁：C-100×50×20×3.2 @606(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ)
開口脇縦胴縁 ﾀﾞﾌﾞﾙ
土台・頭つなぎ・外壁角：□P-100×100×2.3

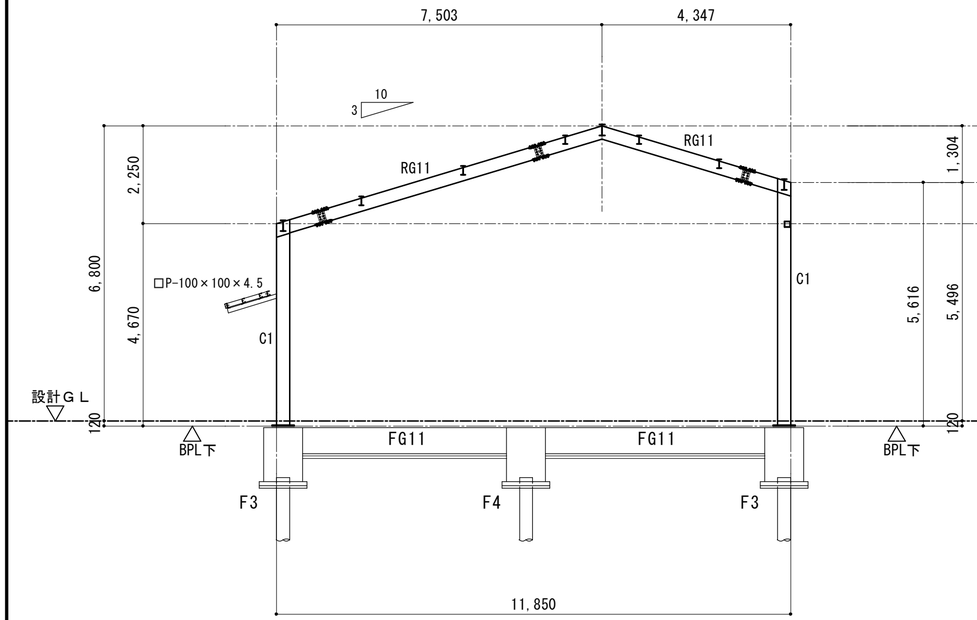
１通り　軸組図　　S=1/100



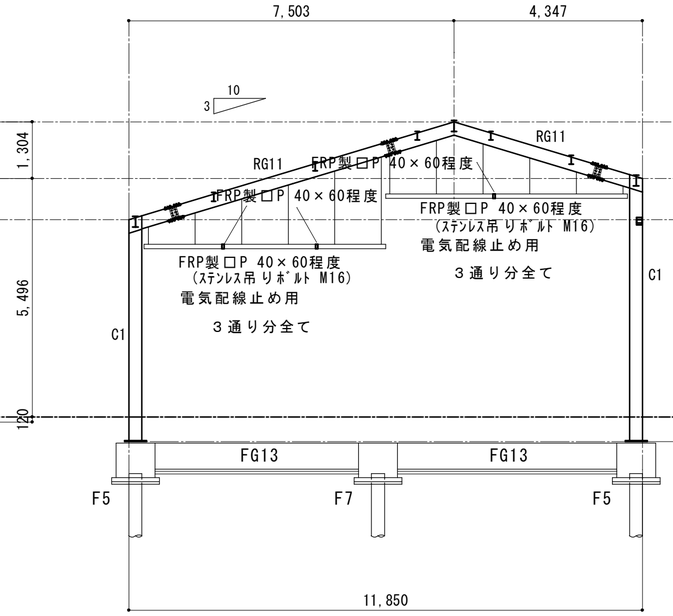
２～４通り　軸組図　　S=1/100



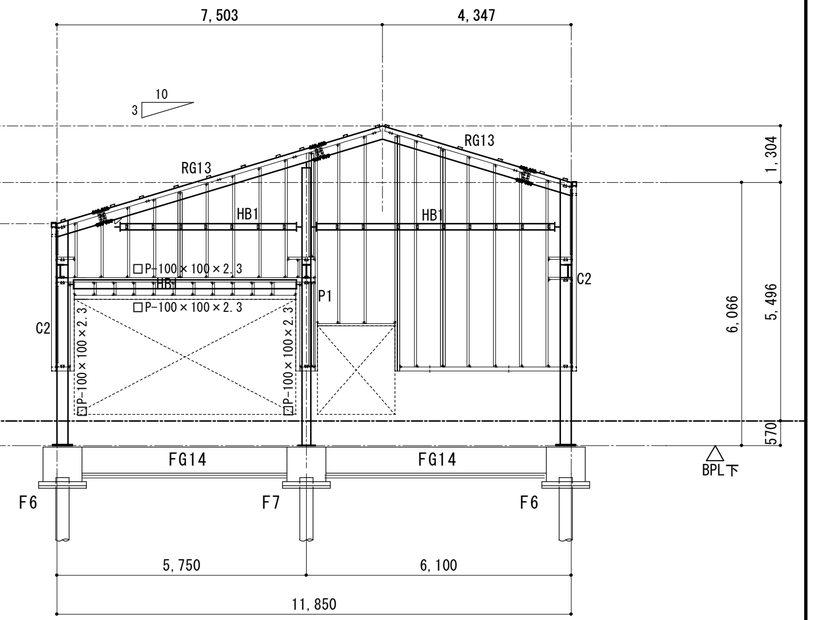
５通り　軸組図　　S=1/100



６通り　軸組図　　S=1/100



７～９通り　軸組図　　S=1/100

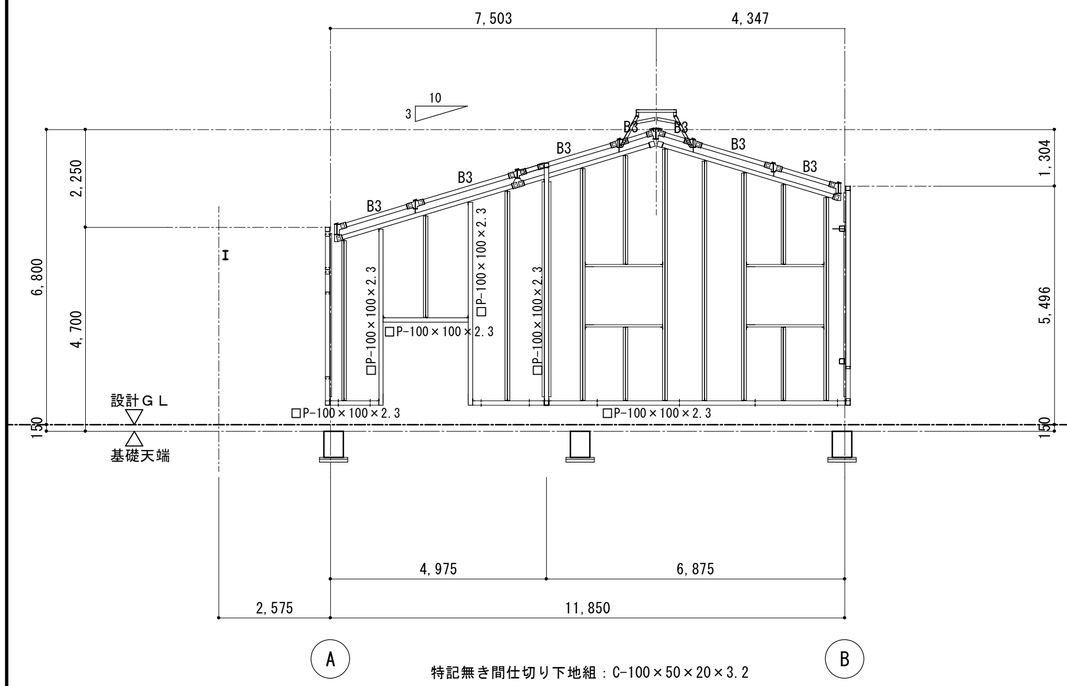


縦胴縁：C-100×50×20×3.2 @606(ｼﾞｮｲﾝﾄﾀﾞﾌﾞﾙ)
(ｼｬｯﾀｰ上 @455)　開口脇縦胴縁 ﾀﾞﾌﾞﾙ
土台・頭つなぎ・外壁角：□P-100×100×2.3

１０通り　軸組図　　S=1/100

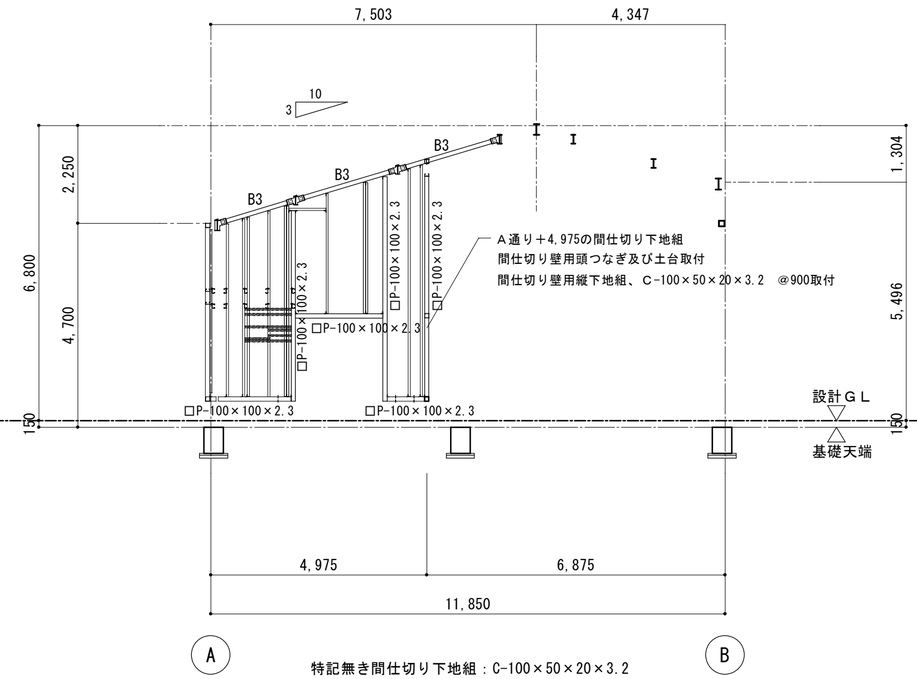
訂正			工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	軸組図－２	S=1/100	29
	・ ・			設計 / 構造 / 製図			
	・ ・						

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦



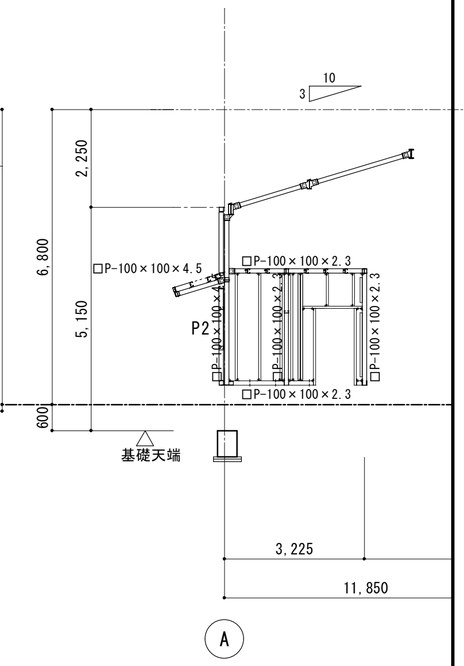
特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

2通り-175　軸組図　　S=1/100



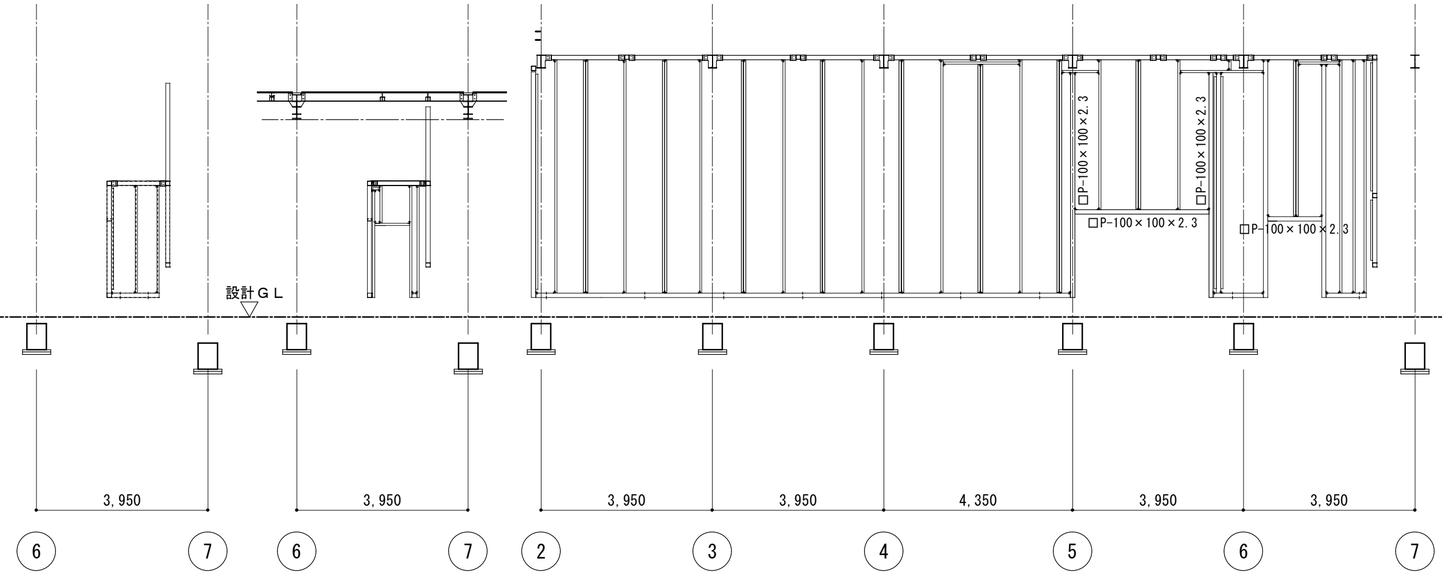
特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

6通り-575　軸組図　　S=1/100



特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

6通り+1,675　軸組図　　S=1/100

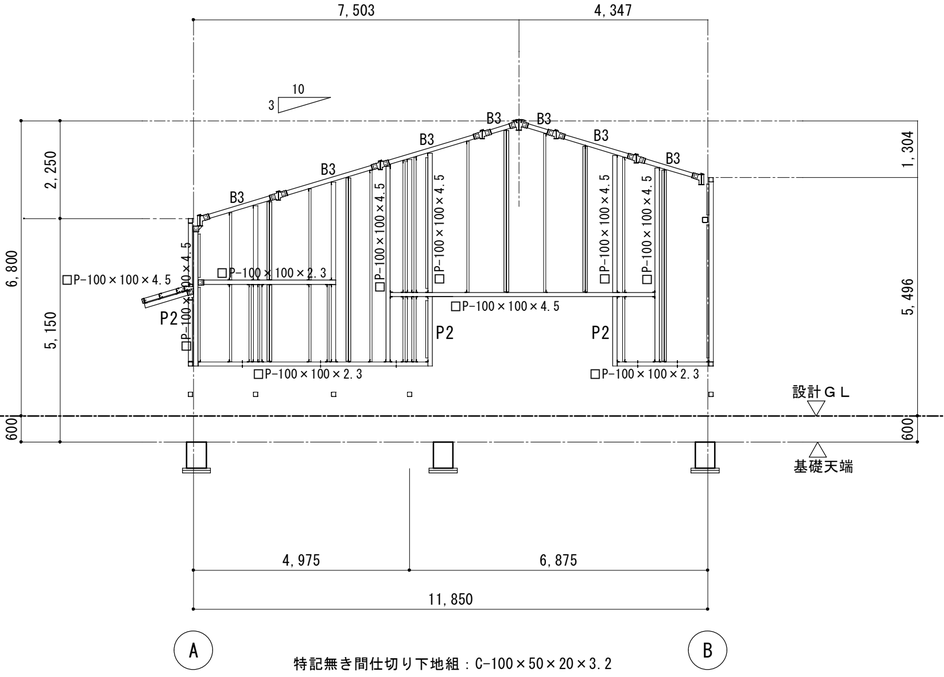


特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

便所東西面　軸組図　　S=1/100

特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

A通り＋4,975　軸組図　　S=1/100

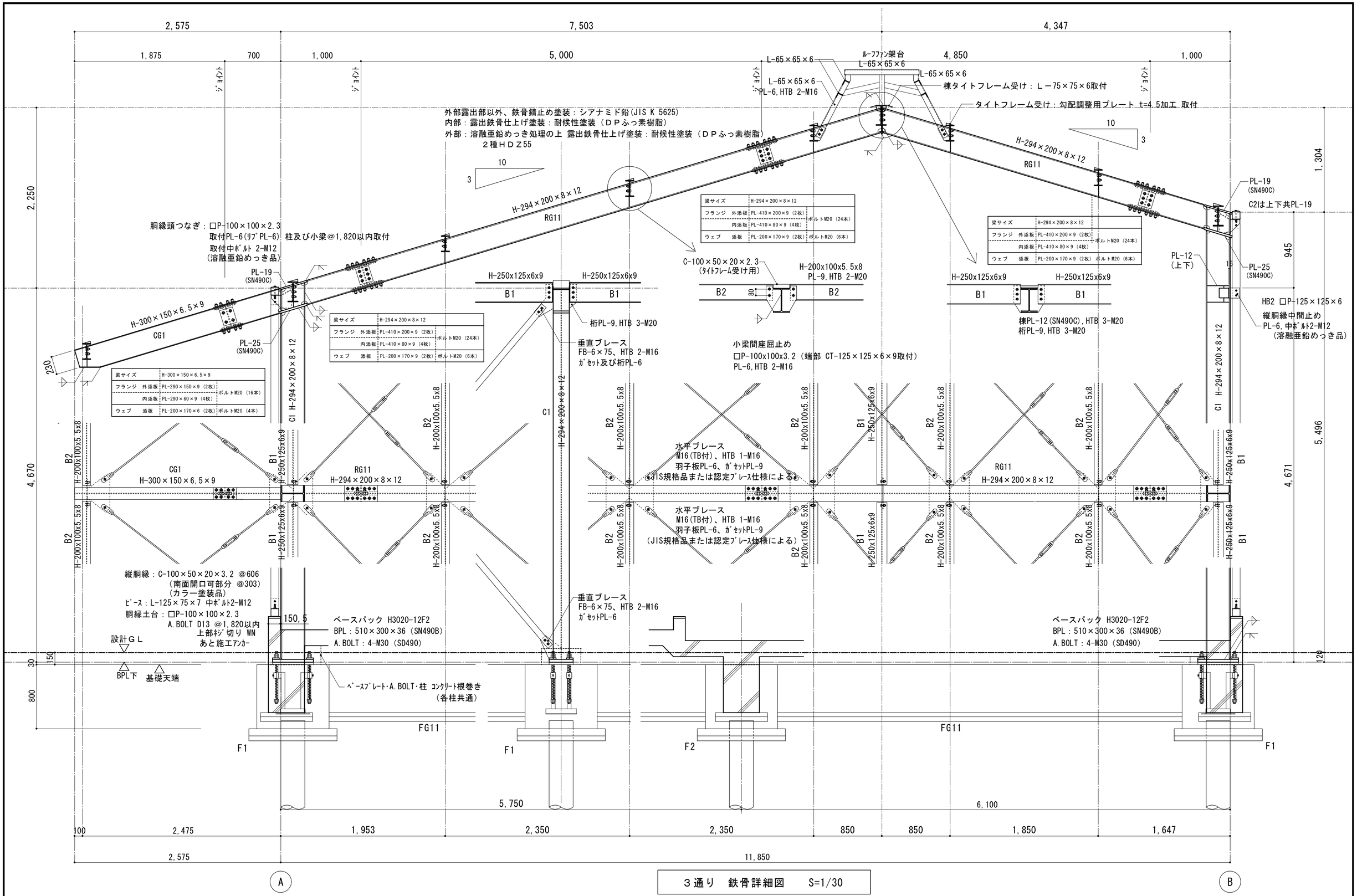


特記無き間仕切り下地組：C-100×50×20×3.2

7通り-925　軸組図　　S=1/100

訂正	・ ・		工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	作製	26年 5月 31日	図名	軸組図－３	縮尺	S=1/100	図面No.	30
	・ ・				設計	構造	製図					
	・ ・											
	・ ・											

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤 明彦



３通り　鉄骨詳細図　S=1/30

訂	. .		工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
正	. .				愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	設計	構造 製図	鉄骨詳細図	S=1/30	31
	. .				一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦					

一般Ｈ形鋼梁継手標準（ＳＣＳＳ－Ｈ９７　鉄骨構造標準接合部）

鋼　種：ＳＮ４００級

高力ボルト：Ｆ１０Ｔ　Ｓ１０Ｔ

注　記

梁母材の塑性化を保証するため、第１種保有耐力接合のα値を満足するものとする。
ただし、H-100x100x6x8とH-200x100x5.5x8は、母材断面欠損のため、第１種保有耐力接合の規定を充足していない。
添板に用いる鋼材種は、梁母材と同一とする。

採用	シリーズ	継手呼称	部材寸法	ボルト径	フランジ 高力ボルト 継手符号	フランジ 高力ボルト 数量	フランジ ゲージ寸法 g1 mm	フランジ ゲージ寸法 g2 mm	フランジ 外添板寸法 厚さ x W x L mm	フランジ 内添板寸法 厚さ x W x L mm	ウェブ 高力ボルト 継手符号	ウェブ 高力ボルト 数量	ウェブ ゲージ寸法 Pc	ウェブ 添板寸法 厚さ x L x W mm
	１００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－１０１０・０６０９－１６	Ｈ－１００ｘ１００ｘ６ｘ８	Ｍ１６	Ｆ１	４ｘ４	５６	－	１６ｘ１００ｘ２９０	－	Ｗ１	２ｘ　１ｘ２	＊－	９ｘ３５０ｘ　５０
	１５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－１５１０・０６０９－１６	Ｈ－１４８ｘ１００ｘ６ｘ９	Ｍ１６	Ｆ１	４ｘ４	５６	－	１６ｘ１００ｘ２９０	－	Ｗ１	２ｘ　１ｘ２	－	６ｘ２９０ｘ　８０
	２００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２０１０・０６０９－１６	Ｈ－２００ｘ１００ｘ５．５ｘ８	Ｍ１６	Ｆ１	４ｘ４	５６	－	１６ｘ１００ｘ２９０	－	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	６０	６ｘ１７０ｘ１４０
	２００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２０１５・０６０９－１６	Ｈ－１９４ｘ１５０ｘ６ｘ９	Ｍ１６	Ｆ３	４ｘ４	９０	－	９ｘ１５０ｘ２９０	９ｘ　６０ｘ２９０	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	＊６０	６ｘ１７０ｘ１４０
	２５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２５１２・０６０９－１６	Ｈ－２５０ｘ１２５ｘ６ｘ９	Ｍ１６	Ｆ２	６ｘ４	７５	－	１２ｘ１２５ｘ４１０	－	Ｗ１０	２ｘ　２ｘ２	９０	６ｘ２９０ｘ１７０
	２５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２５１７・０６１２－１６	Ｈ－２４４ｘ１７５ｘ７ｘ１１	Ｍ１６	Ｆ４	６ｘ４	１０５	－	９ｘ１７５ｘ４１０	９ｘ　７０ｘ４１０	Ｗ１０	２ｘ　２ｘ２	９０	６ｘ２９０ｘ１７０
	３００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３０１５・０６０９－１６	Ｈ－３００ｘ１５０ｘ６．５ｘ９	Ｍ１６	Ｆ３	４ｘ４	９０	－	９ｘ１５０ｘ２９０	９ｘ　６０ｘ２９０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	６０	６ｘ１７０ｘ２００
	３５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３５１７・０６１２－１６	Ｈ－３５０ｘ１７５ｘ７ｘ１１	Ｍ１６	Ｆ４	６ｘ４	１０５	－	９ｘ１７５ｘ４１０	９ｘ　７０ｘ４１０	Ｗ４	２ｘ　４ｘ１	６０	６ｘ１７０ｘ２６０
	２００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２０１５・０６０９－２０	Ｈ－１９４ｘ１５０ｘ６ｘ９	Ｍ２０	Ｆ３	４ｘ４	９０	－	９ｘ１５０ｘ２９０	９ｘ　６０ｘ２９０	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	＊６０	６ｘ２３０ｘ１４０
	２５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－２５１７・０６１２－２０	Ｈ－２４４ｘ１７５ｘ７ｘ１１	Ｍ２０	Ｆ３	４ｘ４	１０５	－	９ｘ１７５ｘ２９０	９ｘ　７０ｘ２９０	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ１４０
○	３００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３０１５・０６０９－２０	Ｈ－３００ｘ１５０ｘ６．５ｘ９	Ｍ２０	Ｆ３	４ｘ４	９０	－	９ｘ１５０ｘ２９０	９ｘ　６０ｘ２９０	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	１２０	６ｘ１７０ｘ２００
○	３００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３０２０・０９１２－２０	Ｈ－２９４ｘ２００ｘ８ｘ１２	Ｍ２０	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	９ｘ２００ｘ４１０	９ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ２００
	３５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３５１７・０６１２－２０	Ｈ－３５０ｘ１７５ｘ７ｘ１１	Ｍ２０	Ｆ３	４ｘ４	１０５	－	９ｘ１７５ｘ２９０	９ｘ　７０ｘ２９０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	９０	６ｘ１７０ｘ２６０
	３５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３５２５・０９１６－２０	Ｈ－３４０ｘ２５０ｘ９ｘ１４	Ｍ２０	Ｆ５	８ｘ４	１５０	－	１２ｘ２５０ｘ５３０	１２ｘ１００ｘ５３０	Ｗ１１	２ｘ　３ｘ２	６０	９ｘ２９０ｘ２００
	４００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４０２０・０９１２－２０	Ｈ－４００ｘ２００ｘ８ｘ１３	Ｍ２０	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	９ｘ２００ｘ４１０	９ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ４	２ｘ　４ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ２６０
	４００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４０３０・０９１６－２０	Ｈ－３９０ｘ３００ｘ１０ｘ１６	Ｍ２０	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１２ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ４	２ｘ　４ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ２６０
	４５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４５２０・０９１６－２０	Ｈ－４５０ｘ２００ｘ９ｘ１４	Ｍ２０	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ５	２ｘ　５ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ３２０
	４５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４５３０・１２１９－２０	Ｈ－４４０ｘ３００ｘ１１ｘ１８	Ｍ２０	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１２ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ５	２ｘ　５ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ３２０
	５００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－５０２０・０９１６－２０	Ｈ－５００ｘ２００ｘ１０ｘ１６	Ｍ２０	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ５	２ｘ　５ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ３２０
	５００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－５０３０・１２１９－２０	Ｈ－４８８ｘ３００ｘ１１ｘ１８	Ｍ２０	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１２ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ１２	２ｘ　４ｘ２	９０	１２ｘ２９０ｘ３５０
	６００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－６０２０・１２１６－２０	Ｈ－６００ｘ２００ｘ１１ｘ１７	Ｍ２０	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ１２	２ｘ　４ｘ２	１２０	９ｘ２９０ｘ４４０
	６００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－６０３０・１２１９－２０	Ｈ－５８８ｘ３００ｘ１３ｘ２４	Ｍ２０	Ｆ８	１０ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ５３０	１６ｘ１１０ｘ５３０	Ｗ１２	２ｘ　４ｘ２	１２０	９ｘ２９０ｘ４４０
	７００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－７０３０・１４２５－２０	Ｈ－７００ｘ３００ｘ１３ｘ２４	Ｍ２０	Ｆ９	１２ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ６２０	１９ｘ１１０ｘ６２０	Ｗ７	２ｘ　９ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ５６０
	８００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－８０３０・１４２５－２０	Ｈ－８００ｘ３００ｘ１４ｘ２６	Ｍ２０	Ｆ９	１２ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ６２０	１９ｘ１１０ｘ６２０	Ｗ１３	２ｘ　７ｘ２	９０	１２ｘ２９０ｘ６２０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１６２２－２０	Ｈ－８９０ｘ２９９ｘ１５ｘ２３	Ｍ２０	Ｆ９	１２ｘ４	１５０	４０	１６ｘ３００ｘ６２０	１９ｘ１１０ｘ６２０	Ｗ１４	２ｘ　８ｘ２	９０	１２ｘ２９０ｘ７１０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１６２８－２０	Ｈ－９００ｘ３００ｘ１６ｘ２８	Ｍ２０	Ｆ１０	１４ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ７１０	２２ｘ１１０ｘ７１０	Ｗ１４	２ｘ　８ｘ２	９０	１２ｘ２９０ｘ７１０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１９３４－２０	Ｈ－９１２ｘ３０２ｘ１８ｘ３４	Ｍ２０	Ｆ１１	１６ｘ４	１５０	４０	２５ｘ３００ｘ８００	２５ｘ１１０ｘ８００	Ｗ１６	２ｘ１１ｘ２	６０	１６ｘ２９０ｘ６８０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１９３７－２０	Ｈ－９１８ｘ３０３ｘ１９ｘ３７	Ｍ２０	Ｆ１２	１８ｘ４	１５０	４０	２５ｘ３００ｘ８９０	２８ｘ１１０ｘ８９０	Ｗ１６	２ｘ１１ｘ２	６０	１６ｘ２９０ｘ６８０
	３００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３０２０・０９１２－２２	Ｈ－２９４ｘ２００ｘ８ｘ１２	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	９ｘ２００ｘ４１０	９ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ２	２ｘ　２ｘ１	１２０	６ｘ１７０ｘ２００
	３５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－３５２５・０９１６－２２	Ｈ－３４０ｘ２５０ｘ９ｘ１４	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１５０	－	１２ｘ２５０ｘ４１０	１２ｘ１００ｘ４１０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ２００
	４００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４０２０・０９１２－２２	Ｈ－４００ｘ２００ｘ８ｘ１３	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	９ｘ２００ｘ４１０	９ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	９０	９ｘ１７０ｘ２６０
	４００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４０３０・０９１６－２２	Ｈ－３９０ｘ３００ｘ１０ｘ１６	Ｍ２２	Ｆ６	６ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ３５０	１２ｘ１１０ｘ３５０	Ｗ３	２ｘ　３ｘ１	９０	９ｘ１７０ｘ２６０
	４５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４５２０・０９１６－２２	Ｈ－４５０ｘ２００ｘ９ｘ１４	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ４	２ｘ　４ｘ１	６０	１２ｘ１７０ｘ２６０
	４５０	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－４５３０・１２１９－２２	Ｈ－４４０ｘ３００ｘ１１ｘ１８	Ｍ２２	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１２ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ５	２ｘ　５ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ３２０
	５００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－５０２０・０９１６－２２	Ｈ－５００ｘ２００ｘ１０ｘ１６	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ４	２ｘ　４ｘ１	９０	９ｘ１７０ｘ３５０
	５００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－５０３０・１２１９－２２	Ｈ－４８８ｘ３００ｘ１１ｘ１８	Ｍ２２	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１２ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ５	２ｘ　５ｘ１	６０	１２ｘ１７０ｘ３２０
	６００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－６０２０・１２１６－２２	Ｈ－６００ｘ２００ｘ１１ｘ１７	Ｍ２２	Ｆ４	６ｘ４	１２０	－	１２ｘ２００ｘ４１０	１２ｘ　８０ｘ４１０	Ｗ６	２ｘ　７ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ４４０
	６００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－６０３０・１２１９－２２	Ｈ－５８８ｘ３００ｘ１２ｘ２０	Ｍ２２	Ｆ７	８ｘ４	１５０	４０	１２ｘ３００ｘ４４０	１６ｘ１１０ｘ４４０	Ｗ６	２ｘ　７ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ４４０
	７００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－７０３０・１４２５－２２	Ｈ－７００ｘ３００ｘ１３ｘ２４	Ｍ２２	Ｆ８	１０ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ５３０	１９ｘ１１０ｘ５３０	Ｗ７	２ｘ　９ｘ１	６０	９ｘ１７０ｘ５６０
	８００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－８０３０・１４２５－２２	Ｈ－８００ｘ３００ｘ１４ｘ２６	Ｍ２２	Ｆ８	１０ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ５３０	１９ｘ１１０ｘ５３０	Ｗ８	２ｘ１０ｘ１	６０	１２ｘ１７０ｘ６２０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１６２２－２２	Ｈ－８９０ｘ２９９ｘ１５ｘ２３	Ｍ２２	Ｆ８	１０ｘ４	１５０	４０	１６ｘ３００ｘ５３０	１９ｘ１１０ｘ５３０	Ｗ９	２ｘ１２ｘ１	６０	１２ｘ１７０ｘ７４０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１６２８－２２	Ｈ－９００ｘ３００ｘ１６ｘ２８	Ｍ２２	Ｆ９	１２ｘ４	１５０	４０	１９ｘ３００ｘ６２０	２２ｘ１１０ｘ６２０	Ｗ９	２ｘ１２ｘ１	６０	１２ｘ１７０ｘ７４０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１９３４－２２	Ｈ－９１２ｘ３０２ｘ１８ｘ３４	Ｍ２２	Ｆ１０	１４ｘ４	１５０	４０	２５ｘ３００ｘ７１０	２５ｘ１１０ｘ７１０	Ｗ１５	２ｘ１０ｘ２	６０	１６ｘ２９０ｘ６２０
	９００	ＧＧＦ－４Ｘ－Ｊ－９０３０・１９３７－２２	Ｈ－９１８ｘ３０３ｘ１９ｘ３７	Ｍ２２	Ｆ１０	１４ｘ４	１５０	４０	２５ｘ３００ｘ７１０	２８ｘ１１０ｘ７１０	Ｗ１５	２ｘ１０ｘ２	６０	１６ｘ２９０ｘ６２０

※　裏サイズ部材は、同シリーズ部材の接合仕様に倣う。

ＳＣＳＳ－Ｈ９７鉄骨構造標準接合部　Ｈ型鋼編［ＳＩ単位表示版］　建設省住宅局建築指導課監修／鉄骨構造標準接合部委員会編

訂正	年．月．日	
	．　．	
	．　．	

工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

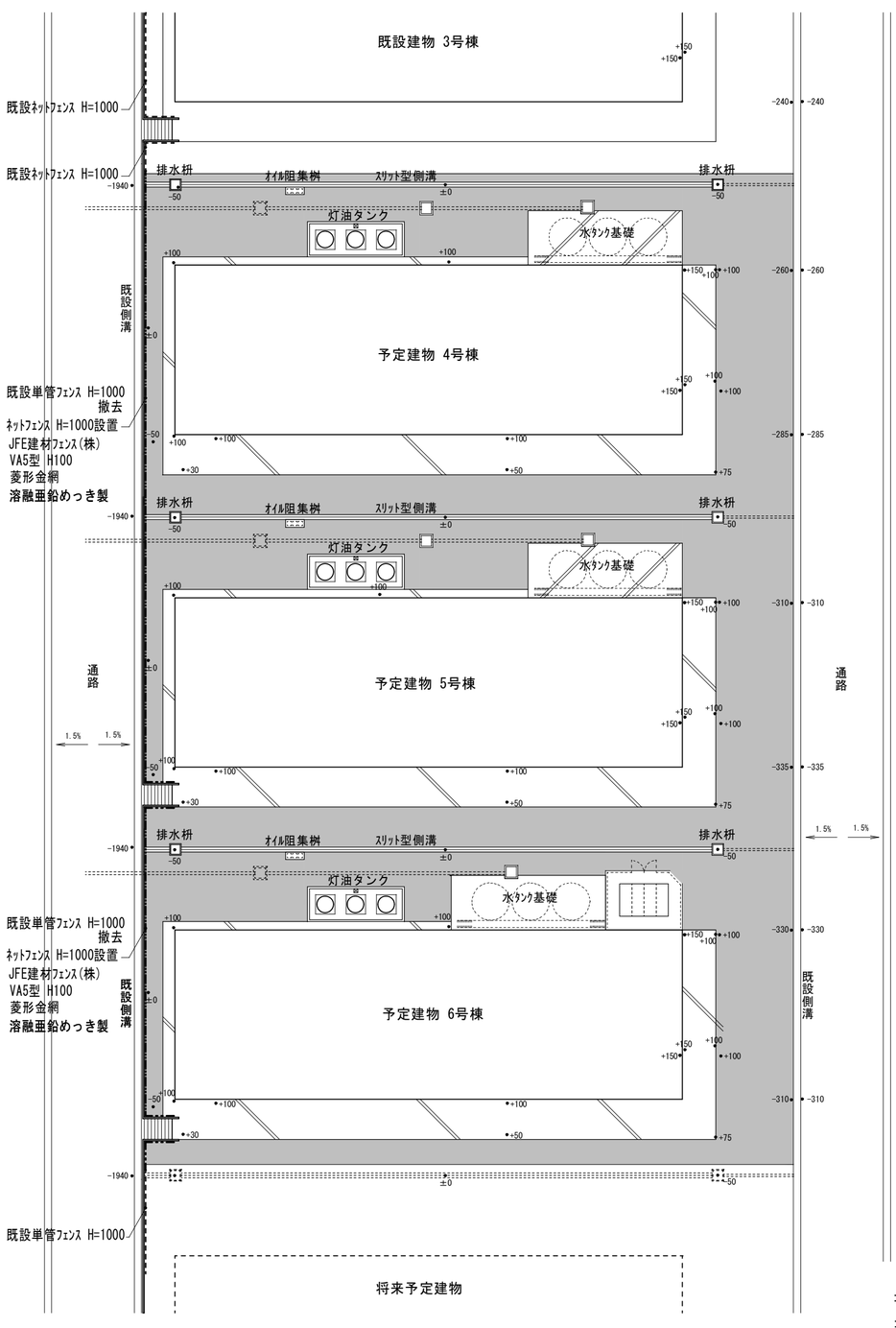
株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦

作製：26年 5月 31日
設計 | 構造 | 製図

図名：継　手　表

縮尺

図面No. 32

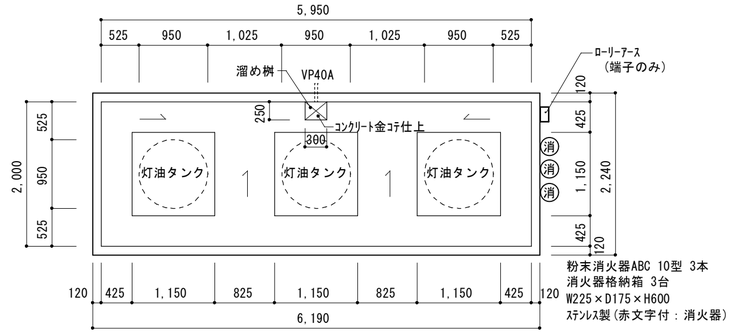


外構平面図　S=1/300

：コンクリート舗装（C-10-10）
コンクリート　t=100F　24N/mm2
溶接金網　6×100×100
再生クラッシャラン　t=100

：アスファルト舗装（A-5-15）勾配調整
密粒度アスコン　t=50
再生クラッシャラン　t=150

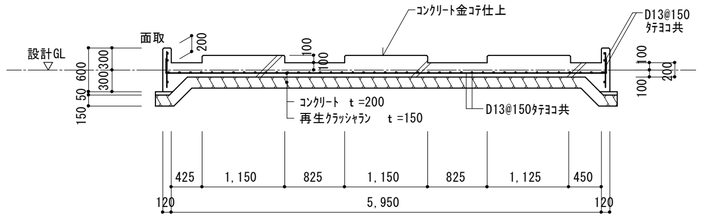
：ｺﾝｸﾘｰﾄ桝600角　ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋



灯油タンク基礎平面図　S=1/60

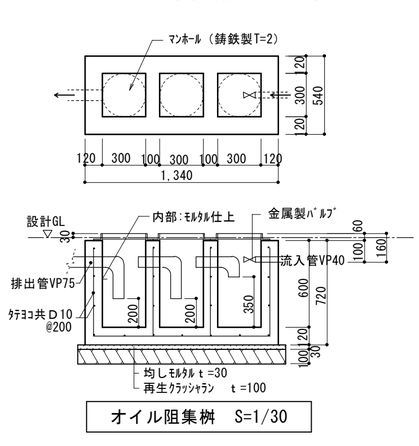
設置位置については打合せにより決定とする

基礎容量計算式
必要容量
0.95×1.1 = 1.045
基礎容量
5.95×2.00×0.20 − 1.15×1.15×0.1×3
= 1.983
∴ 1.983 ＞ 1.045

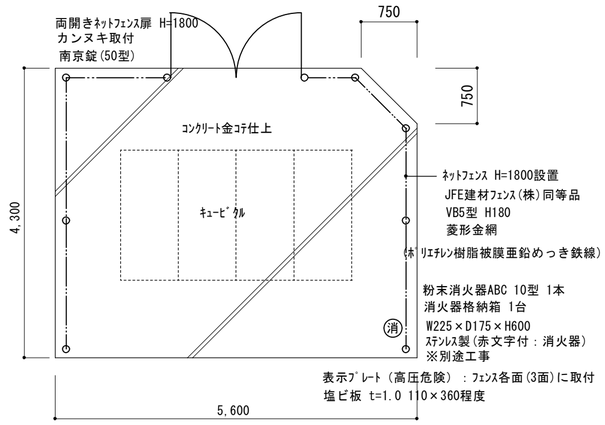


灯油タンク基礎詳細図　S=1/60

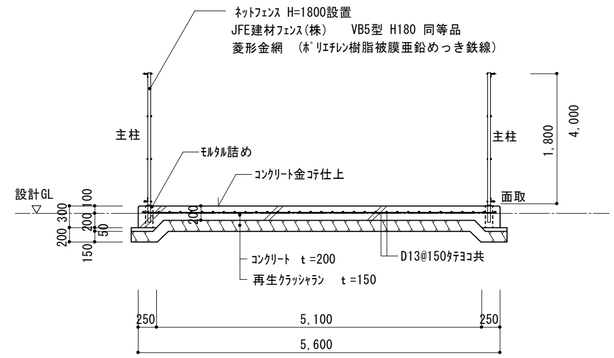
設置位置については打合せにより決定とする



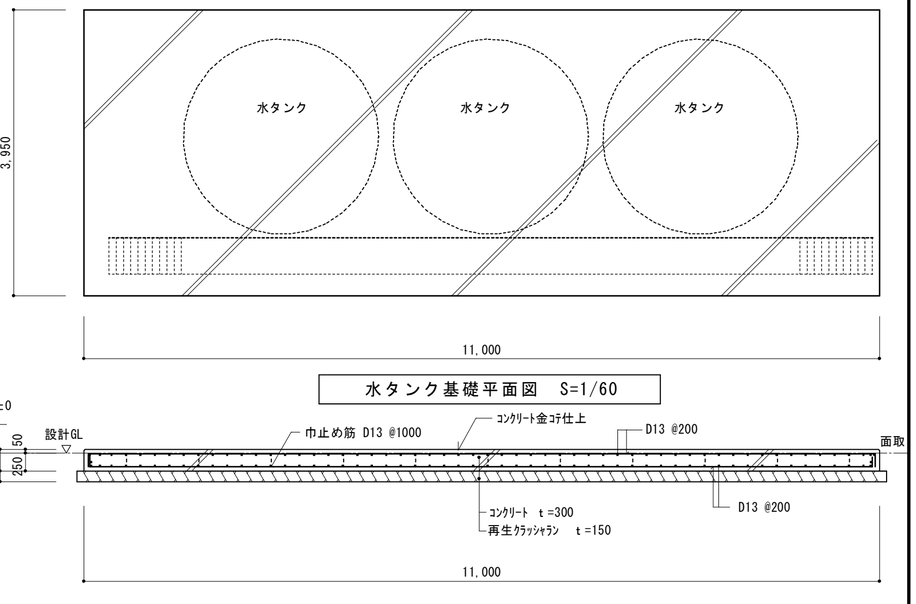
オイル阻集桝　S=1/30



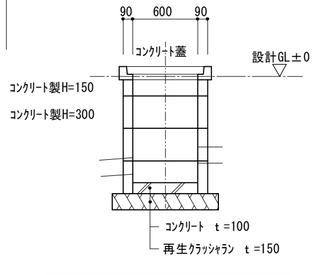
キュービクル基礎平面図　S=1/60



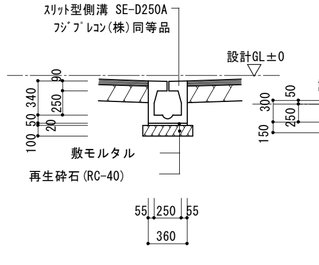
キュービクル基礎断面詳細図　S=1/60



水タンク基礎平面図　S=1/60



排水桝　断面詳細図　S=1/40



ｽﾘｯﾄ型側溝　断面詳細図　S=1/40

水タンク基礎断面詳細図　S=1/60

訂			工事名	株式会社 伊藤設計	作製	図名	縮尺	図面No.
正			平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	26年 5月 31日	外構図	S=1/300 S=1/60 S=1/40 S=1/30	33
				一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦	設計 構造 製図			

電 気 設 備 特 記 仕 様 書

工 事 概 要	
工 事 名 称	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事
工 事 場 所	常滑市新田町１ 丁目地内
構 造 規 模	鉄骨造　　平屋建　　延面積４３６．８０　㎡－３ 棟
工事種目	⊙ 受・ 変電設備　・ 自家発電設備　⊙ 幹線動力設備 ⊙ 電灯コンセント 設備　・ 電話配管、配線設備　⊙ テレビ 共聴設備 ・ 拡声設備　・ 管理カメラ 設備　・ インターホン 設備 ・ 火災報知設備　・ 避雷針設備　⊙ 屋外電気設備 ・ 非常警報設備　・　・

工　事　区　分	建築	電気	機械	別途	備　考
外線工事負担金	・	・	・	⊙	
電波障害調査	・	・	・	・	事前、事後共（　　ポイント）
埋込み器具の開口部切込み	・	・	・	・	
梁壁の貫通工事	・	⊙	・	・	
同上補強工事	⊙	・	・	・	
図示以外の負荷への配線・ 配管	・	・	⊙	・	
波線の盤・ 機器	⊙	・	⊙	・	
受電後、引渡し 迄の基本料金	⊙	・	・	・	
受電後、引渡し 迄の使用電気料金	⊙	・	・	・	
自立盤の基礎	・	⊙	・	・	

共　通　事　項

施工基準
⊙ 本工事は、本特記仕様書、設計図に依る他、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「 電気設備工事共通仕様書」（ 平成22年版）及び「 電気設備工事標準図」（ 平成22年度版）「 日本建築家協会建築設備工事共通仕様書」電気設備技術基準、内線規定、建築基準法、消防法、電気工事士法、等の関係諸法及び規則に準拠し完全に施工するものとする。

工事項目
⊙ 本特記仕様の番号に ⊙ 印のついたものを適用項目とする。

使用材料
⊙ 本工事に使用する諸材料は、JIS、JEM、電気用品取締規則等の適用を受けた品質優良な新品とし、見本品又は承認図をもって監督員の承認を得た後に使用する。

諸手続
⊙ 本工事に関する、関係官公署、電力会社、電信電話会社等への諸手続きは、請負者に於いて代行し、その費用は本工事に含むものとする。

施工図等
⊙ 本工事の施工に際しては、関連業者間にて充分打合せを行うと共に、必要充分な施工図を作成の上、監督員の承認を得た後着手する。
尚、工事に際して技術上、外観上当然必要と思われる工事については、請負金額の範囲内に於いて監督員の指示に従い施工する。

引渡し 等
⊙ 本工事の完成に際しては、監督員の指示する諸試験に合格する事はもとより、関係官公署の諸検査に合格した後にその使用許可を得て引渡すものとする。
引渡しに際しては、試験成績書、検査合格証、機器取扱説明書、同保証書、竣工図、工事写真等の関係書類を速やかに提出すること。

発生材の処置
⊙ 監督員の指示による　　・ 自由処分

工事方法
⊙ 電力及び電話引込線の引止方法、位置については電力会社及び電話会社と打合せの上、監督員の指示に従い施工する。
⊙ 機器を実装しないアウトレットボックスには盲プレートを取り付け、名称を記入する。
⊙ 建築基準法及び消防法で定められた機器の電源回路は赤色文字で表記する。
⊙ フロアボックスのプレートは水平高低調整フランジ付とする。
⊙ 配管工事のみの場合は、パイプ端末に盲キャップを取付け、呼線を挿入する。
⊙ 化粧プレートは、下記による。
・ 新金属　⊙フルカラー　・ モダン　・ ニューコスモ
⊙ 特記なき電線は６００Ｖビニール絶縁電線とする。
⊙ 入線は標準の色分け配線とする。
⊙ 電線相互の接続は、圧着端子又は差し込み型器具を使用する。
⊙ 湿度の多い場所に施工する配管は防湿処置を施す。
⊙ 露出配管の塗装は指定ペンキ塗りとする。
⊙ 防火壁を貫通するケーブルラック等は耐火処理を施すこと。
・ ケーブルラックはアルミ 製を使用し、引下部分は電線管にて保護のこと。

⊙ 受・ 変電設備

電圧	・ 低圧　⊙ 高圧
引込方法	⊙ 架空　・ 地中
引込柱	・ 電力会社より 直接引込　⊙ 本工事にて構内引込柱設置
電気方式	⊙ 高圧　三相３ 線式　６．６ＫＶ ⊙ 動力幹線　三相３ 線式　２１０Ｖ ⊙ 電灯幹線　単相３ 線式　２１０／１０５Ｖ ⊙ 電灯回路　単相２ 線式　⊙ ２００Ｖ　⊙ １００Ｖ
変電設備	・ 屋内解放型　・ 屋内キュービクル型　・ 屋外閉鎖型　⊙ 屋外キュービクル型
耐塩対策	⊙ あり　・ なし ⊙ 端末処理　⊙ 耐塩塗装又は処理　⊙ 樹脂製

・ 自家発電設備

種類	・ 一般型　・ 防音型　・ 低騒音型
電気方式	・ 三相３ 線式　　Ｖ　　Ｈz
機器仕様	・ 設計図によるほか、下記とする。 建築基準法　・ 適用しない　・ 適用する 消防法　・ 適用しない　・ 適用する
その他	・ 原動機、発電機と付属各機器間の燃料油冷却水等の配管、制御用配線はメーカーの責任施工とする。

⊙ 幹線・ 動力設備

配線方式	⊙ 樹脂管　・ 金属ダクト　・ ケーブルラック　・ 金属管　・ ＰＦ管
電線ケーブル	⊙ ＩＶ　・ ＶＶＦ　⊙ ＣＶ　⊙ ＣＶＴ　・ ＣＶＶ
その他	⊙ 幹線配線は樹脂製電線管による露出工事とする。 ⊙ 動力負荷への電源供給配線・ 配管工事は海苔機械業者施工とする。

⊙ 電灯コンセント 設備

配線方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　⊙ ケーブル　・ フロアーダクト　⊙ 樹脂管
電線ケーブル	⊙ ＩＶ　⊙ ＶＶＦ　・ ＣＶ　・ ＣＶＴ　・ ＣＶＶ
蛍光灯器具	⊙ 蛍光灯器具の仕様は原則として下記による。 但し、非常照明器具の力率は下記に依らなくてもよい。 ＦＬ４０Ｗ以上　ラピットスタート式、高力率 ＦＬ２０Ｗ、ＦＣＬ３０Ｗ以下　グロースタート式、低力率
非常照明・ 誘導灯	・ 電源内蔵形　・ 電源別置形
配線器具	・ 埋込連用形　⊙ フルカラー　・ モダン　・ ニューコスモ
床付コンセント	・ アップ式　２Ｐ１５Ａ接地極付

・ 電話配管・ 配線設備

電線方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　・ フロアーダクト　・ 樹脂管　・ ＦＥＰ
ﾛｰﾃｰｼｮﾝ・ｽﾀｯﾄﾞ	・ ボタン形　・ クラゲ形　・ ＯＡフロアー用　・ アップ式
その他	・ 保安器用接地（ １００Ω以下）は本工事とする。 ・ 局線電話新増設移転の手続きは　・ 本工事　・ 別途　とする。
アウトレット	・ ノズルプレート　・ モジュラージャック

⊙ テレビ 共聴設備

配線方式	・ 金属管　⊙ ＰＦ管　・ ケーブル　・ ＦＥＰ
電線ケーブル	・ ５Ｃ－ＦＢ　・ ５Ｃ－２Ｖ
電界強度	・ テレビアンテナ取付予定位置の電界強度の測定、及び画像品位の確認をした上その記録を監督員に速やかに提出する。 ・ 各端子ＴＶユニットにおける電界強度は７０ｄｂ以上とする。
機器仕様	・ 機器は原則としてＢＬ規格適合品とする。 ・ ケーブルは低損失型同軸ケーブルとする。
アンテナ	・ ＵＨＦ　ＥＬ　・ ＶＨＦ　ＥＬ　・ ＦＭ　ＥＬ　・ ＢＳ　　Φ
アンテナマスト	・ 自立型　・ 側壁型　・ ＣＡＴＶ引込

・ 拡声設備

配線方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　・ ケーブル　・ 樹脂製
電線ケーブル	・ ＡＥ　・ ＨＰ　・ ＩＶ　・ ５Ｃ－ＦＶ　・ ５Ｃ－２Ｖ
機器仕様	・ 一般放送用　・ 非常放送用　・ 一般・ 非常兼用型
接地	・ 増幅器その他機器には、接地工事を行う。

・ 管理カメラ 設備

配線方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　・ ケーブル
電線ケーブル	・ ＡＥ　・ ＨＰ　・ ＩＶ　・ ５Ｃ－ＦＶ　・ ５Ｃ－２Ｖ
機器仕様	モニター　・　カラー　・　白黒　インチ カメラ　・　固定式　・　電動回転式 付属機器　・　分割ユニット

・ インターホン 設備

配線方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　・ ケーブル
電線ケーブル	・ ＡＥ　・ ＨＰ　・ ＩＶ
電気方式	・ 単相２ 線式　１００Ｖ　整流　ＤＣ１２Ｖ　・ 乾電池　Ｖ
設備系統	・ 親子式　・ 相互式
機　能	・ 非常放送　・ ガス漏れ警報　・ 火災警報　・ オートロック　・ ＴＶモニター

・ 火災報知設備

配管方式	・ 金属管　・ ＰＦ管　⊙ ケーブル　⊙ 樹脂製
電線ケーブル	・ ＡＥ　・ ＨＰ　・ ＩＶ
機器仕様	・ 機器は、消防局の認定品を使用する。 ・ 警戒区域表示プレートは、アクリル版エッチング仕上とする。
防火戸等自閉装置	・ 含む　・ 含まない

・ 避雷針設備

施工	・ ＪＩＳＡ４２１０による。
導線敷設方式	・ 引下げ導線　・ 鉄骨又は鉄筋による簡略式
抵抗値	・ 接地極板のみにて規定の抵抗値が得られない場合は、補助接地を行い規定の抵抗値を得るように施工する。
突針	・ 大型　・ 中型　・ クロームメッキ　・ 金メッキ

⊙ 屋外電気設備

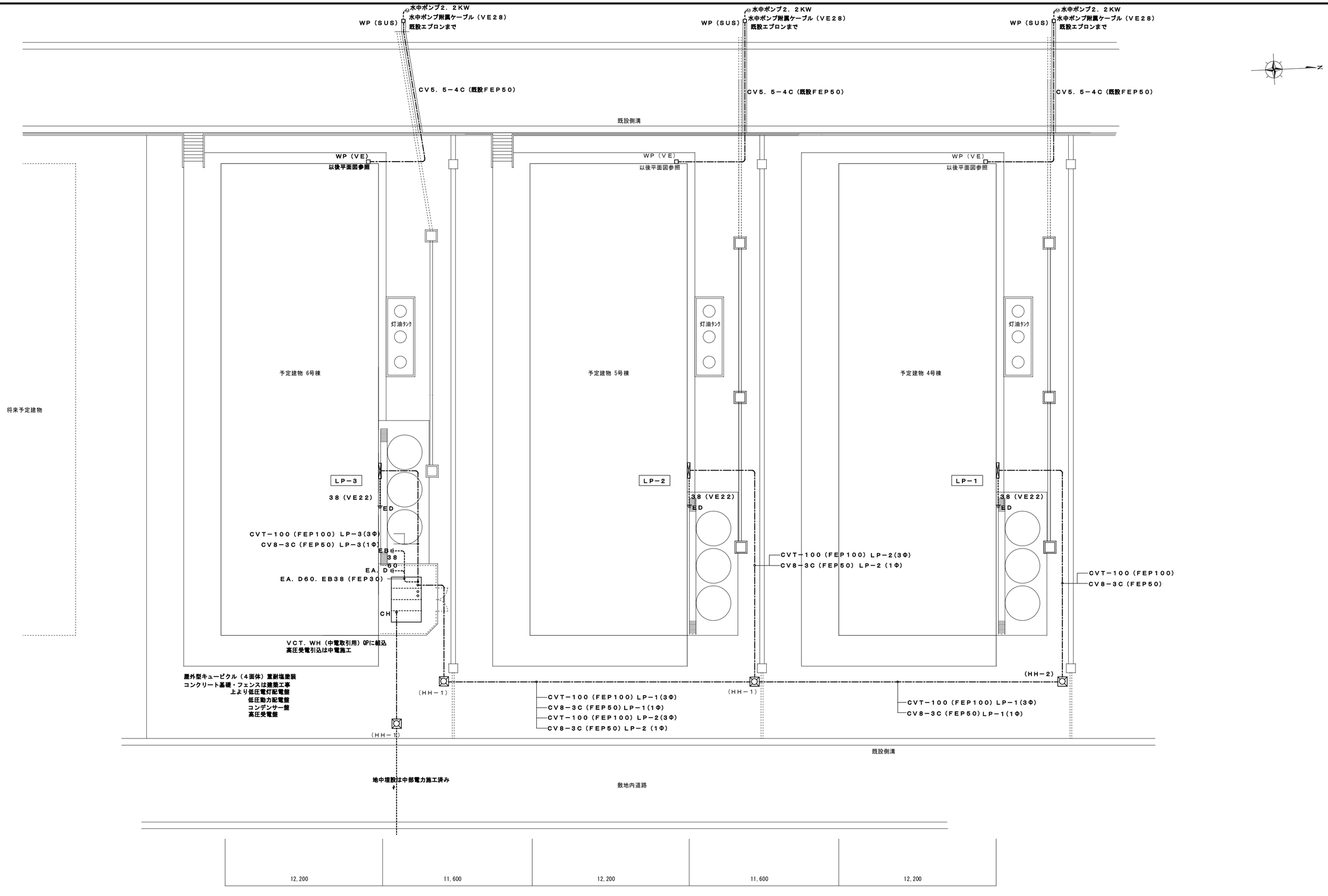
工事種目	・ 外灯　⊙ 屋外幹線　・ 屋外弱電
ケーブル保護管	・ コンクリートトラフ　・ ヒューム管　・ 耐衝撃ビニール管　⊙ ＦＥＰ
電線ケーブル	・ ＡＥ　・ ＨＰ　⊙ ＣＶ　・ ＣＶＴ　・ ＣＶＶ
ハンドホール	⊙ 耐重型　・ 耐水型　・ 化粧蓋 ・ 一体型桝　⊙ 積上式　・ 現場打

メ ー カ ー リ ス ト　　但し、下記メーカー同等品使用可能とする。

電線管類	松下・ 東芝・ 日本パイプ・ 丸一	ﾃﾚﾋﾞ共聴機器	愛知電子・ ホーチキ・ マスプロ
電線類	藤倉・ 古川・ 住友・ 日立・ 昭和	インターホン	アイホン・ パナソニック・ 東芝
キュービクル	中立・ 別川・ 日東・ 新愛知	火災報知器	ノーミ・ ホーチキ・ ニッタン
変圧器	三菱・ 富士電機・ ダイヘン・ 日立	放送機器	ＴＯＡ・ 松下・ ユニペックス
分電盤類	中立・ 別川・ パナソニック・ 日東	管理カメラ	パナソニック・ ＴＯＡ・ ＳＯＮＹ
配線器具	パナソニック・ 神保・ 東芝		
照明器具	パナソニック・ 東芝・ 三菱		
発電機	三菱・ 日本車輌・ ヤンマー・ 明電舎		

訂	・ ・		工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	作製	26年 5月 31日	図名	電気設備工事特記仕様書	縮尺	図面No. 34
正	・ ・				設計	構造 製図				
	・ ・									
	・ ・									

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊 藤 明 彦

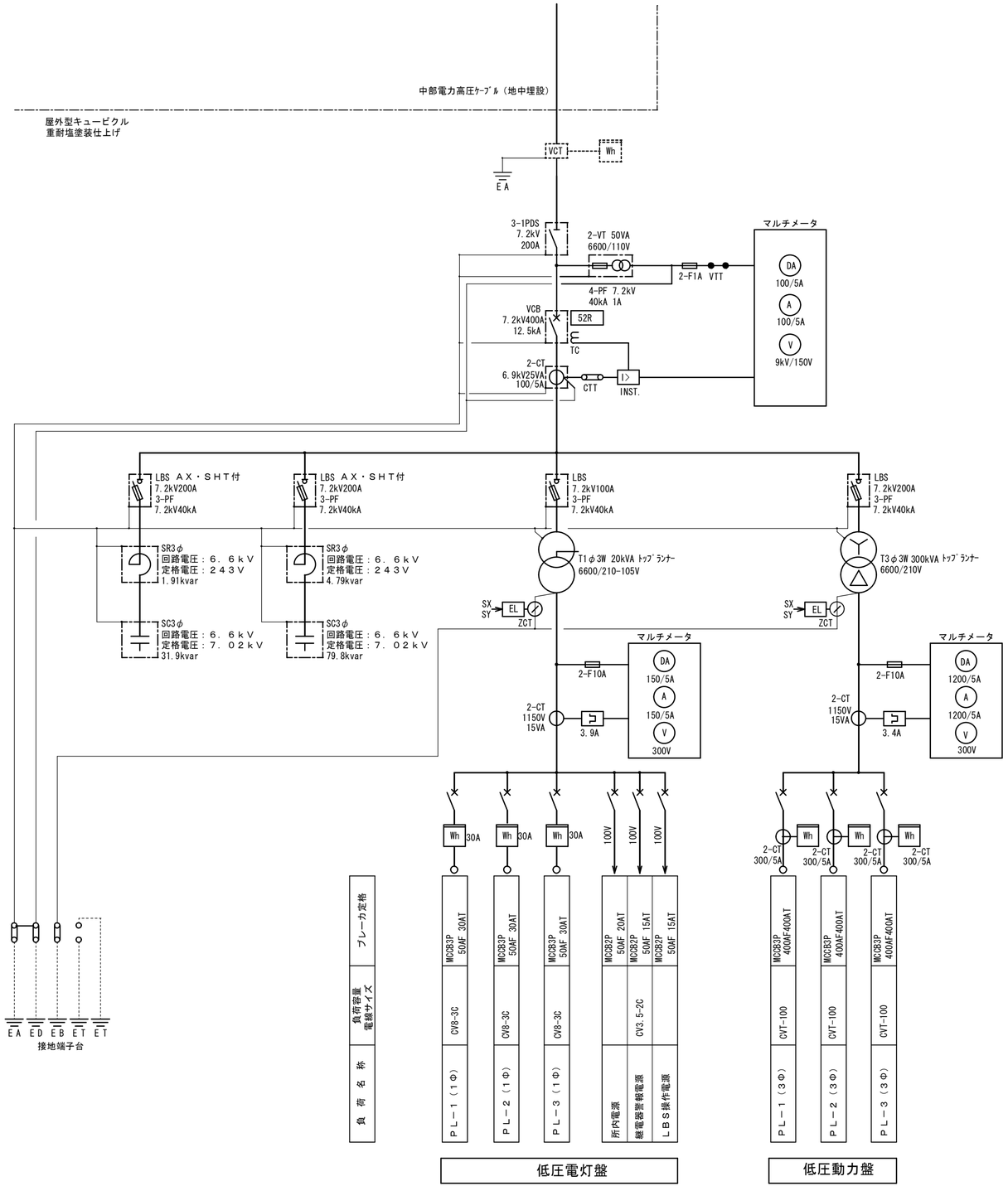


配　置　図　　1：200

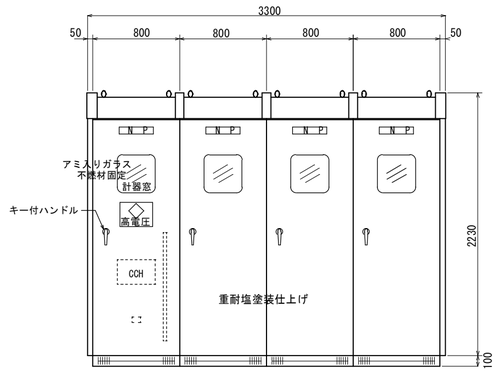
（HH－1）既製枡積上型ハンドホール　900×900×750　MHA600Φ「電気」文字入り鋳鉄蓋付
（HH－2）既製枡積上型ハンドホール　600×600×750　MHA600Φ「電気」文字入り鋳鉄蓋付

訂正			工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
	．．		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	屋外電気設備図	1:200	35
	．．			設計 / 構造 / 製図			
	．．						
	．．						

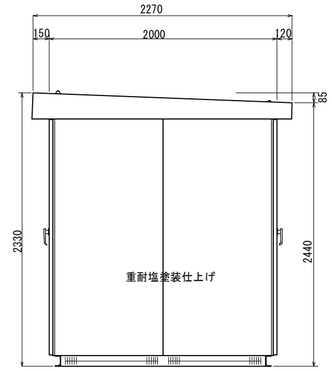
株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦



高圧受電設備単線結線図



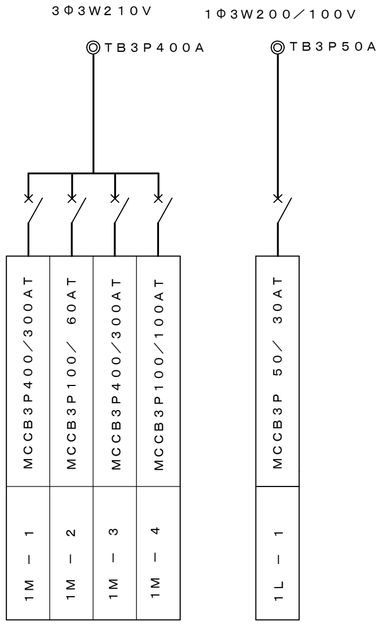
高圧受電盤　　コンデンサー盤　　低圧動力配電盤　低圧電灯配電盤



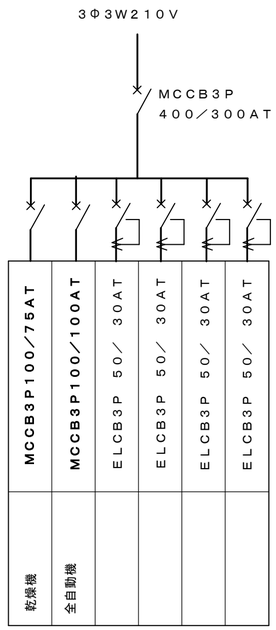
屋外型キュービクル姿図　　１：４０

訂正	．． ．． ．． ．．		工事名 平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 高圧受電設備単線結線図 屋外型キュービクル姿図	縮尺 1:40	図面No. 36

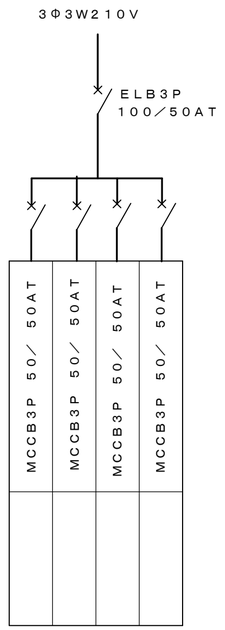
LP － 1	屋外防雨壁掛型 ステンレス製指定色焼付仕上げ
LP － 2	
LP － 3	



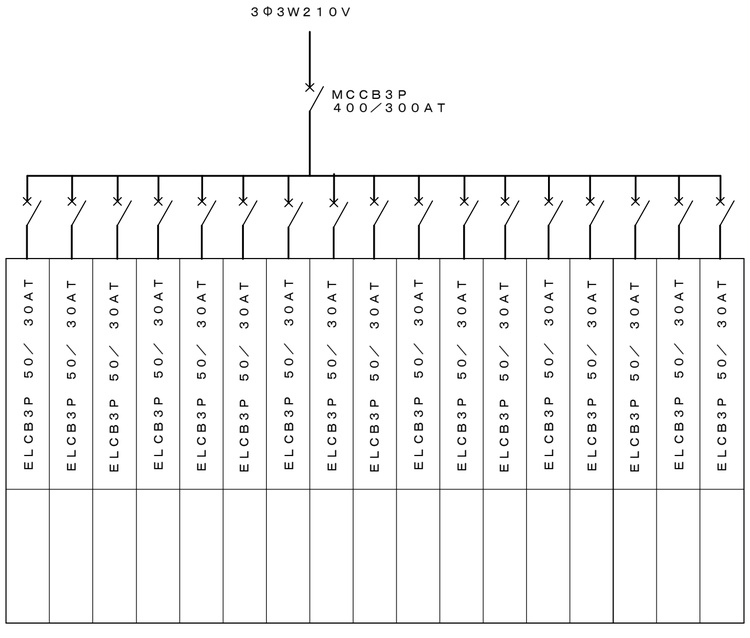
1M － 1	屋内壁掛型 樹脂製ボックス



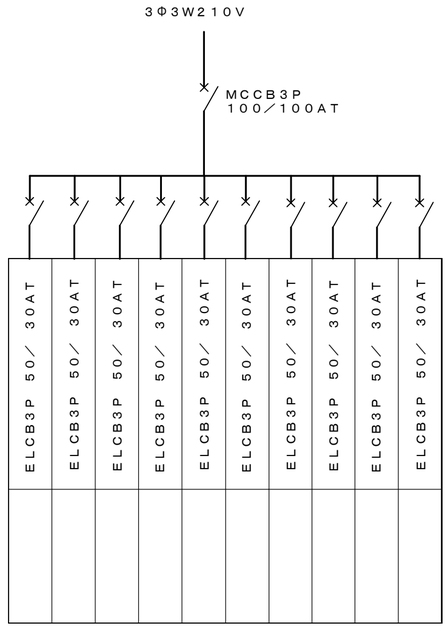
1M － 2	屋内壁掛型 樹脂製ボックス



1M － 3	屋内壁掛型 樹脂製ボックス



1M － 4	屋内壁掛型 樹脂製ボックス



A１	LDL40×2（WP）SUS製

省エネ出力初期照度補正型
本体：ステンレス
反射板：ステンレス（クリア塗装）
光源寿命４００００時間

パナソニック　NNFW42021　相当品

B１	LDL40×1

省エネ出力初期照度補正型
本体：溶融亜鉛メッキ鋼板
反射板：鋼板製（高反射白色塗装）
光源寿命４００００時間

パナソニック　NNFW41021　相当品

C１	LDL40×2（WP）SUS製
C２	LDL40×2

省エネ出力初期照度補正型
C１＝本体：ステンレス（クリア塗装）
C１＝反射笠：ステンレス（クリア塗装）
C２＝本体：溶融亜鉛メッキ鋼板
C２＝反射板：鋼板製（高反射白色塗装）
光源寿命４００００時間

パナソニック　NNFW42221　相当品

D１	LDL40×1（WP）SUS製

省エネ出力初期照度補正型
本体：ステンレス（クリア塗装）
反射笠：ステンレス（クリア塗装）
光源寿命４００００時間

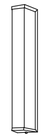
パナソニック　NNFW41221　相当品

E１	LED9．2W

セード：ガラス（つや消し）
（ホワイト仕上）
光源寿命４００００時間

パナソニック　LGB58013　相当品

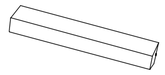
F１	LDL20×1（WP）



省エネ出力初期照度補正型
壁面（縦向き・横向き）・天井面取付兼用
本体：ステンレス
反射板：ステンレス（クリア塗装）
光源寿命４００００時間

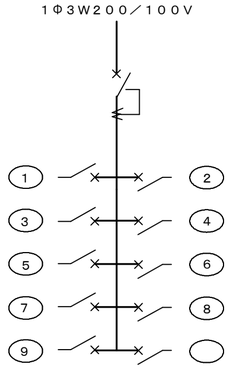
パナソニック　NNFW21885　相当品

G１	LDL20×1（WP）



省エネ出力初期照度補正型
壁面（縦向き・横向き）取付専用
カバー：クリーンアクリル（乳白）
光源寿命４００００時間

パナソニック　NNFW21825　相当品



1L － 1	屋内壁掛型 樹脂製ホーム盤

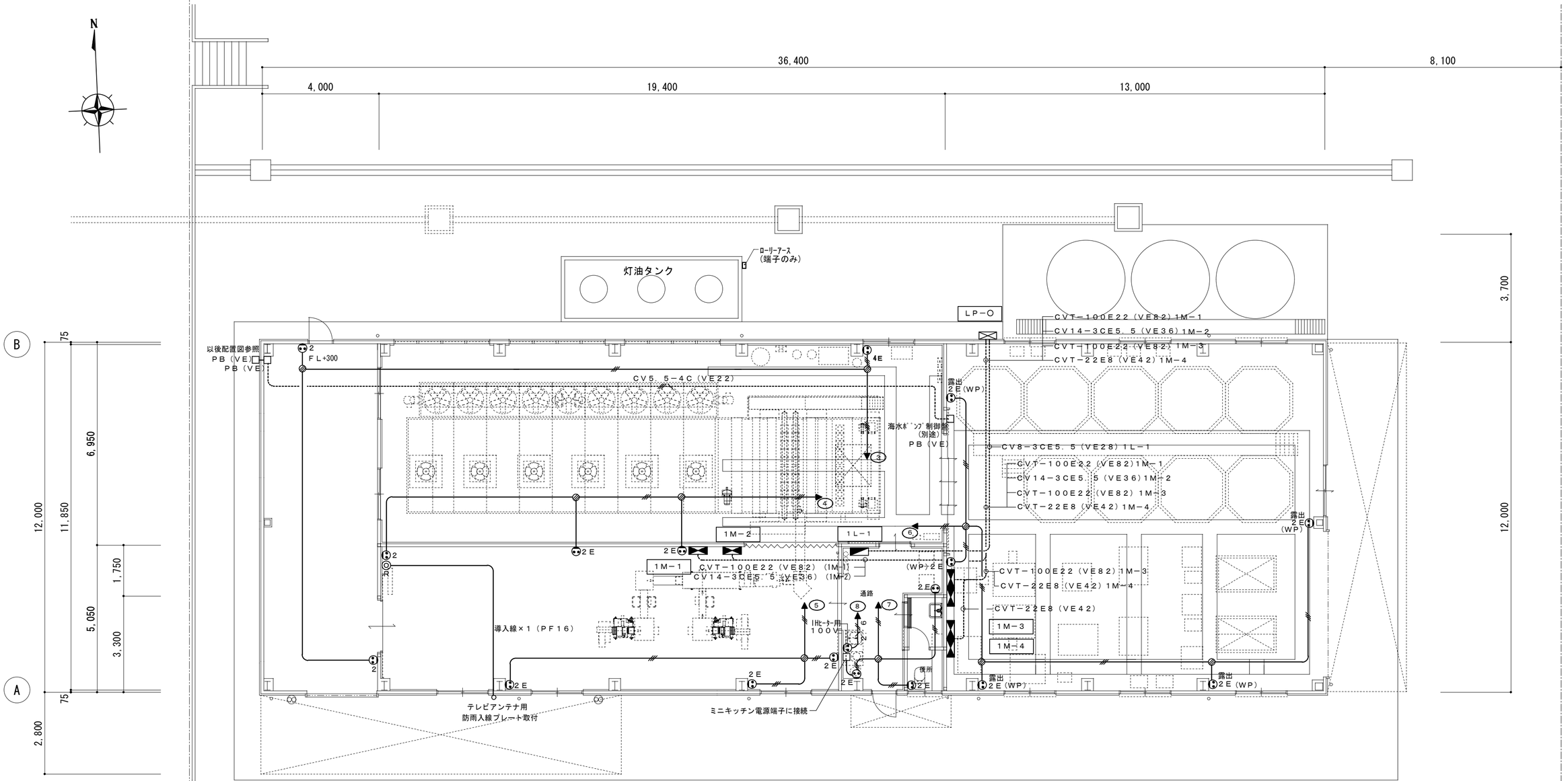
区分	容量	数量
MS	ELCB3P 50／ 30AT	1
BS	MCCB2P 30／ 20AT	9
	予備スペース	1

訂正		
	．．	
	．．	
	．．	

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤明彦

作製	26年 5月 31日		図名	縮尺	図面No.
設計	構造	製図	盤類結線図・照明器具姿図		37



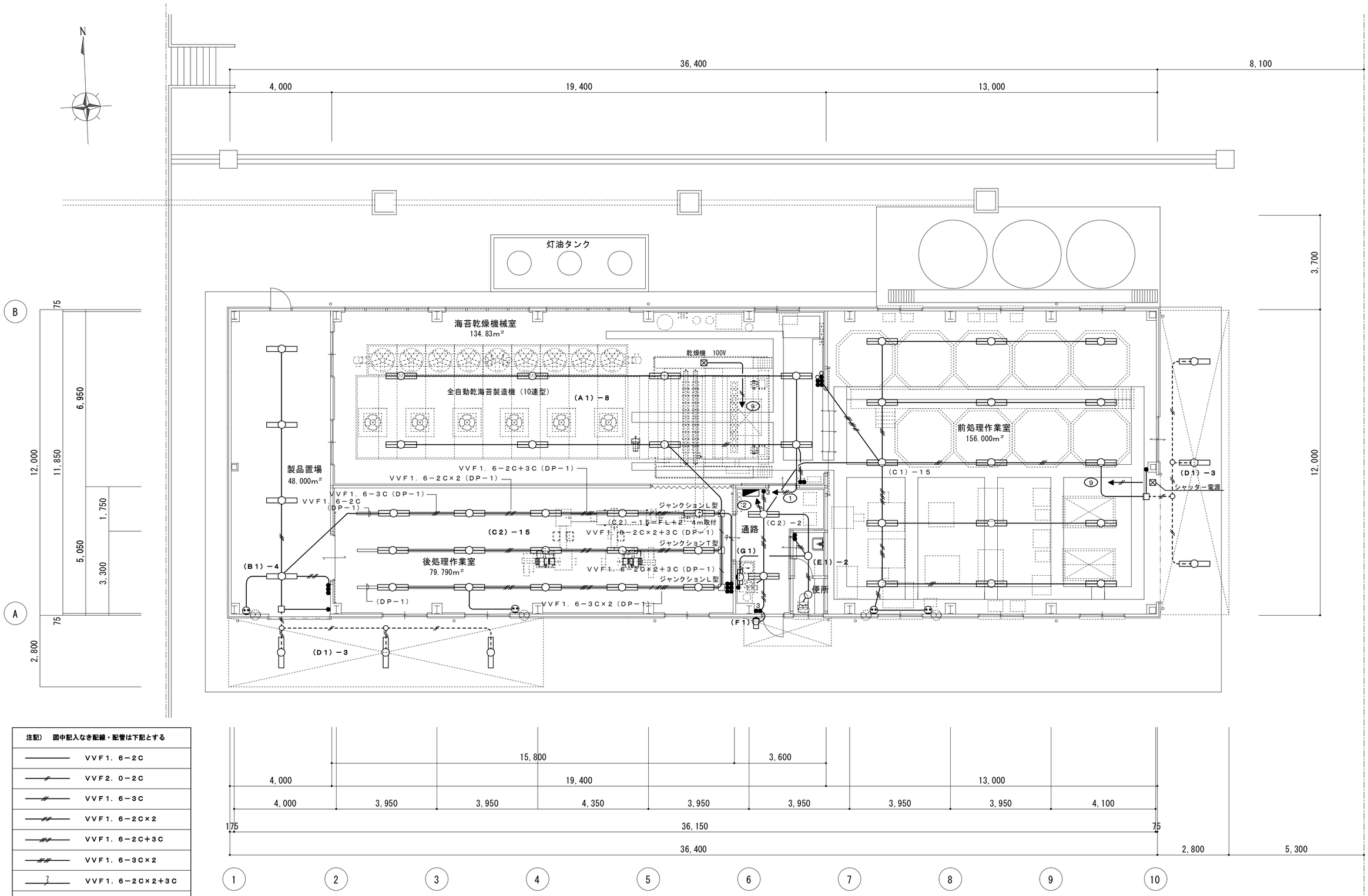
注記）　図中記入なき配線・配管は下記とする	
———	ＶＶＦ２．０－２Ｃ
——//——	ＶＶＦ２．０－３Ｃ
——2 6——	ＶＶＦ２．６－３Ｃ
コンセントへの引下は樹脂製電線管にて保護のこと。	
コンセント取付高さは現場打合せにて決定とする。	

１Ｍ－１．１Ｍ－２間に機械配線用としてステンレス製ケーブルラック巾３００長さ３メートルを見込むこと。

１Ｍ－３．１Ｍ－４間に機械配線用としてステンレス製ケーブルラック巾４００長さ３メートルを見込むこと。

平　面　図　　１：１００

訂正			工事名	設計事務所	作製	図名	縮尺	図面No.
	．．		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	26年 5月 31日	幹線及コンセント設備図	1:100	38
	．．			一級建築士(第65584号) 伊藤 明彦	設計 / 構造 / 製図			
	．．							
	．．							



注記） 図中記入なき配線・配管は下記とする	
———	VVF1.6－2C
——//——	VVF2.0－2C
——///——	VVF1.6－3C
——////——	VVF1.6－2C×2
——/////——	VVF1.6－2C＋3C
——//////——	VVF1.6－3C×2
——7——	VVF1.6－2C×2＋3C
----//----	1.6×2（VE16）露出

引下は樹脂製電線管にて保護のこと。

平 面 図　1：100

訂	. .	
正	. .	
	. .	

工 事 名
平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊 藤 明 彦

作製 26年 5月 31日
設計 | 構造 | 製図

図 名
電 灯 設 備 図

縮 尺
S=1/100

図面No.
39

特　記　仕　様　書

工　事　名　称	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事
工　事　場　所	常滑市新田町１丁目地内

一　般　事　項

１．本工事は設計図及び本特記仕様書に準拠し施工するほか、関係官公庁の取り締まり規則等に適合するように完全に施工すること。
２．特記仕様書、図面に明記なきものでも、技術上、施工上、当然必要と認められるものは、請負者の負担にてその機能を完全なものにすること。
３．施工に先立ち、他の関係業者と綿密に協議の上、施工図、承認図、製作図及び使用資材報告書等を作成し、監督員の承認を受ける。
４．工事に関する官公庁等の申請手続きは速やかに行い、要する費用は請負者の負担とする。
５．工事完成の上は、請負者にて充分検査した後、監督員の完成検査を受ける。
６．工事引渡には、関係官公庁の許可証及び機器試験データー、完成図、竣工図、取扱説明書等を提出する。
７．本工事にて設置する機器の仕様で、各メーカーによる多少の変更は、監督員の承認を受けて行う事ができる。
但し、変更によって他の設備工事等に及ぶ変更は、全て本工事請負者にて負担処理するものとする。
８．本特記仕様書及び本設計図に記載する事項の他は下記に準ずる。
①国土交通省大臣官房官庁営繕部　機械設備工事共通仕様書　（最新版）
②国土交通省大臣官房官庁営繕部　機械設備工事標準図　（最新版）

同等品の指定等

今回設計図中記入製品名については、同等品扱いとし、その他同等品を使用する場合については、事前に資料を提出のうえ監督員の承諾を受ける。

災　害　・　公　害

工事施工は、災害及び危険防止の為、関係法規の定めるところに従い充分な策を講じ施工する。
他に損害を与えた場合の補修・補償は施工者の負担とする。
また工事中に発生した公害及び近隣よりの苦情に対しては施工者の責任において解決すること。

工　事　写　真

工事写真は、工事完成後速やかに着工前・工事中・工事完成時の写真をフリーアルバム［Ａ４版］に貼り、簡単な説明と撮影年月日及び表紙に工事名等を記入して２部監督員に提出する。なお工事中の写真については、各場所及び各工事工程が確認できるように撮影する。

施工図・竣工図

竣工図・施工図・完成図等は監督員の指示に従い、指定する期日までに監督員に提出する。
工事施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
施工図作成前に１／５０の建築平面図及び展開図・天井伏図に、機械・電気・その他関連工事（想定備品を含める）の位置高さ・その他係員が指示するものを書き入れた総合図（プロット図）を作成し、一般施工図に先立って係員の承諾を得なければならない。

材　料　試　験

本工事に使用する材料の内、係員により指示のあるものは、そのその成績表を提出し、又は、係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に関する諸費用は、すべて請負者の負担とする。

定例打合会議

工事の円滑な進行を計る為、工事期間中係員の指示により定期的に定例打合会議を行い、請負者はその議事録を作成し係員の承認を得るものとする。

配　管　支　持

コンクリート土間下に埋設する配管は、沈下防止の措置を講ずるものとする。
屋外および屋内の支持金物等はステンレス製とする。

残　土　処　理

構外搬出適切処理

埋め戻し土・盛土

根切り土の中の良質土（ただし排水管は下端のみ山砂）

発生材の処理

今回工事で処理をする
引き渡しを要するもの以外は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱等の関係法令に従い適切に処理すること。
ＰＣＢ仕様機器は、関係法令等に従い処理すること。

特　記　事　項

（１）上下水道材料は自治体の指定のある場合はそれを使用する。
（２）図面に明記なくても管埋設部分には埋設標示杭を主要な箇所に設置する。（埋設表示ピン又は埋設表示杭）
（３）空調用室外機、給湯器、ブロアー、タンク等屋外設置の各種機器については、特記なき限りコンクリート基礎の設置まで本工事とする。尚コンクリート基礎はコンクリート打金コテ仕上厚１００㎜、砕石厚１００㎜敷込程度とする。
（４）ガス機器使用の場合は、それぞれ部屋毎にガス漏れ警報機を設置のこと。
（５）１階土間下配管部分は、土間スラブ鉄筋より支持すること。（支持金物はステンレス製）
（６）試運転調整に必要な、電気、水道、ガス料金も本工事とする。
（７）設計図書の内容に相違のある場合、又は明記の無い場合、あるいは疑義を感じた場合は、入札前に必ず文書をもって指示を求めるものとし、契約締結後において発見されたものは全て請負者の責任において係員の指示により施工する。
工事上必要欠く事のできないもので、明らかに記載もれとみられるものは、すべて前項に準じ係員の指示により施工する。
（８）設計変更は見積書を提出し承認を得てから着工する。その場合の見積単価は原則として、本工事契約による見積単価とする。
（９）軽微な誤差及び変更、又は図面等に記載のない部分で技術的に必要が生じた場合は、係員の指示に従って施工する。
（10）工事に使用する材料は、すべて見本品を提出し、係員の承認を受けて使用する。保温に関しては、各仕様ごとに約50ｃｍ位の見本を提出。

工　事　項　目

１）給水設備工事　２）給湯設備工事　３）排水設備工事
４）衛生器具設備工事　５）海水設備工事　６）換気設備工事

工　事　概　要

１）給水設備工事
直圧にて所定箇所に給水する。
弁類は、錆びにくい規格品（直圧部）とする。
常滑市上水道規定に依る。

２）給湯設備工事
図示位置に、灯油給湯器（別途）から、所定箇所へ給湯する。

３）排水設備工事
排水系統は、屋内合流式、屋外分流式とし、汚水・雑排水は所定場所へ接続する。　雨水は単独にて排水管へ接続する。
流し台等の接続は実管接続とする。原則として、ジャバラホース接続は不可とする。
但し、監督員がジャバラホースの使用を認めた場合はこの限りではない。
ジャバラホースを使用する場合は、排水管を底板より10ｃｍ程度立上げ、防臭キャップ等を取付ける。
常滑市下水道規定に依る。

４）衛生器具設備工事
図示位置に、器具表に従って堅固に付ける。（取付け下地、補強共本工事）
正確な取付位置、陶器色等は係員の指示による。（色見本提出のこと）

５）海水設備工事
図示位置の海水を引き込む配管工事を行う。ポンプ機器は据付け共別途工事とする。

６）換気設備工事
図示位置に、換気扇等を堅固に取付ける。
機器の据付には、防振金具を使用のこと。
換気ﾀﾞｸﾄの断熱は全ての給気ダクトおよび一般天井扉の外壁より1m以内の排気ﾀﾞｸﾄは断熱工事を施す。
換気ﾀﾞｸﾄの断熱は空調換気扇の室外側ダクトおよび室内側給気ダクトのみ断熱工事を施す。
給気ダクト・排気ダクト共外壁に向かって下がり勾配とする。

訂正	．． ．． ．． ．．		工事名：平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製：26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名：給排水衛生換気設備工事 特記仕様書－１	縮尺	図面No. 40

防露塗装工事

保温被覆仕様、保温塗装工事は下記による。

	屋内隠蔽	屋内露出	屋外露出	パイプシャフト
給水管		K		
給湯管	ロ ＋ A	ロ＋Ｉ＋Ｅ	ロ ＋ B	ロ ＋ A
排水管		E	F	
通気管		E	F	
雨水管		E	F	
冷媒管		ロ＋Ｉ＋Ｅ	D	
ドレン管		E	F	
空調ダクト	ニ ＋ H			
換気ダクト	ニ ＋ G	E		

保温材

イ.ロックウール保温筒　ロ.グラスウール保温筒　ハ.ポリスチレンフォーム保温筒

ニ.グラスウール保温材

外装仕上げ

A.アルミガラスクロス　B. ステンレス鋼板　C. カラー鉄鋼板

D. 化粧カバー　E. ＯＰ塗り（２回）　F. ＭＰ塗り（２回）

G. ﾛｯｸｳｰﾙ化粧保温板　H. ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温帯　Ｉ. 綿布巻

Ｊ. 遮音シート巻き　K. ライトカバー

メーカーリスト

ライニング鋼管	日本水道協会規格（ＪＷＷＡ規格）・日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
塩ビ管	日本水道協会規格（ＪＷＷＡ規格）・日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
鋼管	日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
銅管	日本水道協会規格（ＪＷＷＡ規格）認定品		
冷媒管	空気調和 衛生工学会規格（ＨＡＳＳ規格）認定品		
ステンレス鋼管	日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
弁類	日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
保温材	日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
亜鉛鉄板	日本工業規格（ＪＩＳ規格）認定品		
衛生器具	（株）ＬＩＸＩＬ	東陶機器（株）	
電気温水器	三菱電機（株）	（株）ＬＩＸＩＬ	東陶機器（株）
ガス給湯器	（株）ノーリツ	高木産業（株）	リンナイ（株）
ジェットタオル	三菱電機（株）		
空調機（電気式）	ダイキン工業（株）	三菱電機（株）	（株）東芝
全熱交換器	ダイキン工業（株）	三菱電機（株）	松下エコシステムズ（株）
換気扇	松下エコシステムズ（株）	三菱電機（株）	（株）東芝
排水金具類	㈱オオタケファンドリー	中部工機（株）	南濃鋳工（株）

同等品以上

工事範囲

（ ○ 印を適用する）

項目	機械	建築	電気	空調	別途
給水引込工事（工事費・加入金共）	○				
２次側電気工事（空調室内外機連絡線・リモコン線）				○	
雨水処理（ＧＬ以降）	○				
器具類取付下地（補強・切込み）	○				
流し台類（ガス台・吊戸棚・水切棚）		○			
給湯器用リモコン空配管			○		
給湯器用リモコン取付・入線	○				
空調室外機基礎	○				
天井開口の墨出し	○				
天井開口の穴あけ、開口補強	○				
鉄骨部の貫通、スリーブ・開口及び補強		○			
配管ダクト類の防水貫通部の補修		○			
外壁の給排気ガラリ（ダクト接合枠含）		○			
同上用接続ダクト、チャンバー、水抜き穴	○				
同上用接続用アングル、防虫ネット		○			
本設後引渡しまでの電力使用料金	○				
本設後引渡しまでの上水使用料金	○				
本設後引渡しまでの下水使用料金	○				
本設後引渡しまでのガス使用料金	○				
一般間仕切壁開口の墨出し	○				
一般間仕切壁開口の穴あけ、開口補強	○				
鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口・箱入れの墨出し	○				
鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口・箱入れ	○				
鉄筋コンクリート部（梁・床・壁）スリーブ・開口の鉄筋補強		○			

訂正	．． ．． ．． ．．		工事名	平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	株式会社 伊藤設計 愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	一級建築士(第65584号) 伊藤明彦	作製 26年 5月 31日 設計 / 構造 / 製図	図名 給排水衛生換気設備工事 特記仕様書－２	縮尺	図面No. 41

配　置　図

＋5.50を設計ＧＬとする

凡例

：今回（平成26年度）設置建物

：平成27年度以降　設置建物予定

：既設建物

将来工事

既設排水管HP400A

既設排水桝に接続（はつり、補修共）

キャップ取付(250A)

既設排水管HP400A

今回建物工事範囲

６号棟

５号棟

４号棟

３号棟

２号棟

１号棟

224,600

47,000

36,600

8,000

7,000

2,400

6.00

7,000

1.00

10,400	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	12,200	11,600	

訂正	. .		
	. .		
	. .		
	. .		

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤明彦

作製	26年 5月 31日		
設計	構造	製図	

図名　給排水衛生換気設備工事　配置図

縮尺　S=1/500

図面No.　42

器具表

名称	参考品番	附属品	計
洋風便器	BC-Z10SU	DT-Z180U　CF-18ALJ　CF-AA22H	1
多目的流し	S-21S	LF-7R-13　SF-21PAM　SF-10E　LF-6L	1
横水栓	LF-15G-13-CV		2
ミニキッチン	建築工事	接続は本工事　　排水管の接続は実管接続とする	1
汚水貯留槽	BT-1000R	縦型便槽950L(塩ﾋﾞ製)　蓋…MHB350(ﾎﾞﾙﾄﾛｯｸ式)	1

機器表

記号	名称	仕様	数量	参考品番
F－1	有圧換気扇	低騒音オールステンレスタイプ　30ｃｍ	4	EF-30BSXB3
		1980m³/h × 70W × 1φ 100V		（三菱）
		屋外フード(深形SUS製・防鳥網付)・取付枠・風圧式シャッター		
F－2	天井扇	低騒音タイプ（プラスチックボディ）	1	VD-10ZC9
		95m³/h × 0Pa × 9.3W × 1φ 100V		（三菱）
		深形フード(SUS製・防虫網付)		
F－3	天井扇	ミニキッチン工事　　接続は本工事	1	
		深形フード(SUS製・防虫網付)		

凡例

記号	名称	仕様	備考
――――-――――	給水管	耐衝撃性塩ビ管　ＪＷＷＡ　Ｋ１１６	ＨＩ－ＶＰ
――――ｌ――――	給湯管	架橋ポリエチレン管＋さや管	
――――――	排水管	硬質塩化ビニル管　ＪＩＳ　Ｋ　６７４１	ＶＰ
――――――	換気ダクト	スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	
○	汚水桝	塩ビ製小口径桝（汚水桝）　鋳鉄製蓋	桝ﾘｽﾄ参照
◎	雨水桝	塩ビ製小口径桝（雨水桝）　鋳鉄製蓋ー部塩ビ製蓋	桝ﾘｽﾄ参照
⊕	雨水桝	塩ビ製小口径桝（雨水桝）　塩ビ製格子蓋	桝ﾘｽﾄ参照

桝リスト

桝深さは参考とする

ＮＯ	名称	管路	マス径	形状	GLよりの地盤高	GLよりの管底	桝の深さ(H)	備考
Ⓐ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	90°Ｌ	±0	-400	400	鋳鉄蓋 (T-2)
Ⓑ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-450	450	鋳鉄蓋 (T-2)
Ⓒ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-480	480	鋳鉄蓋 (T-2)
Ⓓ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-530	-530	鋳鉄蓋 (T-2)
Ⓔ	建築工事				±0	-550	550	
Ⓕ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	ストレート	±0	-650	650	鋳鉄蓋 (T-2)
Ⓖ	塩ビ小口径桝(汚水桝)	100Φ	200Φ	ストレート	±0	-750	750	鋳鉄蓋 (T-2)
①	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-450	450	鋳鉄蓋 (T-2)
②	塩ビ小口径桝(雨水桝)	125Φ	200Φ	１本合流	±0	-530	530	鋳鉄蓋 (T-2)
③	塩ビ小口径桝(雨水桝)	125Φ	200Φ	１本合流	±0	-630	630	鋳鉄蓋 (T-2)
④	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-400	400	鋳鉄蓋 (T-2)
⑤	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-480	480	鋳鉄蓋 (T-2)
⑥	塩ビ小口径桝(雨水桝)	125Φ	200Φ	１本合流	±0	-520	520	鋳鉄蓋 (T-2)
⑦	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	90°Ｌ	±0	-400	400	塩ビ蓋
⑧	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-550	550	塩ビ蓋
⑨	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	起点	±0	-400	400	塩ビ蓋
⑩	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-450	450	塩ビ蓋
⑪	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	ストレート	±0	-500	500	塩ビ蓋
⑫	塩ビ小口径桝(雨水桝)	100Φ	200Φ	１本合流	±0	-520	520	塩ビ蓋
㋐	将来用雨水桝	100Φ	200Φ	２本合流	±0	-680	680	塩ビ蓋
㋑	将来用雨水桝	150Φ	200Φ	１本合流	±0	-780	780	塩ビ蓋
㋒	将来用雨水桝	150Φ	200Φ	２本合流	±0	-850	850	塩ビ蓋
㋓	将来用雨水桝	200Φ	200Φ	１本合流	±0	-950	950	塩ビ蓋
㋔	将来用雨水桝	200Φ	200Φ	２本合流	±0	-1020	1020	塩ビ蓋
㋕	将来用雨水桝	250Φ	300Φ	１本合流	±0	-1120	1120	塩ビ蓋
㋖	塩ビ小口径桝(雨水桝)	250Φ	300Φ	２本合流	±0	-1190	1190	塩ビ蓋
㋗	塩ビ小口径桝(雨水桝)	250Φ	300Φ	１本合流	±0	-1290	1290	塩ビ蓋
㋘	既設雨水桝				±0	-2950	2950	MHB600

訂正

工事名　平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事

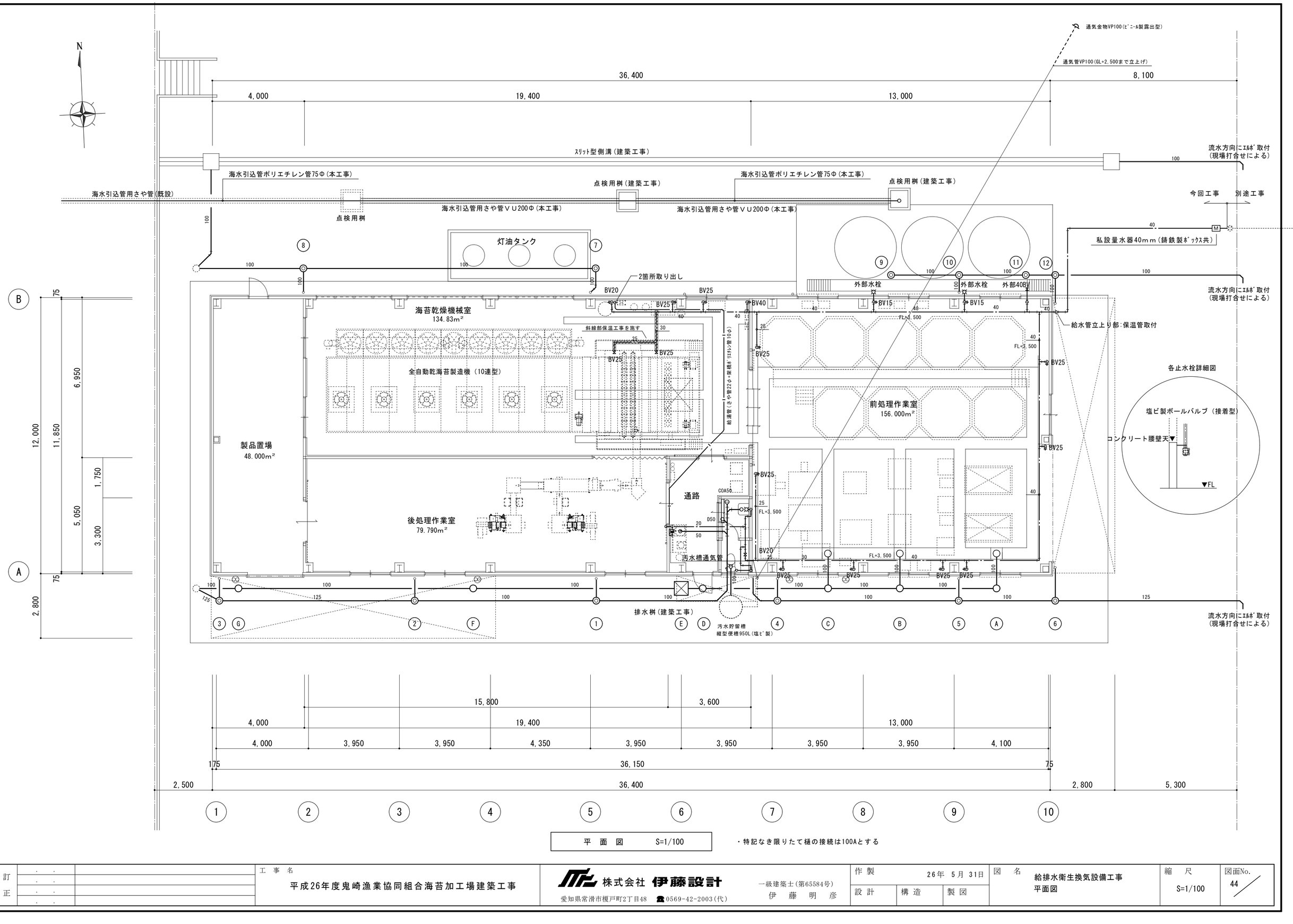
株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊藤明彦

作製　26年 5月 31日
設計　構造　製図

図名　給排水衛生換気設備工事
機器表・桝リスト・凡例

縮尺

図面No. 43

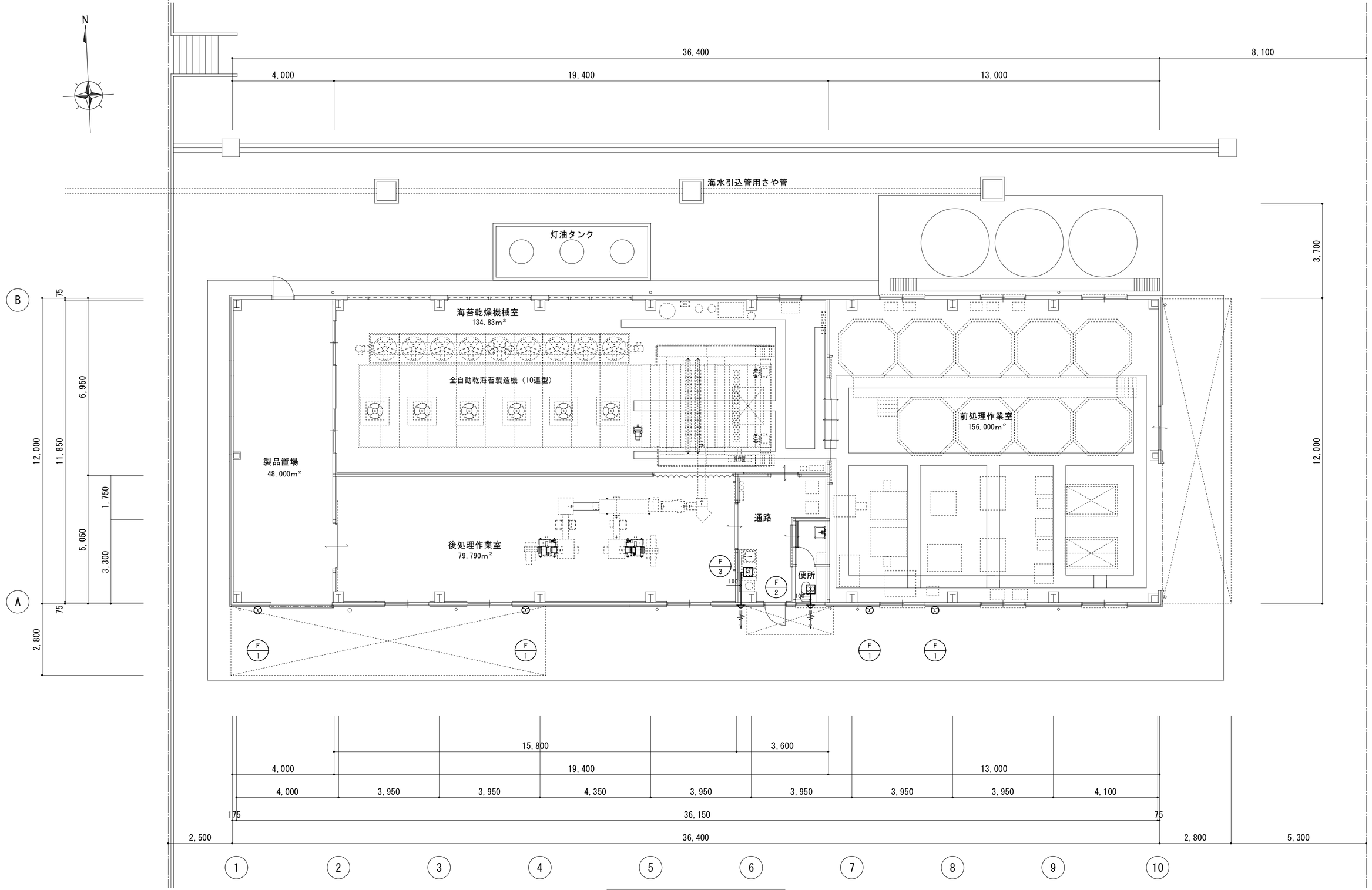


平　面　図　　S=1/100

・特記なき限りたて樋の接続は100Aとする

訂			工事名	株式会社 伊藤設計	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
正			平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	設計	構造 製図	給排水衛生換気設備工事 平面図	S=1/100	44

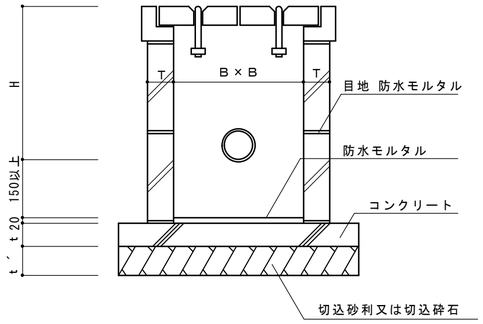
一級建築士(第65584号)
伊藤　明彦



平　面　図　　S=1/100

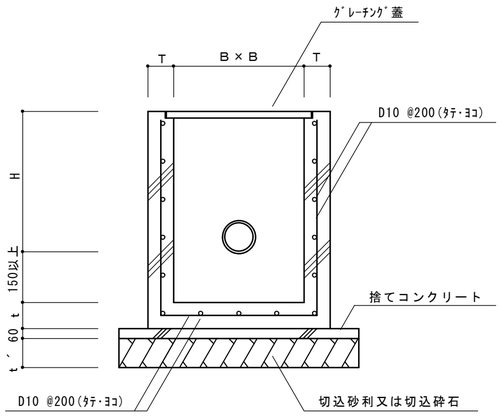
訂正			工事名	株式会社 伊藤設計	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
			平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)	設計	構造 製図	給排水衛生換気設備工事 換気設備図	S=1/100	45

一級建築士(第65584号)
伊藤明彦



（公団型 C）

排 水 桝



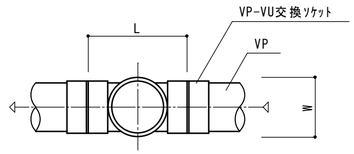
（現場打ち桝 RC）

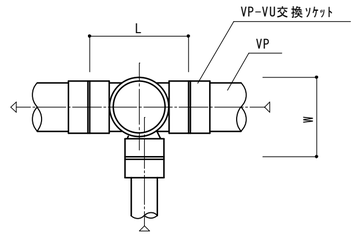
排 水 桝

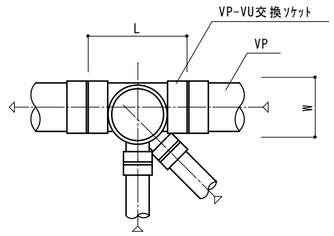
名称	記 号	B	H	T	t	t´
排水桝	C－1	300 × 300	～450	90	100	100
	C－2	450 × 450	460～600	90	120	100
	C－3	600 × 600	610～1200	90	120	100
	C－4	750 × 750	1210～2000	90	150	100
排水桝	RC－1	300 × 300	～450	100	100	100
	RC－2	450 × 450	460～600	100	120	100
	RC－3	600 × 600	610～1200	120	120	100
	RC－4	900Φ	1210～2500	150	150	150
	RC－5	1200Φ	2510～3500	180	200	200

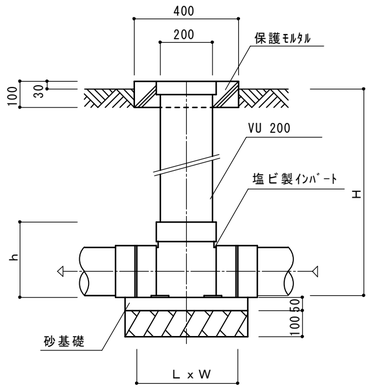
備 考

1、C-1･C-2･C-3･C-4の側塊は、住宅・都市整備公団形とする。
2、深さ1200以上の桝には、防錆処理を行った径22ｍｍの鋼製又は径19ｍｍの合成樹脂皮膜加工を行った足掛金物を取り付ける。ただし、既製の側塊の足掛金物は製造者の標準とする。
3、側塊の接続部は、防水ﾓﾙﾀﾙ接合とする。
4、ｺﾝｸﾘｰﾄ部は、工場製品でもよい。
5、ﾏﾝﾎｰﾙは文字鋳出とする。

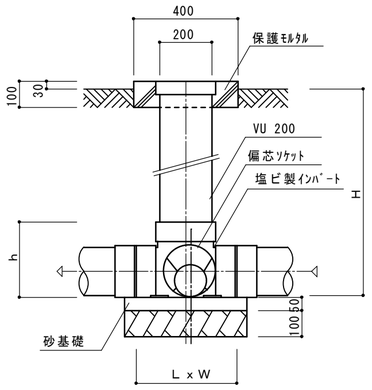




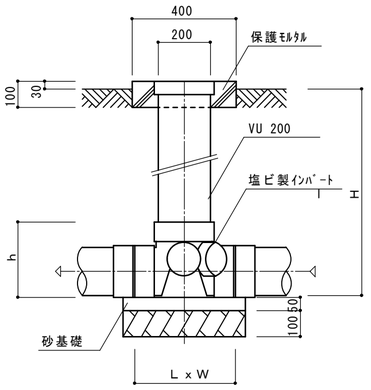




ＳＶ－１ 塩ビ製汚水桝



ＳＶ－２ 塩ビ製汚水桝



ＳＶ－３ 塩ビ製汚水桝

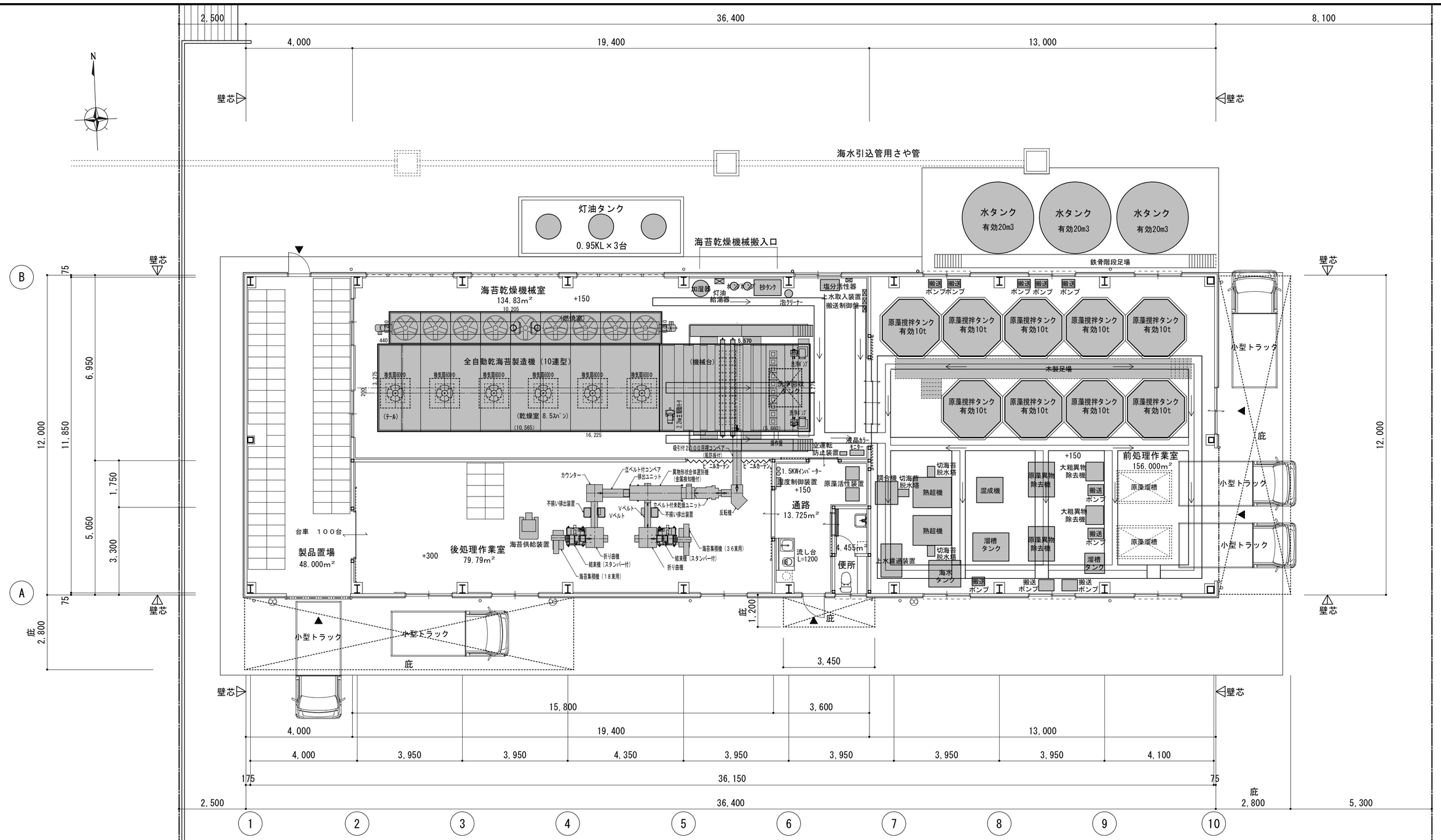
記号	横引管サイズ	インバート形状	桝口径	H	L × W	h	流入管ｿｯｹﾄ径
SV-1	100φ	ｽﾄﾚｰﾄ・曲がり	200φ	～1500	350 × 230	225	100φ
	125φ	〃	〃	〃	380 × 235	245	125φ
	150φ	〃	〃	〃	410 × 235	275	150φ
SV-2	100φ	１本合流	〃	〃	330 × 285	225	100φ
	125φ	〃	〃	〃	360 × 325	245	125φ
	150φ	〃	〃	〃	410 × 320	275	150φ
SV-3	100φ	２本合流	〃	〃	350 × 285	250	100φ
	125φ	〃	〃	〃	380 × 300	255	125φ
	150φ	〃	〃	〃	410 × 315	275	150φ

備 考

本設計図の桝で塩ビ製汚水桝と表記のあるものに摘要する。
1、各桝の大きさ、深さ、排水管計は設計図に示すものとする。
但し、他の下水管および給水管、ガス管等の現場の状況による多少の変更は係員と打合せの上施工するものとする。
2、蓋の仕様
ワンタッチ開閉SUS製鎖付き、汚水の文字入りとする。
非荷重の場所は塩ビ製とする。軽荷重の場所は鋳鉄製とする。
但し、設計図に明記のある場合は、設計図に従う。
3、塩ビ製汚水桝のＬ、Ｗ、ｈ寸法はメーカー標準仕様とする。
4、上記Ｈ寸法まで掘削土で埋戻しとする。

訂正			工事名	作製	図名	縮尺	図面No.
	. .		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	26年 5月 31日	給排水衛生換気設備工事 桝 詳 細 図		46
	. .			設計 / 構造 / 製図			
	. .						
	. .						

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊 藤 明 彦



平 面 図　S=1/100

鉄骨造　平屋建
床面積　436.80㎡

海苔加工機器設備工事の範囲

1．□の着色の機器類（ルーフファン６台含む。）
2．各機器の取付、据付を含む。
3．電気設備は、屋内分電盤からの配管・配線の２次側工事を含む。
4．機械設備の給水・給湯・排水・搬送の２次側配管を含む。
5．機器間の設備配管、配線を含む。
6．灯油燃料タンク設置による少量危険物貯蔵所設置届に関わる申請書作成、検査立会、完了手続きを含む。
7．灯油燃料タンク設置による満水試験費、配管試験費を含む。

訂	・ ・		工事名	株式会社 伊藤設計	一級建築士(第65584号)	作製	26年5月31日	図名	縮尺	図面No.
正	・ ・		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	愛知県常滑市榎戸町2丁目48 ☎0569-42-2003(代)	伊藤明彦	設計 / 構造 / 製図		参考図（別途工事） 海苔加工機器平面図	S=1/100	47

海苔加工機器表

名　称	能力・仕様等	数量（台数）	名　称	能力・仕様等	数量（台数）
【全自動乾海苔製造関連機器】			濃度調整器	ﾉｰﾁｮｰ TNS-DE／戸上電機製作所同等品以上	1
全自動乾海苔製造装置	NT-10Z型(10連機)／(株)ﾆﾁﾓｳﾜﾝﾏﾝ同等品以上、8.5A（8.5スパン） 最大能力　9,000枚/H ﾊｷﾞﾌﾟﾛｱ、吸水ﾌﾟﾛｱ×2台含む	1	上水ろ過装置	オゾン発生装置、最大　７ｔ/H	1
			セルプラポンプ	0.4KW、最大 180L/min　　40PSPZ-4033B／三相電機同等品以上	1
同上用枠反転装置付		1	セルプラポンプ	0.2KW、最大 110L/min　　25PSPZ-2033B／三相電機同等品以上	1
同上用スポンジ自動洗浄装置付	湯沸し器付(煙突含む)、給湯最大 39,000Kcal/H	1	搬送制御盤		2
同上用省エネ管付	単管式（煙突含む）	1	泡取機	あわｸﾘｰﾅｰ(ﾌﾛｰﾄ付）／渡辺機開工業同等品以上	1
同上用両面海苔簀付	ケミノリス／ﾁｯｿ開発(株)同等品以上	23,000	海水タンク	アコス工業　1.0ｔ　同等品以上	1
加湿器	TU-100VS(株)加藤鉄工ﾊﾞｰﾅｰ製作所同等品以上 蒸発量最大 100Kg/H、煙突含む	1	海水取込み水中ポンプ	ｶﾜﾍﾞｯﾄ　WUO-656／806-2.2　川本製作所同等品以上 0.6m3/min、2.2kw	1
予備スポンジ板付き		４０			
液晶カラーモニター	ワンマンモニター同等品以上	1			
湿度制御装置	ニチモウ湿度コントローラⅤ同等品以上	1	【後処理関連機器】		
屋上扇	RF-24H(C形ｼｬｯﾀｰ付）/鎌倉製作所同等品以上　0.75KW 最大 183m3/min	6	搬入コンベアー	2000L風防駆動､吸入付、低騒音仕様 吸引付き目視コンベアー／ニシハツ産業同等品以上	1
インバーター	1.5KW	2	反転ターン	BT、低騒音仕様／ニシハツ産業同等品以上	1
灯油燃料タンク	オイルタンク／高橋工業同等品以上　0.95KL	3	立ベルト付未乾燥ユニット	TB-Ⅱ、低騒音仕様／ニシハツ産業同等品以上	1
同上用配管資材		１式	異物選別機	GSX-K型､異物･形状･金検合体選別機/ﾆｼﾊﾂ産業同等品以上	1
【周辺機器類】			不揃い排出装置	F-2000 低騒音仕様／ニシハツ産業同等品以上	2
水タンク	EPL-20／ｴｺﾛ・ﾌﾟﾗﾝﾄ同等品以上　FRP製20ｔ丸型	3	折曲機	HP、最大 10,000枚/H／カワシマ同等品以上	2
原藻活性装置	MRVS-125BS2／ｻﾝｾﾗﾐｯｸｽ(株) 同等品以上　最大 12L/min	2	結束機	ｽﾀﾝﾊﾞｰ付・重量計付 、最大 9,000枚/H 一重結束　KWSS-JD／カワシマ同等品以上	2
原藻活性装置付属品	エアーホース散気管	2	集積機	SL-3600 、収容最大 3,600枚／ニシハツ産業同等品以上	1
上水取入装置	水中ポンプ制御盤	2	コンベアー	TBC 、低騒音仕様／ニシハツ産業同等品以上	1
撹拌タンク（撹拌機ステン仕様）	FRP10tﾀﾝｸ特寸／ｴｺﾛ・ﾌﾟﾗﾝﾄ同等品以上、 ﾊﾞﾝﾁﾝｸﾞ付 ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ付	9	カウンター	CT 低騒音仕様／カワシマ同等品以上	1
電子秤　※別途工事	SK-1000WP／ｴｰ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃﾞｲ同等品以上　※別途工事	（１）	集積機	SL-1800 、収容最大 1,800枚／ニシハツ産業同等品以上	1
配管、配線、資材、その他		１式	電子秤　※別途工事	SL-1000/D／ｴｰ･ｱﾝﾄﾞ･ﾃﾞｲ同等品以上　※別途工事	（２）
木製足場	撹拌タンク点検用	1	整列機	ALM-2000 ／ニシハツ産業同等品以上	2
製品台車　※別途工事	W400×D600程度　木製、回転戸車　※別途工事	（１００）	整列機	取り付け架台 ／ カワシマ同等品以上	1
【前処理関連機器】			生産カウンター	高速仕様　ニシハツ産業同等品以上	1
搬送ﾎﾟﾝﾌﾟ	65A、FA65-B6RC　P653型／金丸製作所同等品以上	4	海苔透視型異物検査装置	写るんです KCH-1／カワシマ同等品以上	1
搬送ﾎﾟﾝﾌﾟ	50A、FP50-BRC-00N1　P502型／金丸製作所同等品以上	1	自動停止ユニット	KCH-1　パトライト　１個付／ニシハツ産業同等品以上	1
搬送ﾎﾟﾝﾌﾟ	50A、40PSPZ-7533B／三相電機同等品以上　　電動ボールバルブ、制御盤付き	3	結束機用マガジン	予備／カワシマ同等品以上	6
搬送ﾎﾟﾝﾌﾟ	40A、40SPZ-4033B／三相電機同等品以上　　電動ボールバルブ、制御盤付き	2	４段排出ユニット	ニシハツ産業同等品以上	1
大粗異物除去機	0.4KW	2	抄き重量検査高速乾燥装置	速乾王　　KD-2　1,800W／カワシマ同等品以上	1
原藻異物除去機	WK-600型／渡辺機開工業同等品以上　最大 10,000枚/H	2	監視モニタ	テレビ付	1
溜槽タンク	KW-１／渡辺機開工業同等品以上　　TS-400P／渡辺機開工業同等品以上	２(各１)	海苔供給装置	一連出し／ニシハツ産業同等品以上	1
混成機	ｺﾝﾊﾞｸﾄﾐﾝﾁ BX-１／渡辺機開工業同等品以上 最大 15,000枚/H	1			
熟超機	ﾌﾙﾀQ太くん ＪＱ１Ａ／ﾌﾙﾀ電機同等品以上 収容量最大 7,500枚	2			
切海苔脱水塔	AB-3型／渡辺機開工業同等品以上 最大 9,000枚/H	3			
調合機	GT-7／渡辺機開工業同等品以上 最大 10,000枚/H	1			
塩分活性器	RS-１型タンク付／渡辺機開工業 同等品以上	1			

共通事項
- 上記表は建物１棟当たりの機器で、３棟分の同機器を設置とする。
- 機器の取付、据付を含む。
- 電気設備は、屋内分電盤からの配管・配線の２次側工事を含む。
- 機械設備の給水・給湯・排水・搬送の２次側配管を含む。
- 機器間の設備配管、配線を含む。
- 灯油燃料タンク設置による少量危険物貯蔵所設置届に関わる申請書作成、検査立会、完了手続きを含む。
- 灯油燃料タンク設置による満水試験費、配管試験費を含む。

訂	. .		工事名	作製	26年 5月 31日	図名	縮尺	図面No.
正	. .		平成26年度鬼崎漁業協同組合海苔加工場建築工事	設計 / 構造 / 製図		参考図（別途工事） 海苔加工機器表		48

株式会社 伊藤設計
愛知県常滑市榎戸町2丁目48　☎0569-42-2003(代)
一級建築士(第65584号)
伊　藤　明　彦